

付録I：自然療法研究者によって公開された観察研究

1. Aberdour,S. およびHenri-Bhargava,A.、 P.100非神経内科医向けの有能なcyベースの脳卒中カリキュラム。 Canadian Journal of NeurologicalSciences,2017年 44 (S2) :p。 S39。
2. Achterberg,J.,Cooke,K.,Richards,T.,Standish,LJ,Kozak,L。、 およびLake,J。、 レシビエントにおける遠方の志向性と脳機能との相関の証拠： 機能的磁気共鳴画像分析。 Journal of Alternative & Complementary Medicine,2005,11 (6) :p。 965-71。
3. Adams,J.,Frawley,J.,Steel,A.,Broom,A。、 およびSibbritt,D。、 薬理学的および非薬理学的陣痛管理技術の使用と、母親および乳児の出産結果との関係：検査1835年の妊婦の全国的に代表的なサンプルの。
出産 2015年 31 (4) :p。 458-63。
4. Adams,J.,Lauche,R.,Peng,W.,Steel,A.,Moore,C.,Amorin-Woods,LG、 およびSibbritt,D。、 オーストラリアのカイロプラクティックの労働力調査：プロファイルと実践2,005人のカイロプラクターの全国的に代表的なサンプルの特徴。 BMC補完代替医療,2017年 17 (1) :p。 14。
5. Adams,J.,Peng,W.,Cramer,H.,Sundberg,T.,Moore,C.,Amorin-Woods,L.,Sibbritt,D.,and Lauche,R。、 有病率、パターン、米国の成人におけるカイロプラクティック使用の予測因子。 Spine,2017年 42 (23) :p。 1810-6。
6. Adams,J.,Peng,W.,Steel,A.,Lauche,R.,Moore,C.,Amorin-Woods,L。、 およびSibbritt,D。、 カイロプラクターのプロファイルの断面検査オーストラリアのカイロプラクティック研究ネットワーク (ACORN)に採用されました：将来のカイロプラクティック研究のための持続可能なリソース。 BMJオープン、 2017年 7 (9) :p。 e015830。
7. Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Loxton,D.,Wardle,J.,Pirrotta,M.,and Lui,C.-W。、 都市部および非都市部：
1427人のオーストラリア人女性の全国調査。 Journal of Manipulativeand Physiological Therapeutics,2013年 36 (1) :p。 12-9。
8. Adams,J.,Sibbritt,D.,Lui,C.-W.,Broom,A。、 およびWardle,J。、 45歳以上の研究コホートでのΩ-3脂肪酸サプリメントの使用。 BMJオープン、 2013年 3 (4) :p。 e002292。
9. Adams,J.,Sibbritt,D.,Steel,A。、 およびPeng,W。、 オーストラリアのオステオパシーの労働力調査：オステオパシー研究およびイノベーションネットワーク (ORION)からのオステオパシーの全国的な代表的なサンプルの分析) 事業。 BMC Health Services Research,2018年 18 (1) : p。 352。
10. Adams,J.,Steel,A.,Frawley,J.,Broom,A。、 およびSibbritt,D。、 妊娠中の産科医療従事者の診察と治療に対する多額の自己負担：全国からの見 積もり-オーストラリアの妊婦の代表的なサンプル。 BMC妊娠と
出産 2017年 17 (1) :p。 114。
11. Adams,J.,Steel,A.,Moore,C.,Amorin-Woods,L。、 およびSibbritt,D。、 ACORN全国開業医データベースの確立：開業医を全国診療ベースの研究 ネットワークに採用するための戦略。 Journal of Manipulative and Physiological Therapeutics,2016年 39 (8) :p。 594-602。
12. Adoor,M.,Jaideep,SS,Sujan,M.,Kramer,BW,Raju,T。、 およびSathyaprabha,TN、 インド亜大陸の健康な集団における血圧変動と圧反射感受性に対する年齢と性別の影響-大陸。 Journal of Basic and Clinical Physiology and Pharmacology,2018,29 (4) :p。 329-37。
13. Agarwal,V.,Rao,R.,Abin,H.,Rao,V.,Nayar,R.,Mani,V.,Ram,A.,and Ajaikumar,B。、 1651P前処理好中球リンパ球非転移性頭頸部がん患者の生存の代理マーカーとしての比率/血小板リンパ球比率：観察研究。腫瘍学年報,2017年 28 (補足5)。
14. Agarwal,V.,Swamy,K.,Bhattacharjee,S.,Rao,R.,Kumar,BA、 およびPs、 S。、 非小細胞肺癌からの1~3個の脳転移に対する定位ロボット放射線手術：a南インドからの単一の施設での経験。 International Journal of Radiation,Oncology,Biology,Physics,2017,98 (1) :p。 238。
15. Ahn,AC,Nahin,RL,Calabrese,C.,Folkman,S.,Kimbrough,E.,Shoham、 J。、 およびHaramati,A。、 複雑なシステムからの原理を適用してCAM療法の有効性を研究する。 Journal of Alternative & Complementary Medicine,2010年 16 (9) :p。 1015-22。
16. Akinyemiju,TF,McDonald,JA,Tsui,J。、 およびGreenlee,H。、 アフリカの18か国におけるがん予防ガイドラインの順守。 PloS One,2014年 9 (8) :p。 e105209。
17. Alcantara,J。、 およびLeach,MJ、 カイロプラクティックの態度とエビデンスに基づく実践の利用：EBASE質問票の使用。探索:The Journal of Science and Healing,2015年 11 (5) :p。 367。
18. Ali,A.,Calabrese,C.,Lee,R.,Salmon,D。、 およびZwickey,H。、 自然療法医学生のワクチン接種態度と教育。 Journal of Alternative & Complementary Medicine,2014年 20 (5) :p。 A115-A116。
19. Ali,A.,Colson,ER,Vitulano,L.,Lee,R。、 およびWeiss,TR、 医療制度における慢性ライム病と特定された患者の経験：定性的研究。 BMCファミリープラクティス、 2014年 15 (1) :p。 79。
20. Ali,A.,Kahn,J.,Rosenberger,L。、 およびPerlman,AI、 変形性関節症の臨床試験のためのマッサージ療法の手動プロトコルの開発。試験 2012年。 13 (1) :p。 185。
21. Ali,A.,Rosenberger,L.,Weiss,TR,Milak,C.,Perlman,AI、 マッサージ療法と生活の質

- 変形性膝関節症：定性的研究。Pain Medicine, 2017年 18 : p. 1168-75。
22. Allen, J., Montalto, M., Lovejoy, J., および Weber, W., 自然療法医学における解毒：調査。Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2011年 17 (12) : p. 1175-80。
23. Amarin-Woods, L.G., Losco, B.E., および Leach, M.J., 非首都西オーストラリアにおけるカイロプラクティック学生の臨床浸漬配置の混合法研究：学生の経験、専門的属性、および実践的地への影響。Journal of Chiropractic Education, 2019年 33 (1) : p. 30-9。
24. Amritanshu, R.R., Rao, R.M., Nagaratna, R., Veldore, V.H., Rani, M.U., Gopinath, K.S., および Ajai Kumar, B., 乳がん生存者の心理的転帰に対する長期ヨガ実践の効果。Indian Journal of Palliative Care, 2017年 23 (3) : p. 231。
25. Andersen, M.R., Afdem, K., Hager, S., Gaul, M., Sweet, E., and Standish, L.J., 私の癌の「原因」、乳癌患者と生存者の間の原因についての信念そしてIOケアを求めないでください。精神腫瘍学, 2017年 26 (2) : p. 248-54。
26. Andersen, M.R., Osborn, B., Sweet, E., Dowd, F., and Standish, L., 統合腫瘍学相談は、乳がんの一次治療の開始を遅らせることはありません。行動医学の年報, 2013年 45 : p. S178。
27. Andersen, M.R., Sweet, E., Hager, S., Gaul, M., Dowd, F., and Standish, L.J., 統合腫瘍学の使用、意思決定への関与、および乳がん生存者の健康関連の質診断後の最初の5年間の生活の。統合がん治療, 2018年 17 (3) : p. 636-45。
28. Andersen, M.R., Sweet, E., Lowe, K.A., Standish, L.J., Drescher, C.W., および Goff, B.A., 卵巣癌患者による潜在的に危険な補完代替医療 (CAM) の使用。Journal of Gynecologic Surgery, 2012年 28 (2) : p. 116-20。
29. Andersen, M.R., Sweet, E., Lowe, K.A., Standish, L.J., Drescher, C.W., および Goff, B.A., 治療および卵巣がん生存者の生活の質に関する意思決定への関与。婦人科腫瘍学, 2012年 124 (3) : p. 465-70。
30. Andersen, M.R., Sweet, E., Lowe, K.A., Standish, L.J., Drescher, C.W., および Goff, B.A., 危険な組み合わせ：卵巣癌患者の化学療法中の摂取可能なCAMサプリメントの使用。Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2013年 19 (8) : p. 714-20。
31. Andersen, M.R., Sweet, E., Zhou, M., および Standish, L.J., 過度の出血の可能性を高める手術時の乳がん患者による補完代替医療の使用。統合的癌治療, 2015年 14 (2) : p. 119-24。
32. Anheyer, D., Kern, C., Dobos, G., および Cramer, H., 「スタッフ全員がその背後に立っていれば、かなり多くのことを達成できると思います」—経験、知識に関する定性的研究小児科における補完療法と統合医療の応用。医学における補完的Therapies, 2018年 41 : p. 186-91。
33. Arentz, S., Smith, C.A., Abbott, J.A., および Bensoussan, A., 多嚢胞性卵巣症候群のオーストラリア人女性の自己選択コミュニティグループによる補完的医療の使用の調査。BMC補完代替医療, 2014年 14 (1) : p. 472。
34. Aucoin, M., Cooley, K., Knee, C., Tsui, T., および Grondin, D., 自然療法の分科会の研究能力とニーズの評価調査。Journal of Alternative & Complementary Medicine, 2018年 25 (2) : p. 189-95。
35. Aycinena, A.C., Jennings, K.-A., Gaffney, A.O., Koch, P.A., Contento, I.R., Gonzalez, M., Guidon, E., Kar mally, W., Hershman, D., and Greenlee, H., ¡Cocinar para su salud! 理論主導の手順モデルを使用した、ヒスパニック系乳がん生存者のための文化に基づいた栄養教育カリキュラムの開発。健康教育と行動, 2017年 44 (1) : p. 13-22。
36. Bahadur, Y., Fawzy, E.E., および Ghasal, N., 乳房温存放射線療法の同時統合ブーストのための3D-CRT技術。カイロ大学医学雑誌, 2009年 77 : p. 47-55。
37. Bahadur, Y.A., Naseem, H.M., および Fawzy, E.E., コーンビームコンピュータ断層撮影およびポータルイメージング技術中に受けた放射線量の比較研究。肺, 2009年 10 : p. 0-05。
38. Balneaves, L.G., Panagiotoglou, D., Brazier, A.S., Lambert, L.K., Porcino, A., Forbes, M., Van Patten, C., Truant, T.L., Seely, D., and Stacey, D., 乳がん後の更年期症状を管理するための情報の定性的評価と意思決定支援の必要性。Supportive Care in Cancer, 2016年 24 (11) : p. 4567-75。
39. Bart-Greenough, J., Harris, C., Kloubec, J., Wenner, C.A., および Mischley, L., 多発性硬化症の成人におけるカフェイン曝露。FASEB Journal, 2016年 30 (1 Suppl) : p. 1154.17。
40. Beales, J., Walji, R., Papoushek, C., および Austin, Z., 家族医療チームの専門家間のコラボレーションの文脈で専門家の文化を探る。健康と専門職間の実践, 2011年 1 (1) : p. 4.4。
41. ベンジャミン, P.J., フィリップス, R., ウォーレン, D., サルベゾン, C., ハマーシュラグ, R., スナイダー, P., ハース, M., バレット, R., チャップマン, T., および 金子, R., 統合医療カリキュラムの提案への対応。Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2007年 13 (9) : p. 1021-34。
42. Bensoussan, A., Myers, S.P., および Carlton, A.-L., 伝統的な漢方薬の実践に関連するリスク：オーストラリアの研究。家庭医学のアーカイブ, 2000年 9 (10) : p. 1071。
43. Bensoussan, A., Myers, S.P., Wu, S., および O'Connor, K., オーストラリアでの自然療法および西洋ハーブ医学の実践-労働力調査。医学における補完療法, 2004年 12 (1) : p. 17-27。
44. Bernard-Davila, B., Aycinena, A.C., Richardson, J., Gaffney, A.O., Koch, P., Contento, I., Molmenti, C.S., Alvarez, M., Hershman, D., and Greenlee, H., 都市のヒスパニック系乳がん生存者の間で文化に基づいた食事療法への募集への障壁と促進者。

- Journal of Racial and Ethnic Health Disparities,2015年 2 (2) :p。44-255。
45. Birdsall,T.,Cain,L.,Martin,J.,Birdsall,S.,Wiersum,L.,Anderson,K.,Eden,B.,Flynn,J.,Kelly,D.,およびBraun, D.,放射線療法で治療された前立腺癌患者の腫瘍反応、制御、および生存に対する自然療法および栄養補助療法の効果。
Journal of Clinical Oncology,2009年 27 (15 Suppl) :p。e16088。
46. Birdsall,T.,Levin,R.,Alschuler,L.,Daehler,M.,Birdsall,S.,Martin,J.,Dounaevskaia,L.,Lis,C.,and Braun,D., Effect膀胱癌患者の痛みと倦怠感に対する補完代替医療 (CAM)療法の効果。
Journal of Clinical Oncology,2007年 25 (18 Suppl) :p。15142。
47. Blaich,R.,Steel,A.,Clark,D.,およびAdams,J., オーストラリアのオステオパシーの課題と機会：登録されたオステオパシーの認識に関する定性的研究。International Journal of Osteopathic Medicine,2018,30 :p。18-24。
48. Blum,K.,Schoenthaler,S.,Oscar-Berman,M.,Gior dano,J.,Bruscino Jr.,M.,Alley,K.,Beley,T.,Jones,S.,Hurley,K., Campbell,H.,Simpatico,T.,Lohmann,R.,Dushaj,K.,Downs,B.,Madigan,M.,Braverman,E.,and Bier,l., 薬物乱用の再発率はレベルに関連しています教育の：ドーパミンが原因です。Journal of Addiction Research and Therapy,2013年 4 (4) 。
49. Boon,HS,Cherkin,DC,Erro,J.,Sherman,KJ,Mil liman,B.,Booker,J.,Cramer,EH,Smith,MJ,Deyo,RA,およびEisenberg,DM, 練習パターン naturo pathic医師：2つの米国の州で認可された開業医のランダムな調査からの結果。BMC補完代替医療,2004年 4 (1) :p。14。
50. Boon,HS,Olatunde,F.,およびZick,SM, 乳がん生存者による補完/代替医療の使用の傾向：1998年と2005年の調査データの比較。BMCWomen 's Health,2007年 7 (1) :p。4.4。
51. ボッティング MJ, ホルベニ EO, ジョッフルズ MR, ジョンストン BC, ブラック RE, ミルズ EJ, 健康のための水と衛生のインフラ：対外援助の影響。Global ization and Health,2010年 6 (1) :p。12.12。
52. Bowen,DJ,Anderson,J.,White,J.,Powers,D.,およびGreenlee,H.,代 替および従来のヘルスケアの好み：健康行動、健康情報源、およびプロバイダーの信頼との関係。ゲイとレズビアン医学協会のジャーナル,2002年 6 (1) :p。3-7。
53. Bowman,D.,Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,およびBroom,A., 妊娠 関連の健康状態を管理するためにさまざまな形態の植物薬を使用している女性の特徴：予備的な横断研究断面分析。
統合医療の進歩,2014年 1 (3) :p。138-43。
54. Bowman,GL,Dodge,H.,Frei,B.,Calabrese,C.,Oken,BS,Kaye,JA,Quinn, JF, アスコルビン酸およびアルツハイマー病の認知機能低下率。Journal of Alzheimer's Disease,2009,16 (1) :p。93-8。
55. Bowman,GL,Dodge,H.,Mattek,N.,Barbey,AK,Silbert,LC,Shinto,L., Howieson,D.,Kaye,J.,and Quinn,J., Plasma omega-3 PUFAと白質 高齢者の幹部の衰退を仲介しました。のフロンティア老 化神経科学,2013年 5 :p。92。
56. Bradbury,J., 低脂肪食はストレスと関連していますか？自然療法医学の国 際ジャーナル,2004年 1 (1) :p。33-42。
57. Bradbury,J., バイオマーカーを使用したストレス構造のモデリング：測定モ デルの 重要性。臨床および実験医学, 2013年 1 (3) :p。197-296。
58. Bradbury,J.,Brooks,L.,およびMyers,SP, オメガ3脂肪酸の適応性効果は、 炎症性サイトカインの阻害を介して媒介されますか？エビデンスに基づく 補完代 替医療,2012年 2012 (26) :p。12.12。
59. Bradbury,J.,Hutchinson,M.,Hurley,J.,およびStasa,H., メンタルヘ ルス法の下での非自発的輸送の経験。International Journal of Mental Health Nursing,2016年 26 (6) :p。580-92。
60. Bradbury,J.,Nancarrow,S.,Avila,C.,Pit,S.,Potts,R.,Doran,F.,およ びFreed,G., ニューサウスウェールズ州の一般的な慣行での任命の実際 利用可能性ウェールズ、オーストラリアのトラリア。オーストラリアの家庭 医 2017年 46 (5) :p。321。
61. Bradley,R.,Fitzpatrick,AL,Jenny,NS, Lee,D.-H.,およびJacobs Jr,DR, 総血清GGT活性と代謝リスクとの関連：MESA。医学におけるバイオマーカー 2013年 7 (5) :p。709-21。
62. Bradley,R.,Kozura,E.,Buckle,H.,Kaltunas,J.,Tais,S.,and Standish, LJ, 2型糖尿病の自然療法治療中の臨床的危険因子の変化の説明。 Journal of Alternative and Complementary Medicine,2009年 15 (6) :p。633-8。
63. Bradley,R.,Kozura,E.,Kaltunas,J.,Ober,EB,Probstfield,J.,および Fitzpatrick,AL, 高血圧の自然療法治療中に観察されたリスクの変化。エビデ ンスベースの補完代替医療,2011年 2011年 : p。826751。
64. Bradley,R.,Ober,E.,およびGivant,C., MTHFR多型およびメチルフォロ ートに関する患者および医療提供者の経験の特徴付ける定性的研究。統合 医学 研究,2015年 4 (1) :p。94。
65. Bradley,R.およびOber,EB, 自然療法医学および2型糖尿病：学術クリニック からの避克的分析。代替医療レビュー, 2006年 11 (1) :p。30-9。
66. Bradley,R.,Sherman,K.,Catz,S.,Calabrese,C.,Ober,E.,および Cherkin,D.,OA07. 04.2型糖尿病の管理が不十分な人々のセルフケア、 CAMの使用、およびヘルスケアの満足度。BMC補完代替医療,2012年 12 (1) :p。O28。
67. Bradley,R.,Sherman,KJ,Catz,S.,Calabrese,C.,Jordan,L.,Grothaus, L.,およびCherkin,DC, CAMの関心、セルフケア、およびヘルスケアの満足 度の調査グループ保健協同組合での2型糖尿病の場合。BMC補完代替医療 2011年 11 (1) :p。121。
68. Bradley,R.,Smith,B.,およびOber,E., CAM / IM教育クリニックでの前 向き臨床転帰研究の実施。探索：The Journal of Science and Healing 、 2013年 9 (5) :p。324。
69. Bradley,RD,Fitzpatrick,AL,Jacobs,DR, Lee,D.-H.,Jenny,NS,and Herrington,D., Associations between

- y-グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)とアテローム性動脈硬化症のバイオマーカー：アテローム性動脈硬化症 (MESA)の多民族研究。 *Atherosclerosis*, 2014年 233 (2) :p. 387-93.
70. Braun, DP, Gupta, D., Birdsall, TC, Sumner, M., および Staren, ED, 放射線療法で治療された前立腺癌患者の腫瘍反応、制御、および再発に対する自然療法および栄養補助療法の効果。
Journal of Alternative & Complementary Medicine, 2013年 19 (3) :p. 198-203.
71. ブラウン, L., ドゥーリー, M., フォルスター, C., ダンカン, A., および マッキー, K., P04. 25.HIV陽性の人々の中での補完的な薬の使用と潜在的な副作用。
BMC補完代替医療, 2012年 12 (1) :p. P295.
72. ブラウン, L., ローゼンフェルト, F., スピッツァー, O., ホース, L., スタングッツ, C., レブコビッチ, B., および ベイリー, M., 心臓外科患者に一般的な術前血漿亜鉛欠乏症。集中治療室の臨床転帰に影響を与えます。
Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2014年 20 (5) :p. A70-A70.
73. ブラウン, L., スピッツァー, O., ティラロンゴ, E., ウィルキンソン, J., ベイリー, M., プール, S., および ドゥーリー, M., 自然療法医および西洋のハーバリストの証拠、規制、情報に対する態度人気のある補完的な薬についての情報源と知識。医学における補完療法, 2013年 21 (1) :p. 58-64.
74. ロサンゼルスブラウンとMのコーエン、心臓外科患者による補完的な薬の使用。未公開および未検出。
心臓、肺および循環, 2011年 20 (5) :p. 305-11.
75. ブラウン, LA, フォルスター, CA, ローリングズ MD, レビー, RW, ベン, J., グラハム, MM, マッキー, KF, アラン, S., プライドル, S., ベイリー, MJ, オーストラリアでHIVと共に生きる人々-全国調査。性感感染症とエイズの国際ジャーナル, 2016年 27 (1) :p. 33-8.
76. ブラウン, LA, オウ, R., クレ, C., トラン, A., および ローゼンフェルト, F., 心臓外科患者における亜鉛欠乏の有病率。心臓、肺および循環, 2018年 27 (6) :p. 760-2.
77. ブラウン, LA, スピッツァー, O., レブコビッチ, B., ベイリー, M., スタングッツ, C., ホース, L., および ローゼンフェルト, F., 心臓胸部手術前のビタミンD欠乏症の有病率。心臓、肺および循環, 2014年 23 (10) :p. 978-80.
78. ブラウン, LA, スピッツァー, O., ティラロンゴ, E., ウィルキンソン, JM, ベイリー, M., プール, S., および ドゥーリー, M., コミュニティ内で働くオーストラリアの自然療法医と西洋のハーブ療法士の有病率と経験。薬局。
BMC補完代替医療, 2011年 11 (1) :p. 41.
79. ブラウン, LA, ティラロンゴ, E., ウィルキンソン, JM, プール, S., スピッツァー, O., ベイリー, M., および ドゥーリー, M., 補完的な薬への有害反応：オーストラリアの薬局の経験。
International Journal of Pharmacy Practice, 2010年 18 (4) :p. 242-4.
80. ブラウン, LA, ティラロンゴ, E., ウィルキンソン, JM, スピッツァー, O., ベイリー, M., プール, S., および ドゥーリー, M., 補完的な薬と薬局の実践に関する薬局の顧客の認識、使用、態度。
BMC補完
- および代替医療, 2010年 10 (1) :p. 38.
81. Brazier, AS, Balneaves, L., Seely, D., Stephen, J., Suryaprakash, N., および Taylor-Brown, J., カナダの腫瘍学医療専門家の統合的実践。現在の腫瘍学, 2008年 15 :p. 87-91.
82. Breed, C., and Berezney, C., 自然療法医によるうつ病と不安の治療：統合された多分野の地域保健センター内での自然療法医学の観察研究。
Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2017, 23 (5) :p. 348-54.
83. Brownie, S., Myers, SP, および Stevens, J., オーストラリアの高齢者に対するオーストラリアの栄養スクリーニングイニシアチブの価値-全国調査の結果。
Journal of Nutrition, Health and Aging, 2007, 11 (1) :p. 20.
84. Busse, JW, Bartlett, SJ, Dougados, M., Johnston, BC, Guyatt, GH, Kirwan, JR, Kwok, K., Maxwell, LJ, Moore, A., および Singh, JA, 報告のための最適な戦略臨床試験と系統的レビューの痛み：OMERACT12ワークショップからの推奨事項。
Journal of Rheumatology, 2015年 42 (10) :p. 1962-70.
85. Busse, JW, Walji, R., および Wilson, K., 医療提供者との小児ワクチン接種について話し合った両親の経験：カナダの自然療法患者の調査。
PLoS One, 2011年 6 (8) :p. e22737.
86. Bussi eres, AE, Terhorst, L., Leach, M., Stuber, K., Evans, R., および Schneider, MJ, カイロプラクティックのカナダ人医師の間での自己申告の態度、スキル、および証拠に基づく実践の使用：全国調査。カナダカイロプラクティック協会のジャーナル, 2015年 59 (4) :p. 332.
87. B ussing, A., Poier, D., Lauche, R., Dobos, G., および Cramer, H., 患者の意図と態度および行動を変える能力を測定するための機器の検証。補完医学研究, 2017年 24 (4) :p. 246-54.
88. Cain, L., Campbell, K., Gilbert, K., Stark, J., Lis, C., Birdsall, T., Grutsch, J., Williams, S., and Gupta, D., The Impact of Cancer Care on the Quality of Life of Patients: A Cross-sectional Study. *Journal of Clinical Oncology*, 2008年 26 (15 Suppl) :p. 20501.
89. Calabrese, C., Oberg, E., および Chamberlin, S., P02. 45. 学術クリニックでの40万回の訪問に関する臨床管理データからの自然療法の説明。
BMC補完代替医療, 2012年 12 (1) :p. P101.
90. Calabrese, C., Wenner, CA, Reeves, C., Turet, P., および Standish, LJ, 補完代替医療によるヒト免疫不全ウイルス陽性患者の治療：開業医の調査。
Journal of Alternative and Complementary Medicine, 1998, 4 (3) :p. 281-7.
91. Chamberlin, S., および Tippens, K., MD および DO の補完代替医療の実践パターン, 2006年から2010年。
The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2014年 20 (5) :p. A121.
92. チェンバリン, SR, オーバーグ, E., ヘインズ, DA, および カル・アブレーゼ, C., 北米での自然療法の実践

付録I：自然療法研究者によって公開された観察研究

学術機関：300,483回の訪問の説明と従来のプライマリケアとの比較。
統合医療インサイト、2014年 9 :p. 7-15。

93. Chandrashekar,S.,Vadiraj,S.、およびRaghavendra,MR、 P35
患者の不安は、関節リウマチの患者由来の測定に大きな影響を及ぼします。
Indian Journal of Rheumatology,2007年 2 (3) :p. S25。
94. Chao,MT,Tippens,KM、およびConnolly,E.、グループベースのコミュニティ鍼治療クリニックの利用：全国的に代表的な鍼治療ユーザーのサンプルとの比較研究。 Journal of Alternative and Complementary Medicine,2012年 18 (6) :p. 561-6。
95. Charaf,S.,Wardle,JL,Sibbritt,DW,Lal,S.、およびCal laway,LK、
先入観ケアのためのハーブおよび代替薬の女性の使用。オーストラリアとニュージーランドの産婦人科ジャーナル,2015年 55 (3) : p。 222-6。
96. Cherkin,DC,Deyo,RA,Sherman,KJ,Hart,LG,Street,JH,Hrbek,A.、
Cramer,E.,Milliman,B.,Booker,J.,Mootz,R.,Barassi,J。、
Kahn,JR,Kaptchuk,TJ、およびEisenberg,DM、認可された鍼灸師、
カイロプラクター、マッサージ療法士、および自然療法医の特徴。
Journal of the American Board of Family Practice,2002,15
(5) :p. 378-90。
97. Cherkin,DC,Deyo,RA,Sherman,KJ,Hart,LG,Street,JH,Hrbek,A.、
Davis,RB,Cramer,E.,Milliman,B.,Booker,J.,Mootz,R。、
Barassi,J.,Kahn,JR,Kaptchuk,TJ,and Eisenberg,DM、資格のある
はり師、カイロプラクター、マッサージ療法士、自然療法医への訪問の特
徴。 Journal of the American Board of Family Practice、2002
.15 (6) :p. 463-72。
98. Citrin,D.,Gupta,D.,Birdsall,T.,Aslam,A.,Grutsch,J.,Wodek,T.、
およびLis,C.、成人がん患者におけるハーブ療法の使用の有病率：可
能性ハーブと薬物の相互作用のため。 Journal of Clinical
Oncology,2005年 23 (16 Suppl) :p. 6086。
99. Cohen,AJ,Lachance,LL,Richardson,CR,Mahmoudi,E.,
Buxbaum,JD,Noonan,GK,Murphy,EC,Roberson,DN,
Hesterman,OB,Heisler,M.、およびZick,S.、デトロイトのファ
ーマーズマーケットでの農産物の「倍増」：健康的な食品インセン
ティブの使用のパターンと相関関係。 American Journal of
Preventive Medicine,2018年 54 (2) :p. 181-9。
100. Cooley,K.,Walji,R.,Weeks,L.,and Seely,D., Naturopathic
Medicine and aboriginal health :Anishnawbe
HealthTorontoでの探索的研究。医学教育、2012年 46 : p. 23
。
101. Corroon,J.およびPhillips,JA、カンナビジオール使用者の横断研究。
大麻とカンナビノイド研究,2018年 3 (1) :p. 152-61。
102. Corroon,JM,Jr.,Mischley,LK、およびSexton,M.、処方薬の代替
としてのCannabis -横断的研究。 Journal of Pain Research、
2017年 10 : p. 989-98。
103. Cottingham,P.,Adams,J.,Vempati,R.,Dunn,J.、およびSibbritt,
D.、自然療法およびハーブ医学の実践者の特徴、経験、および認識：
ニュージーランドでの全国調査の結果。 BMC補完代替医療,2015年
。15 : p. 114。
104. Cottingham,P.,Adams,J.,Vempati,R.,Dunn,J.、およびSibbritt,
D.、ニュージーランドの登録マッサージ療法士の特徴、経験、認識：開
業医の全国調査の結果。 International Journal of Therapeutic
Massage&Bodywork,2018,11 (2) :p. 11.11。
105. Coulson,S.,Rao,A.,Beck,SL,Steels,E.,Gramotnev,H.、および
Vitetta,L.、第I相無作為化二重盲検プラセボ対照臨床試験の有効
性と安全性を調査ProstateEZE Max：良性前立腺肥大症の症状を管理
するための漢方薬製剤。医学における補完療法,2013年 21 (3) :
p. 172-9。
106. Coulter,ID,Herman,PM、およびNataraj,S.、補完代替医療の経
済分析：専門家パネルによって提起された考慮事項。 BMC補完代替医
療、2013年 13 (1) :p. 191。
107. Courtney,R.およびCohen,M.、機能不全の呼吸の測定ツールの評価。
オステオパシー医学の国際ジャーナル,2006年 9 (1) :p. 34。
108. Courtney,R.およびCohen,M.、集中的なヨガプログラムの前後の息
止め時間と肺機能の評価。生物学的心理学、2006年 72 (2) :p.
234。
109. Courtney,R.,Greenwood,KM、およびCohen,M.、呼吸に懸念が
ある集団における機能不全の呼吸の測定値間の関係。 Journal of
Bodywork and Movement Therapies,2011年 15 (1) :p.
24-34。
110. Courtney,R.,Van Dixhoorn,J.、およびCohen,M.、呼吸パター
ンの評価：呼吸運動の手動評価 (MARM)と呼吸誘導プレシモグラフィ
の比較。 Applied Psychophysiology and Biofeedback、
2008,33 (2) :p. 91-100。
111. Cowan,JB,Bedi,A.,Carpenter,JE,Robbins,CB,Gagnier,JJ、およ
びMiller,BS、全層腱板断裂の管理のための米国整形外科医の適切な
使用基準の評価。
Journal of Shoulder and Elbow Surgery,2016,25 (7) :p
。 1100-6。
112. Cramer,GD,Guiltinan,J.,Mairers,M.,Laird,S.,Goertz,C.,Furner
、SE,Kreitzer,MJ,Dexheimer,JM,and Coon,S.、メリット、課題、
文化補完代替医療と従来の研究集約型インスティテュートとのコラボ
レーションに関連する変化
tutions。医学教育者、2015年 25 (1) :p. 27-34。
113. Cramer,H.、Yoga inGermany-全国的に代表的な調査の結果。
Forschende Komplementarmedizin (2006)、2015年 22 (5)
: p. 304-10。
114. Cramer,H.,Chung,VC,Lauche,R.,Zhang,Y.,Zhang,A.,Langhorst
、J.、およびDobos,G.、多くの内科患者における鍼使用者の特徴。医
学における補完療法,2015年 23 (3) :p. 423-9。
115. Cramer,H.,Frawley,J.,Steel,A.,Hall,H.,Adams,J.,Broom,A.、
およびSibbritt,D.、女性の特徴

- 妊娠中はさまざまな場所でヨガを練習してください。BMJオープン、2015年 5 (8) :p. e008641。
116. Cramer,H.,Hall,H.,Leach,M.,Frawley,J.,Zhang,Y.,Leung,B.,Adams,J.,and Lauche,R.、有病率、パターン、および予測因子米国の成人における瞑想の使用の割合：全国的に代表的な調査。Scientific Reports、2016年 6 :p. 36760。
117. Cramer,H.,Kessler,CS,Sundberg,T.,Leach,MJ,Schumann,D.,Adams,J.,and Lauche,R.、健康上の理由から菜食主義者とビーガン食を選択するアメリカ人の性格。Journal of Nutrition Education and Behavior,2017,49 (7) :p. 561-567。e1。
118. Cramer,H.,Lauche,R.,Daubenmier,J.,Mehling,W.,Büssing,A.、Saha,FJ,Dobos,G.,and Shields,SA、痛みを伴う体に気づく：検証慢性疼痛患者におけるドイツの身体認識質問票と身体反応質問票。PloS One、2018年 13 (2) :p. e0193000。
119. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.,Dobos,G.、およびPaul,A.、定期的にヨガを実践している慢性疾患の患者とそうでない患者の生活の質とメンタルヘルス：ケースコントロール研究。エビデンスに基づく補完代替医療、2013年、2013年。
120. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.,Dobos,G.、およびPaul,A.、対処戦略としてリラクゼーション法を使用する内科患者の特徴。医学における補完療法、2013年 21 (5) :p. 481-6。
121. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.,Dobos,GJ、およびMichalsen,A.、ドイツ語版の首障害指数 (NDI)の検証。BMC筋骨格系障害、2014年 15 (1) :p. 91。
122. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.,Paul,A.,Michalsen,A.、およびDobos,G.、内科患者におけるヨガ使用の予測因子。BMC補完代替医療 2013年 13 (1) :p. 172。
123. Cramer,H.,Lauche,R.,Moebus,S.,Michalsen,A.,Langhorst,J.,Dobos,G.,and Paul,A.、統合医療入院プログラム後の健康行動の予測因子。International Journal of Behavioral Medicine,2014年 21 (5) : p. 775-83。
124. Cramer,H.,Mehling,WE,Saha,FJ,Dobos,G.,and Lauche,R.、姿勢認識とその痛みとの関係：慢性疼痛患者の体の姿勢の認識を測定する革新的な機器の検証。BMC Musculo skeletal Disorders,2018,19 (1) : p。109。
125. Cramer,H.,Quinker,D.,Pilkington,K.,Mason,H.,Adams,J.、およびDobos,G.、ドイツのヨガ実践者のヨガ実践、健康状態、および健康行動の協会-全国横断調査の結果。
医学における補完療法、2019年 42 : p. 19-26。
126. Cramer,H.,Sibbritt,D.,Adams,J.、およびLauche,R.、定期的なヨガと瞑想の実践と転倒および負傷との関連：オーストラリア人女性を対象とした全国横断調査の結果。Maturitas,2016年 84 : p. 38-41。
127. Cramer,H.,Sibbritt,D.,Park,CL,Adams,J.、およびLauche,R.、ヨガや瞑想の実践は健康的なライフスタイルに関連していますか？ 28,695人のオーストラリア人女性の全国横断調査の結果。Journal of Psychosomatic Research,2017年 101 : p. 104-9。
128. Cramer,H.,Sundberg,T.,Schumann,D.,Leach,MJ、およびLauche,R.、菜食主義者と全能のヨガ実践者の違い-米国の成人ヨガ実践者の全国的な代表的な調査の結果。医学における補完療法,2018年 40 : p. 48-52。
129. Cramer,H.,Ward,L.,Steel,A.,Lauche,R.,Dobos,G.、およびZhang,Y.、ヨガ使用の有病率、パターン、および予測因子：米国の全国代表調査の結果。American Journal of Preventive Medicine,2016年 50 (2) :p. 230-5。
130. Crew,KD,Greenlee,H.,Capodice,J.,Raptis,G.,Brafman,L.,Fuentes,D.,Sierra,A.,and Hershman,DL、アロマトーゼを服用している閉経後の女性の関節症状の有病率早期乳がんの阻害剤。Journal of ClinicalOncology,2007年 25 (25) :p. 3877-83。
131. Cribb,L.,Murphy,J.,Froud,A.,Oliver,G.,Bousman,CA,Ng,CH、およびSarris,J.、赤血球多価不飽和脂肪酸組成は、白人のうつ病およびFADS遺伝子型に関連しています。栄養神経科学,2018年。印刷中 : p. 1-13。
132. Curtisa, JR,Patrick,DL,Caldwell,E.,Greenlee,H.、およびCollier,AC、終末期ケアに関する患者と医師のコミュニケーションの質：進行したエイズ患者とその患者の研究プライマリケアの臨床医。エイズ 1999年 13 (9) :p. 1123-31。
133. Cuttler,C.,Mischley,LK、およびSexton,M.、大麻の使用と効果における性差：大麻使用者の横断的調査。大麻とカンナビノイド研究、2016年 1 (1) :p. 166-75。
134. Danthala,M.,Kallur,K.,Prashant,G.,Rajkumar,K.,and Rao,MR、¹⁷⁷Lu-神経内分泌腫瘍患者のDOTATATE療法：インドの三次がん治療センターでの5年の経験。European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging,2014,41 (7) :p. 1319-26。
135. Diaz,KM,Greenlee,H.,Goldsmith,J.,Strizich,G.,Qi,Q.,Mossavar-Rahmani,Y.,Vidot,DC,Buelnas,C.,Brintz,CE,and Elfassy,T。、座りがちな時間と座りがちな発作と血糖バイオマーカーとの個人的および共同の関連：ヒスパニック地域保健研究/ラテン系アメリカ人の研究。スポーツと運動における医学と科学,2017年。
49 (5S) :p. 522-3。
136. Diehr,P.,Lafferty,WE,Patrick,DL,Downey,L.,Devlin,SM、およびStandish,LJ、終末期の生活の質。健康と生活の質の結果,2007年 5 :p. 51。
137. Diezel,H.,Steel,A.,Leach,M.,Evans,S.,Karzon,R.、およびReid,R.、伝統と科学：それらは相互に排他的であり、現在の道のりです。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 32-4。
138. Diezel,H.,Steel,A.,Wardle,J.、およびJohnstone,K.、専門家間のコミュニケーションのパターンと影響

付録1：自然療法研究者によって公開された観察研究

- 助産師とCAM実践者の間：助産師の認識の予備調査。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2013年 25 (1) :p. 4.4。
139. El Emam,K.,Dankar,FK,Issa,R.,Jonker,E.,Amyot,D.,Cogo,E.,Corriveau,J.-P.,Walker,M.,Chowdhury,S.、およびVaillancourt,R.、健康データの匿名化のためのグローバルに最適なk-匿名性手法。Journal of the American Medical Informatics Association、2009年 16 (5) :p. 670-82。
140. El Sayed,ME,Bahadur,YA、およびFawzy,EE、局所進行直腸癌に対する術前化学療法と骨盤放射線療法の同時併用による高線量率近接照射療法のプースト：単一施設での経験。
小線源治療、2014年 13 : p. S47。
141. El Sayed,ME,Bahadur,YA,Hassouna,A.,Fawzy,EE,Nasr,AM,and Sadiq,BB、子宮頸がん患者における同時化学療法を伴うまたは伴わない外部ビーム放射線療法に加えた高線量近接照射療法：臨床結果と毒性プロファイル。小線源治療、2014年 13 : p. S91-2。
142. El Sayed,ME,Bahadur,YA,Hassouna,AH,Fawzy,EE,Nasr,AM,Sadiq,BB,Dada,R.,Sait,KH、およびAnfinan,NM、子宮頸がん患者の転帰：臨床治療サウジアラビアからの遡及的研究における結果と毒性プロファイル。Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology、2016年 13 (5) : p. e364-72。
143. Elliott,AM,Hodsdon,WS,Kyosiimire,J.,Quigley,MA,Nakiyingi,JS,Namujju,PB,Watera,C.,French,N.,Gilks,CF、およびDockrell,HM、サイトカインの反応と進行感染したウガンダ人のHIV-1における活動性結核への：前向き研究。熱帯医学と衛生の王立協会のトランザクション、2004年 98 (11) :p. 660-70。
144. Engler,H.,Elsenbruch,S.,Rebernik,L.,Köcke,J.,Cramer,H.,Schöls,M.,and Langhorst,J.、潰瘍性大腸炎患者におけるサイトカイン産生のストレス負荷と神経内分泌調節寛解期の大腸炎。精神神経内 分泌学、2018年 98 : p. 101-7。
145. Engler,H.,Schöls,M.,Köcke,J.,Cramer,H.,Langhorst,J.,and Elsenbruch,S.、1796寛解期の潰瘍性大腸炎。
脳 行動 および免疫、2016年 57 : p. e25-6。
146. Ericksen-Pereira,WG,Roman,NV、およびSwart,R.、南アフリカにおける自然療法の歴史と発展の概要。Health SA Gesondheid、2018年。23 : p. 1-8。
147. Ertsey,C.,Vasudha,M.,Manjunath,N.,Csepany,E.、およびNagendra,H.、アーユルヴェーダの体質タイプは頭痛患者の生活の質に影響を与えますか？頭痛、2015年 35 : p. 274。
148. Faith,J.,Thorburn,S.、およびTippens,KM、医療サービス使用の行動モデルを使用したCAM使用開示の調査。医学における補完療法、2013年。21 (5) :p. 501-8。
149. Faith,J.,Thorburn,S.、およびTippens,KM、患者中心のコミュニケーションとプロバイダーの回避、CAMの使用、およびCAMの使用の開示との関連を調べる。
健康と医学における代替療法、2015年 21 (2) :p. 30-5。
150. Falci,L.,Shi,Z.、およびGreenlee,H.、米国の成人における複数の慢性状態と補完代替医療の使用：2012年の全国健康インタビュー調査の結果。慢性疾患の予防、2016年 13 : p. E61。
151. Faux,M.,Wardle,J.,Thompson-Butel,AG、およびAdams,J.、誰が医療費請求を教えていますか？オーストラリアの医学教育の利害関係者の全国横断調査。
BMJオープン、2018年 8 (7) :p. e020712。
152. Fawzy,EE,Hassan,ZE、およびNaga,AF、乳房の放射線療法における強度変調放射線療法 (IMRT)と動的ウェッジ技術の比較。反対側の乳房への線量測定パラメータと放射線量への影響。カイロ大学医学ジャーナル、2009年 77 (1) :p. 237-41。
153. Finnell,JS,Saul,BC,Goldhamer,AC、およびMyers,TR、断食は安全ですか？医学的に監督された、水のみでの絶食中の有害事象のチャートレビュー。BMC補完代替医療、2018年 18 (1) :p. 67。
154. Firth,J.,Firth,JA,Stubbs,B.,Vancampfort,D.,Schuch,FB,Hallgren,M.,Veronese,N.,Yung,AR,and Sarris,J.、筋力と大うつ病または双極性障害および健康なコントロールを持つ人々の認知。JAMAサイキアトリー、2018年 75 (7) :p.740-746。
155. Firth,J.,Stubbs,B.,Teasdale,SB,Ward,PB,Veronese,N.,Shivappa,N.,Hebert,JR,Berk,M.,Yung,AR,and Sarris,J.、Diet精神医学のホットトピックとして：重度の精神疾患における栄養摂取と炎症の可能性に関する人口規模の研究。世界精神医学、2018年 17 (3) :p. 365。
156. Firth,J.,Stubbs,B.,Vancampfort,D.,Firth,JA,Large,M.,Rosenbaum,S.,Hallgren,M.,Ward,PB,Sarris,J.,and Yung,AR、握力は統合失調症と一般集団の認知能力と関連しています：476,559人の参加者を対象としたUKバイオバンクの研究。統合失調症速報、2018年 44 (4) :p. 728-36。
157. Firth,J.,Stubbs,B.,Vancampfort,D.,Schuch,FB,Rosenbaum,S.,Ward,PB,Firth,JA,Sarris,J.,and Yung,AR、自己の妥当性と価値-統合失調症の人々の報告された身体活動と加速度計：英国バイオバンクの人口規模の研究。統合失調症速報、2017年 44 (6) :p. 1293-300。
158. アラバマ州フィッツパトリック、スタンディッシュ、LJ、バーガー、J.、キム、JG、カラブレーゼ、C.、およびポリサー、N.、心理的または精神的活動を1年間実践しているHIV-1陽性の成人の生存。健康と医学における代替療法、2007年 13 (5) :p. 18-20,22-4。
159. Flatt,J.、学術哲学文化の提案。
ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2017年 29 (1) :p. 11-13。
160. Flatt,J.、臨床的推論の強化。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2017年 29 (1) :p. 23-4。
161. Foley,H.およびSteel,A.、補完的医療の臨床診療における患者中心のケア、共感およびエンパワーメントに対する患者の認識：横断的研究。進歩

- 統合医学,2017年 4 (1) :p. 22-30.
162. Foley,H.およびSteel,A.、補完的医療の臨床診療における患者中心のケア、共感およびエンパワーメント：横断的パイロット研究。ハーブ医学の オーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 22-4.
163. Forsleff,L.,Schauss,AG,Bier,ID, およびStuart,S.、パーキンソン病における機能的歪欠乏の証拠。
Journal of Alternative & Complementary Medicine,1999,5 (1) :
p. 57-64.
164. Frank,E.,OberG,E.,Segura,C.,Clarke,A.、およびShen,H.、ブリティッシュコロニア州の医師の身体的および精神的健康状態と健康習慣。ブリティッシュコロニアメディカルジャーナル,2010年 52 (7) :p. 349-55.
165. Frank,E.,Segura,C.,Shen,H.、およびOberG,E.、カナダの医師の予防カウンセリング実践の予測因子。Canadian Journal of Public Health = Revue Canadienne de Sante Publique,2010年 101 (5) :p. 390-5.
166. Frawley,J.,Adams,J.,Broom,A.,Steel,A.,Gallois,C.、およびSibbritt,D.、女性の大多数は、補完的および妊娠中の代替医療従事者。Journal of Alternative and Complementary Medicine,2014年 20 (7) :p. 571-7.
167. Frawley,J.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Steel,A.,Broom,A.、およびGallois,C.、妊娠中の補完代替医療使用の有病率と決定要因：全国的な結果オーストラリアの妊婦の代表的なサンプル。オーストラリアとニュージーランドの産婦人科ジャーナル,2013年 53 (4) :p. 347-52.
168. Frawley,J.,Adams,J.,Steel,A.,Broom,A.,Gallois,C.、およびSibbritt,D.、妊娠中の女性による漢方薬の使用と自己処方：妊娠中の1,835人の検査女性。女性の健康問題,2015年 25 (4) :p. 396-402.
169. Frawley,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Gallois,C.,Steel,A.、およびAdams,J.、妊娠前の補完代替医療従事者の使用は、妊娠中の使用を予測します。女性と健康,2016年 56 (8) :p. 926-39.
170. Frawley,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Gallois,C.,Steel,A.、およびAdams,J.、妊娠中の補完代替医療製品の使用に対する女性の態度。Journal of Obstetrics and Gynaecology,2016年 36 (4) :p. 462-7.
171. Frawley,J.,Sibbritt,D.,Steel,A.,Chang,S.、およびAdams,J.、尿失禁のある若いオーストラリア人女性における補完的および従来の医療利用。
泌尿器科,2017年 99 : p. 92-9.
172. Frawley,J.,Sundberg,T.,Steel,A.,Sibbritt,D.,Broom,A.、およびAdams,J.、妊娠中にオステオパシー開業医と相談する女性の有病率と特徴；女性の健康に関するオーストラリアの縦断的研究 (ALSWH)からの報告。Journal of Bodywork and Movement Therapies,2016年 20 (1) :p. 168-72.
173. Frawley,JE,Foley,H.、およびMcIntyre,E.、医療、同盟および補完的な開業医の訪問と小児期のワクチン摂取との関連。ワクチン, 2018年 31 (6) :p. 866-72.
174. Frawley,JE,McIntyre,E.,Sibbritt,D.,Wardle,J.,Schloss,J.,Lauche,R.、およびAdams,J.、がん検診行動と補完的な医療使用との関連：9151人のオーストラリア人女性の全国横断調査。統合がん治療, 2018年 17 (3) :p.979-985.
175. Frawley,JE,McIntyre,E.,Wardle,J.、およびJackson,D.、補完的な薬の使用とワクチンの摂取との間に関連性がありますか：パイロット研究の結果。BMC Research Notes,2018年 11 (1) :p. 217.
176. Froud,A.,Murphy,J.,Cribb,L.,Ng,CH, およびSarris,J.、食事の質、血清脳由来神経栄養因子 (BDNF)レベル、およびVal66met多型の関係うつ病の予測。栄養神経科学, 2017年 :p. 1-9.
177. Fu,OS,Crew,KD,Jacobson,JS,Greenlee,H.,Yu,G.,Campbell,J.,Ortiz,Y.、およびHershman,DL、乳がん生存者における民族性および持続的な症状の負担。Journal of Cancer Survivorship,2009年 3 (4) :p. 241-50.
178. Furber,G.,Segal,L.,Leach,M.、およびCocks,J.、Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ)からのスコアを基盤の効用値にマッピングします。生活の質の研究, 2014年 23 (2) :p. 403-11.
179. Gagnier,J.,Boon,H.,Rochon,P.,Barnes,J.,Moher,D.、およびBombardier,C.、漢方薬のランダム化比較試験の報告。探索:The Journal of Science and Healing,2006年 2 (2) :p. 143-9.
180. Gagnier,J.およびPing,W.、鍼治療のランダム化比較試験の評価のための方法論的品質尺度の開発と信頼性。代替療法と補完療法に焦点を当てる、2003年 8 (4) :p. 497-8.
181. Gagnier,JJ,Allen,B.,Watson,S.,Robbins,CB,Bedi,A.,Carpenter,JE, およびMiller,BS、腱板断裂の患者の転帰に医学的併存疾患は影響しますか？
スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2017年 5 (8) :p. 1-6.
182. Gagnier,JJ,Boon,H.,Rochon,P.,Moher,D.,Barnes,J.、およびBombardier,C.、ハーブ介入のランダム化比較試験の報告：詳細なCONSORTステートメント。内科の年報, 2006年 144 (5) :p. 364-7.
183. Gagnier,JJ,Derosier,JM,Maratt,JD,Hake,ME, およびBagian,JP、整形外科手術の安全性を向上させるための患者ハンドオフツールの開発、実装、および評価。International Journal for Quality in Health Care, 2016年 28 (3) :p. 363-70.
184. Gagnier,JJ,Kienle,G.,Altman,DG,Moher,D.,Sox,H.,Riley,D.、およびGroup,C.、CAREガイドライン：コンセンサスベースの臨床症例報告ガイドラインの作成。
Journal of Clinical Epidemiology,2014年 67 (1) :p. 46-51.
185. Gagnier,JJ,Morgenstern,H.、およびKellam,P.、整形外科手術を受けている患者の有害事象のレトロスペクティブコホート研究。手術における患者の安全性,2017年 11 (1) :p. 15.
186. Gagnier,JJ,Oltean,HN,Bedi,A.,Carpenter,JE, およびMiller,BS、治療を受けた患者の前向きフォローアップ

付録I：自然療法研究者によって公開された観察研究

- 全層腱板断裂に対して外科的または非外科的に。スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2013年。
1 (4補足) :p. 1-2。
187. Gagnier, JJ, Robbins, C., Bedi, A., Carpenter, JE, および Miller, BS, 完全な患者におけるアメリカの肩と肘の外科医のスコアと西オンタリオ回旋腱板指数の最小限の重要な差異を確立する厚さの回旋腱板断裂。 *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*, 2018, 27 (5) :p.e160-e166。
188. Gagnier, JJ, Robbins, C., Carpenter, JE, Bedi, A., および Miller, B., 全層腱板断裂に対して外科的または非外科的に治療された患者の前向きコホート研究。
スポーツ医学の整形外科ジャーナル, 2014年 2 (7 Suppl 2) :p. 1-3。
189. Gallo, M., Sarkar, M., Au, W., Pietrzak, K., Comas, B., Smith, M., Jaeger, TV, Einarson, A., and Koren, G., 妊娠結果エキナセアへの妊娠中の曝露：前向き対照研究。 *内科のアーカイブ*, 2000年 160 (20) :p. 3141-3。
190. ゴールデンバーグ, JZ, バーリンガム, BS, ギルティナン, J., および オーバーク, EB, 自然療法医学コミュニティ内の研究と根拠に基づく医療に対する態度の変化：人々の力、お金と受容。
統合医療の進歩, 2017年 4 (2) :p. 49-55。
191. Goldenberg, JZ, Ward, L., Day, A., および Cooley, K., 過敏性腸症候群への自然療法的アプローチ-デルファイ研究。 *Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 2018, 25 (2) :p.227-233。
192. Gopinath, K., Raghavendra, R., Acree, M., Nalini, R., Srinath, S., Ajaikumar, B., and Chandrashekhara, S., Tステータスの影響とNK細胞数に対するその懸念一次治療前の手術可能な乳がん患者：横断研究。 *Journal of Clinical Oncology*, 2008年。
26 (15 Suppl) :p. 22218。
193. ゴードン, WM, マッカーター, SA, およびマイヤーズ, SJ, 反人種差別のコースワークを文化的能力のカリキュラムに取り入れています。 *Journal of Midwifery and Women's Health*, 2016年 61 (6) :p. 721-5。
194. Grace, S., Bradbury, J., Avila, C., および Du Chesne, A., 「医療システムは私のニーズに合わせて設計されていません」：医療消費者が従来の補完的な医療サービスを自己統合する方法。 *臨床診療における補完療法* 2018年 32 : p. 151-6。
195. Grant, JA, Bedi, A., Kurz, J., Bancroft, R., Gagnier, JJ, and Miller, BS, プレーズンの体組成と体力が男性の大学生ホッケー選手の怪我のリスクを予測する能力。 *Sports Health*, 2015年 7 (1) :p. 45-51。
196. Gray, B., Muhlhausler, BS, Davies, PSW, および Vitetta, L., 肝臓酵素は、過体重および肥満の非糖尿病成人におけるインスリン感受性のマーカーを予測しますが、遊離脂肪酸レベルは予測しません。 *Nutrition Research*, 2013年 33 (10) :p. 781-8。
197. Gray, B., Steyn, F., Davies, PSW, および Vitetta, L., 肝機能パラメーター、コレステロール、およびリン脂質 α -リノレン酸は、太りすぎおよび肥満の成人のアディポカインレベルに関連しています。 *栄養研究* 2014年 34 (5) : p. 375-82。
198. グレイ, R., フィッチ, M., サンダース, P., ウィルキンソン, A., ロス, C., フランセン, E., および キャバーヒル, K., 補完的な健康
女性のがんに関連する開業医の態度、実践および知識。 *がんの予防と管理：PCC*
= *Prevention et Controle en Cancerologie* :PCC, 1999, 3 (1) : p. 77-82。
199. Greenlee, H., Chen, Y., Kabat, GC, Wang, Q., Kibriya, MG, Gurvich, I., Sepkovic, DW, Bradlow, HL, Senie, RT, および Santella, RM, エストロゲンの変異体乳がんの家族歴のある女性における代謝および生合成遺伝子と尿中エストロゲン代謝物。 *乳がんの研究と治療*, 2007年 102 (1) : p. 111-7。
200. Greenlee, H., Gammon, MD, Abrahamson, PE, Gaudet, MM, Terry, MB, Hershman, DL, Desai, M., Teitelbaum, SL, Neugut, AI, および Jacobson, JS, 乳がん治療中の抗酸化サプリメントの使用。 *Cancer*, 2009, 115 (14) :p. 3271-82。
201. Greenlee, H., Hershman, DL, Shi, Z., Kwan, ML, Ergas, IJ, Roh, JM, and Kushi, LH, BMI, ライフスタイル要因および乳がん患者のタキサン誘発性ニューロパシー：経路研究。 *JNCI : Journal of the National Cancer Institute*, 2017年 109 (2) :p. 1-8。
202. Greenlee, H., Kwan, ML, Ergas, IJ, Sherman, KJ, Krathwohl, SE, Bonnell, C., Lee, MM, および Kushi, LH, 乳がん診断の前後の補完代替療法の使用：経路研究。
乳がんの研究と治療, 2009年 117 (3) :p. 653-65。
203. Greenlee, H., Kwan, ML, Ergas, IJ, Strizich, G., Roh, JM, Wilson, AT, Lee, M., Sherman, KJ, Ambrosone, CB, and Hershman, DL, ビタミンの変化とパスウェイ研究における乳がん診断後のミネラルサプリメントの使用：前向きコホート研究。 *BMC Cancer*, 2014年 14 (1) :p. 382。
204. Greenlee, H., Kwan, ML, Kushi, LH, Song, J., Castillo, A., Weltzien, E., Quesenberry, CP, および Caan, BJ, 乳がんの診断と死亡後の抗酸化サプリメントの使用 *Life After Cancer Epidemiology (LACE)* コホートで。 *Cancer*, 2012, 118 (8) :p. 2048-58。
205. Greenlee, H., Molmenti, CLS, Falci, L., Ulmer, R., Deming-Halverson, S., DeRoo, LA, および Sandler, DP, 女性の大規模コホートにおける補完代替医療の多用乳がんの家族歴がある：姉妹研究。 *乳がんの研究と治療*, 2016年 156 (3) :p. 527-38。
206. Greenlee, H., Neugut, AI, Falci, L., Hillyer, GC, Buono, D., Mandelblatt, JS, Roh, JM, Ergas, IJ, Kwan, ML, and Lee, M., Association between complementary and alternative medicine use and breast cancer chemotherapy initiation: 乳がんのケアの質 (BQUAL) 研究。 *JAMA Oncology*, 2016年 2 (9) : p. 1170-6。
207. Greenlee, H., Neugut, AI, Shi, Z., Hillyer, G., Buono, D., Mandelblatt, JS, Roh, JM, Ergas, IJ, Kwan, ML, and Lee, M., Complementary and hormone receptor positive breast cancer in women: 代替医療の使用とホルモン療法の開始：BQUAL研究。 *Journal of Clinical Oncology*, 2017年 35 (補足15) :p. 10.1200 / JCO.2017.35.15_suppl.e13097
208. Greenlee, H., Shi, Z., Hibshoosh, H., Giri, DD, Ahmed,

付録：自然療法研究者によって公開された観察研究

- A.,Williams,S.,Falcone,DJ,Winston,LA,Zhou,XK、およびHudis、CA、ヒスパニック/ラテン系乳がん患者の肥満関連乳房炎症。がん予防研究、2019年、12（1）：p。21-30。
209. Greenlee,H.,Shi,Z.,Sardo Molmenti,CL,Rundle,A.,and Tsai,WY、癌の病歴のある成人の肥満有病率の傾向：1997年の米国国民健康インタビュー調査の結果2014。Journal of Clinical Oncology,2016年、34（26）：p。3133-40。
210. Greenlee,H.,Strizich,G.,Lovasi,GS,Kaplan,RC,Biggs,ML,Li,CI、Richardson,J.,Burke,GL,Fitzpatrick,AL,Fretts,AM,Psaty,BM、アラバマ州フライド、予防ガイドラインとその後の癌、心血管疾患、および死亡率との一致：高齢者の縦断研究。American Journal of Epidemiology,2017年、186（10）：p。1168-79。
211. Greenlee,H.,White,E.,Patterson,RE、およびKristal,AR、Vitalmins and Lifestyle (VITAL)研究コホートのがん生存者におけるサプリメントの使用。Journal of Alternative and Complementary Medicine、2004年、10（4）：p。660-6。
212. Grzybowski,S.,Fahey,J.,Lai,B.,Zhang,S.,Aelicks,N.,Leung,BM、Stoll,K。、およびAttenborough,R。、カナダの農村産科サービスの安全性：複数の管轄区域のコホート分析。BMC Health Services Research,2015年、15（1）：p。410。
213. Gupta,D.,Lis,CG,Birdsall,TC、およびGrutsch,JF、地域病院の包括的ながんセンターでの栄養補助食品の使用：従来のがん治療への影響。癌の支持療法,2005年、13（11）：p。912-9。
214. Guy,S.,Furber,G.,Leach,M。、およびSegal,L。、オーストラリアで成人の精神疾患のリスクがある子供はいますか？オーストラリアの精神医学とニュージーランドの精神医学ジャーナル,2016年、50（12）：p。1146-60。
215. Habib,C.,Gowan,M.,Podgrabski,S.,Grodski,T.,Leung,B.,Shapoval,M.,Seely,D.,and Cooley,K.,2型糖尿病の治療：クロス-自然療法患者データベースを使用した自然療法の標準治療のセクション監査。Journal of Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine,2012,17（2）：p。108-16。
216. Hall,H.,Brosnan,C.,Cant,R.,Collins,M。、およびLeach,M。、患者の補完療法の使用に対する看護師の態度と行動：混合法研究。Journal of Advanced Nursing,2018年、74：p。1649-58。
217. Hall,H.,Brosnan,C.,Frawley,J.,Wardle,J.,Collins,M。、およびLeach,M。、患者の補完代替医療の使用に関する看護師のコミュニケーション。Collegian (Royal College of Nursing Australia)、2018年、25（3）：p。285-91。
218. Hall,H.,Lauche,R.,Adams,J.,Steel,A.,Broom,A。、およびSibbritt,D。、坐骨神経痛、足がつるおよび/または静脈瘤を経験する妊婦のヘルスケア利用：1835人の妊婦の横断的調査。女性と出産、2016年、29（1）：p。35-40。
219. Hall,H.,Leach,MJ,Brosnan,C.,Cant,R。、およびCollins,M。、登録看護師による患者に関するコミュニケーション
補完療法の使用：全国調査。患者教育とカウンセリング、2018年、101：p。1403-9。
220. Haller,H.,Cramer,H.,Lauche,R.,Dobos,G.,and Berger,B。、専門家への質問：頭蓋仙骨療法研究の患者中心の結果の定性分析。Abstracts / European Journal of Integrative Medicine 7S、2015年、1（53）：p。7。
221. Haller,H.,Cramer,H.,Lauche,R.,Dobos,G。、およびBerger,B。、慢性頸部痛の治療における頭蓋仙骨療法法の患者の経験：健康転帰の定性分析。統合医学研究、2015年、4（1）：p。89。
222. Hampson,JP,Zick,SM,Khabir,T.,Wright,BD、およびHarris,RE、持続性の癌関連疲労感における安静時の脳の接続性の変化。NeuroImage : Clinical,2015年、8：p。305-13。
223. Harnett,J.,Le,TQ,Smith,L。、およびKrass,I。、癌とともに生きる人々による補完的な薬の使用に対する薬剤師の認識、意見および知識。International Journal of Clinical Pharmacy,2018年。印刷中：p。1-9。
224. Harnett,J.,Myers,SP、およびRolf,M。、セリアック病の人々と同定された酵母カンジダおよびサッカロミセスの有意に高い糞便数。Gut Pathogens,2017年、9（1）：p。26。
225. Harnett,J.,Schloss,J.,Van de Venter,C.,Rickwood,C。、およびMcIntyre,E。、個人の診断および臨床管理は、補完的な医療従事者によるグルテンフリーの食事療法を推奨しました。統合医療の進歩、2018年、6（3）：p.97-103。
226. Hedderson,MM,Patterson,RE,Neuhouser,ML,Schwartz,SM、Bowen,DJ,Standish,LJ、およびMarshall,LM、癌患者における補完代替医療の使用動機の性差。健康と医学における代替療法,2004年、10（5）：p。58-64。
227. Herman,PM,Avery,DJ,Schemp,CS、およびWalsh,ME、費用を含む評価は努力する価値がありますか？評価とプログラム計画,2009年、32（1）：p。55-61。
228. Herman,PM,Ingram,M.,Cunningham,CE,Rimas,H.,Murrieta,L.,Schachter,K.,de Zapien,JG,and Carvajal,SC、患者の出産の好みを把握する方法の比較プライマリケアに従事する低所得のヒスパニックへのメンタルヘルスサービスの提供。患者-患者中心のアウトカム研究、2016年、9（4）：p。293-301。
229. Herman,PM,Ingram,M.,Rimas,H.,Carvajal,S。、およびCunningham,CE、プライマリケアにおけるメンタルヘルスサービスに対する低所得のヒスパニック集団の患者の好み。メンタルヘルスおよびメンタルヘルスサービス研究における管理と方針,2016年、43（5）：p。740-749。
230. Herman,PM,Kommareddi,M.,Sorbero,ME,Rutter,CM,Hays,RD、Hilton,LG,Ryan,GW、およびCoulter,ID、慢性腰痛および首の痛みのために治療されているカイロプラクティック患者の特徴。Journal of Manipulative and Physiological Therapeutics,2018年。

- 41 (6) :p. 445-55.
231. Herman,PM,Mahrer,NE,Wolchik,SA,Porter,MM,Jones,S。、および Sandler,IN、離婚した家族に対する予防的介入の費用便益分析：メンタルヘルスおよび司法制度サービスの使用費用の削減15年後。予防科学、2015年 16 (4) :p. 586-596。
232. Herman,PM,Rissi,JI、およびWalsh,ME、健康保険のステータス、医療債務、およびアリゾナでのケアへのアクセスに対するそれらの影響。American Journal of Public Health,2011年 101 (8) :p. 1437-1443。
233. Herman,PM,Sherman,KJ,Erro,JH,Cherkin,DC,Milliman,B。、およびAdams,L。、自然療法全体の実践を記述および評価するための方法。健康と医学における代替療法,2006年 12 (4) :p. 20。
234. ハーマン,PM、ソルベロ, ME、およびシムズ-コロンビア,AC、軍事保健システムにおける補完代替医療サービス。 Journal of Alternative and Complementary Medicine,2017年 23 (11) :p. 837-43。
- 235.ハーマン,PMおよびウォルシュ,ME、アリゾナ州の包括的な州全体の禁煙の実施後の急性心筋梗塞、狭心症、脳卒中、および喘息のための入院。 American Journal of Public Health,2011年 101 (3) :p. 491-496。
236. Hill,J.,Hodsdon,W.,Schor,J.,McKinney,N.,Rubin,D.,Seely,D.,Parmar,G.,Birdsall,T.,Alschuler,L.,and Lamson, D。、自然障害性腫瘍学はデルファイパネルを修正しました。統合的癌治療,2016年 15 (1) :p. 69-79。
237. Hirschkorn,K.,Walji,R。、およびBoon,H。、食事療法における自然健康製品 (NHP)の役割：カナダの栄養士の調査結果。 BMC補完代替医療、2013年 13 (1) :p. 156。
238. Holger,C.,Romy,L.,Susanne,M.,Anna,P.,Jost,L。、およびGustav,D。、14日間の統合医療病院の入院後のライフスタイル行動の影響。統合医療のユーロピーンジャーナル,2012年 4 :p. 78。
239. Hollenberg,D.,Lytle,M.,Walji,R。、およびCooley,K。、サービスの行き届いていない地域でのプロバイダー不足への対処：カナダの農村医療における伝統的、補完的、代替医療 (TCAM)プロバイダーの役割。統合医療のユーロピーンジャーナル,2013年 5 (1) :p. 15-26。
240. Hollyer,T.,Boon,H.,Georgousis,A.,Smith,M。、およびEinarson,A。、妊娠中の悪心および嘔吐に苦しむ女性によるCAMの使用。 BMC補完代替医療 2002年 2 (1) :p. 5.5。
241. Huff,H.,Merchant,A.,Lonn,E.,Pullenayegum,E.,Smail,F.,and Smieja,M。、ビタミンDおよびHIV陽性カナダ人における頸動脈内膜の厚さの進行。 HIV医学 2018年 19 (2) :p. 143-151。
242. Hunninghake,R.,LePine,T.,Prousky,JE、およびLord,RS、円卓会議：栄養素の実験室試験の価値。代替療法と補完療法,2011年 17 (3) :p. 142-148。
243. Hurley,J.,Hutchinson,M.,Bradbury,J。、およびBrowne,G。、予防政策の不備、職場でのいじめ、メンタルヘルスの間のネクサス：オーストラリアの公共部門の従業員の経験からの定性的調査結果。 International Journal of Mental Health Nursing,2016年 25 (1) :p. 12-18。
244. Hutchinson,M.,Bradbury,J.,Browne,G。、およびHurley,J。、職場いじめ目録の最適なカットオフスコアの決定。ナースリサーチャー、2017年。 25 (3) :p. 46-50。
245. Ingram,M.,Schachter,KA,Guernsey de Zapien,J.,Herman,PM、およびCarvajal,SC、メキシコ系アメリカ人にサービスを提供する連邦資格のある地域医療センターで患者中心のメンタルヘルスクアを強化するための参加型手法の使用農家のコミュニティ。健康への期待、2015年 18 (6) :p. 3007-3018。
246. Inoue-Choi,M.,Greenlee,H.,Oppeneer,SJ,and Robien,K。、診断後の栄養補助食品の使用と総死亡率との関連は、高齢の女性のがん生存者の間で食事の質によって異なります。癌のエビデミック学、バイオマーカーと予防 2014年 23 (5) :p. 865-75。
247. Jamaly,S.,Khanehkenari,MR,Rao,R.,Patil,G.,Thakur,S.,Ramaswamy,P.,Ajaikumar,B.,and Sahoo,R。、p53過剰発現、ヒトパピローマウイルスの関係頭頸部がんのインド人患者の感染症とライフスタイル。腫瘍生物学、2012年 33 (2) :p. 543-550。
248. James,PB,Bah,AJ,Tommy,MS,Wardle,J。、およびSteel,A。、シエラレオネでの妊娠中の漢方薬の使用：探索的横断研究。女性と出産、2018年。31 :p. e302-9。
249. James,PB,Kamara,H.,Bah,AJ,Steel,A。、およびWardle,J。、フリータウンシエラレオネの公的および私的医療施設に通う高血圧患者における漢方薬の使用。臨床診療における補完療法,2018年 31 :p. 7-15。
250. Janamian,T.,Myers,SP,O'Rourke,P。、およびEastwood,H。、GPの情報リソースのニーズへの対応：クイーンズランド州の一般診療における補完的な医薬品情報リソースの実装と評価。 BMC補完代替医療,2011年。 11 :p. 77,1-12。
251. Janamian,T.,O'Rourke,P.,Myers,SP、およびEastwood,H。、情報リソースのニーズと補完的な医薬品に関するクイーンズランド州の一般開業医の好み：ニーズ評価の結果。証拠に基づく補完代替医療,2011年、2011年 :p. 810908,1-6。
252. Jepsen,KJ,Evans,R.,Negus,CH,Gagnier,JJ,Centi,A.,Erllich,T.,Hadid,A.,Yanovich,R.,and Moran,DS、脛骨機能と骨折のバリエーション健康な若年成人の感受性は、生物学的に異なる一連の特性の獲得から生じます。 Journal of Bone and Mineral Research,2013年 28 (6) :p. 1290-300。
253. John,GM,Hershman,DL,Falci,L.,Shi,Z.,Tsai,W.-Y。、およびGreenlee,H。、米国のがん生存者における補完的および代替的な医療の使用。 Journal of Cancer Survivorship,2016年 10 (5) :p. 850-64。
254. Johnson,JM,Eldridge,GD,Gerhke,MM,Taylor,EA,Oberg,EB,Krueger,AC,Schenk,KE、およびMcCrorry,MA、ライフスタイルは特性不安と関連しています。 FASEB

- Journal,2006年 20 (4) :p. A175。
255. Johnston,B.,Donen,R.,Pooni,A.,Pond,J.,Xie,F.,Giglia,L.,Kam,A.,Bhamber,A.,Bami,K.,and Patel, Y., 急性胃腸炎における健康関連の生活の質の評価のための概念的枠組み。 *Journal of Pediatric Gastroenterology and Nutrition*,2013,56 (3) :p. 280-9。
256. Johnston,BC,Alonso-Coello,P.,Friedrich,JO,Mus tafa,RA, Tikkinen,KA,Neumann,I.,Vandvik,PO,Akl,EA,da Costa,BR, およびAdhikari,NK, Doクリニシャンは治療効果の大きさを理解していますか？ 8か国にわたるランダム化調査。カナディアンメディカルアソシエーションジャーナル, 2016年 188 (1) :p. 25-32。
257. ジョーンズ,KD, ミスト,SD, カッセルベリー, MA, アリ A. , およびクリストファー, MS, 線維筋痛症の4986人の線維筋痛症の影響とマインドフルネスの特徴。探索：The Journal of Science and Healing,2015年 11 (4) :p. 304-9。
258. Kalinsky,K.,Lim,EA,Andreopoulou,E.,Desai,AM,Jin,Z.,Tu,Y., Hibshoosh,H.,Wang,A.,Greenlee,H.,and Crew,KD, 早期乳がんのヒスパニック系女性における腫瘍増殖遺伝子の発現増加。がん調査, 2014年 32 (9) :p. 439-44。
259. Kallur,KG,Ramachandra,PG,Rajkumar,K.,Swamy,SS,Desai,I., Rao,RM,Patil,SG,Sridhar,P.,Mad husudhan,N.,and Krishnappa, RS, 臨床ユーティリティ前立腺癌に対するガリウム-68PSMAPET / CTスキャンの結果。 *Indian Journal of Nuclear Medicine*,2017年 32 (2) :p. 110-7。
260. Kavanaugh,IT,Walter,B.,Gehrke,MM,Eldridge,GD,Taylor,E., Evezich,M.,OberG,EB,Eichelsdofer,PE,and McCrory,MA, 気分の認識と肥満健康な自由生活の成人が消費する炭水化物の質。 *FASEB Journal*,2007年 21 (6) :p. LB54。
261. Kennedy,DA,Bernhardt,B.,Snyder,T.,Bancu,V. , およびCooley,K. , 補完的な医療医療サービス：カナダの自然療法教育クリニックの横断的記述分析。 *BMC Complementary and Alternative Medicine*,2015年 15 (1) :p. 37。
262. Kennedy,DA,Grupp,S.,Greenberg,M. , およびKoren,G. , 急性リンパ芽球性白血病の小児の葉酸強化と生存。 *小児用医薬品*, 2011年 13 (3) :p. 193-196。
263. Kennedy,DA,Lupattelli,A.,Koren,G. , およびNordeng,H. , 妊娠中の漢方薬の使用：多国籍研究の結果。 *BMC補完代替医療*,2013年 13 (1) :p. 355。
264. Kennedy,DA,Lupattelli,A.,Koren,G. , およびNordeng,H. , 多国籍研究で妊娠中に使用された漢方薬の安全性分類。 *BMC補完代替医療*, 2016年 16 : p. 102。
265. Kessler,CS,Holler,S.,Joy,S.,Dhruva,A.,Michalsen,A.,Dobos,G., and Cramer,H. , 性格プロファイル, 価値観, 共感：ラクトオボの食肉主義者とビーガン補完医学研究,2016年 23 (2) :p. 95-102。
266. Kessler,CS,Michalsen,A.,Holler,S.,Murthy,VS,and Cramer,H. , ビーガン医療はどのように共感的か 他の人と比較して専門家？紙とペンのシル調査からのリード。 *European Journal of Clinical Nutrition*,2018年 72 (5) :p. 780。
267. Kessler,KE,Robbins,CB,Bedi,A.,Carpenter,JE,Gagnier,JJ, およびMiller,BS, 肥満度指数の増加は回旋腱板修復後の結果に影響しますか？ *Arthroscopy*, 2018年 34 (3) :p. 754-61。
268. Kim,J.,Polissar,N.,McGann,M.,Leonard,J.,Fitzpatrick,A.,Kelly,K.,Calabrese,C.,and Standish,L. , 自己申告による有害事象CAMを利用するHIV +個人の cohorts。代替療法と補完療法に焦点を当てる, 2003年 8 (4) :p. 507-507。
269. Kirsch,JM,Nathani,A.,Robbins,CB,Gagnier,JJ,Bedi,A. , およびMiller,BS, 回旋腱板修復後の「臨床肩角度」と臨床転位との間に関連性がありますか？ *スポーツ医学の整形外科ジャーナル*,2017年 5 (4) :p. 1-6。
270. Knesek,M.,Brunfeldt,A.,Korenczuk,C.,Jepsen,KJ,Robbins,CB, Gagnier,JJ,Allen,AA,Dines,JS,and Bedi,A. , ひずみのパターンと肩甲下筋修復後の安全な運動の弧-バイオメカニカル研究。 *Journal of Orthopedic Research*,2016年 34 (3) :p. 518-524。
271. Kobayashi-Wagner,RM,Sasagawa,M.,Frasieur,A.,Kazaks,A., and Manio,C. , シアトル地域に住む3世代の日系アメリカ人の間での食物嗜好の調査。 *FASEB Journal*,2016年 30 (1補足) :p. 1156.6-1156.6。
272. Koren,G.,Dugoua,J.-J.,Magee,L.,Vohra,S.,Matsui,D.,Berard,A., Johnston,B.,Moretti,M.,and Einarson,A. , MotherNature：妊娠中および授乳中の自然健康製品 (NHP)に関するカナダの研究ネットワークの確立。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine* , 2008年 14 (4) :p. 369-372。
273. Koutoubi,S.,Boutin,D.,Sasagawa,M.,Crouse,RA,Gill,MG,Hoverter,A.,Leshner,MR,Mingione,TL,Morgan,JM,and Rasmussen,MA, Assessment of コンピュータ化オブファンクショナルメディシン (IFM)マトリックスモデルのテントの妥当性と信頼性,2008年。 *FASEB Journal*,2010年。 24 (1補足) :p. 945.1-945.1。
274. Kozak,LE,Kayes,L.,McCarty,R.,Walkinshaw,C.,Congdon,S., Kleinberger,J.,Hartman,V.,and Standish,LJ, 補完代替医療の使用 (CAM)ワシントン州のホスピスによる。 *American Journal of Hospice & Palliative Care*,2008年 25 (6) :p. 463-8。
275. Krueger,AC,Eldridge,GD,Gehrke,MM,Lovejoy,JC,Koutoubi,S., OberG,EB,Johnson,JM,Schenk,KE,and McCrory,MA, 味の好みと味の感度：食品との関連好み, 食事摂取量および体組成。 *FASEB Journal*,2006年 20 (4) :p. A175。
276. Kumar,CMおよびLingaraju,C. , ラマナガラ地区のマガディ地方の学校の小学校教師の間でのヨガの利点に関する知識のレベルを評価するための研究。 *Asian Journal of Nursing Education and Research*, 2017,7 (3) :p. 363。
277. Kure,CE,Rosenfeldt,FL,Scholey,AB,Pipingas,

- A.,Kaye,DM,Bergin,PJ,Croft,KD,Wesnes,KA,Myers,SP、および Stough,C.、高齢の心不全患者における認知機能と脳血流、酸化ストレス、および炎症との関係。Journal of Cardiac Failure,2016年 22 (7) :p. 548-59。
278. Kwan,ML,Greenlee,H.,Lee,VS,Castillo,A.,Gunderson,EP,Habel LA,Kushi,LH,Sweeney,C.,Tam,EK、およびCaan,BJ、マルチビタミンの使用と早期乳がんの女性における乳がんの転帰：がん疫学研究後の生活。乳がんの研究と治療,2011年 130 (1) :p. 195-205。
279. Kweon,C.,Gagnier,JJ,Robbins,CB,Bedi,A.,Carpenter,JE,and Miller,BS、回旋腱板断裂の外科的管理と非外科的管理：治療配分の予測因子。American Journal of Sports Medicine,2015年 43 (10) :p. 2368-72。
280. Lachance,L.,Zick,S.,Hawthorne,V.,Brien,S.,Hyland,M.,Lewith,G.、およびWarber,S.、補完的および代替医療 (CAM)の有病率。健康と医学における代替療法,2006年 12 (3) :p. 55-6。
281. Lachance,LL,Hawthorne,V.,Brien,S.,Hyland,ME,Lewith,GT, Verhoef,MJ,Warber,S.,and Zick,S.、Delphiから派生した測定用の共通コアの開発補完代替医療の有病率。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2009年 15 (5) :p. 489-94。
282. Lafferty,WE,Bellas,A.,Corage Baden,A.,Tyree,PT,Standish,LJ、およびPatterson,R.、ワシントン州の被保険者の癌患者による補完代替医療提供者の使用。Cancer,2004,100 (7) :p. 1522-30。
283. Lai,J.,Robbins,CB,Miller,BS、およびGagnier,JJ、回旋腱板断裂の患者の患者報告結果に対する脂質レベルの影響。Journal of Shoulder and Elbow Surgery Open Access,2017,1 (3) :p. 133-8。
284. Lakeman,R.およびBradbury,J.、プライマリケアにおけるメンタルヘルスナース：メンタルヘルスナースインセンティブプログラムの定量的成果。Journal of Psychiatric and Mental Health Nursing,2014, 21 (4) :p. 327-335。
285. Landfair,GL,Robbins,C.,Gagnier,JJ,Bedi,A.,Carpenter,JE,and Miller,BS、喫煙は、腱板断裂患者の治療配分と転帰に影響を与えますか？スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2015年 3 (7,suppl2) 。
286. Langhorst,J.,Klose,P.,Lauche,R.,Cramer,H.、およびDobos,G.、ドイツの医療AWMFS2-およびS3-ガイドラインのヤドリギ。Phytomedicine,2015年 22 : p. S7。
287. Lauche,R.,Cramer,H.,Haller,H.,Musial,F.,Langhorst,J.,Dobos,GJ,and Berger,B.、私の背中は縮んでいます：伝統的なカップリングの身体への影響慢性的な非特異的な首の痛みのある患者の画像。補完医学研究、2012年 19 (2) :p. 68-74。
288. Lauche,R.,Cramer,H.,Moebus,S.,Paul,A.,Michalsen,A.,Langhorst J.、およびDobos,G.、内科および統合医療：観察研究。証拠に基づく補完代替医療,2012年 2012年 : p. 1-10。
289. Lauche,R.,Fuller,NR,Cramer,H.,Wardle,J.,Sibbritt,D.、およびAdams,J.、補完医学、体重と形状の満足度、および方法の使用の間の関連体重を減らすかコントロールする：8,009人のオーストラリア人女性の全国調査の結果。医学における補完療法、2018年 36 : p. 100-6。
290. Lauche,R.,Hall,H.,Adams,J.,Steel,A.,Broom,A.、およびSibbritt,D.、睡眠障害および/または疲労感または倦怠感を経験する妊婦の医療利用：1835人の妊婦の断面調査の二次分析。睡眠と呼吸 2016年 20 (1) :p. 355-62。
291. Lauche,R.,Lange,S.,Cramer,H.,Wagner,K.,Esch,T.,Langhorst,J.,Dobos,G.,and Paul,A.、慢性疾患患者の自己の変化-統合医療部門での14日間の入院治療後の管理スキルとリソース：観察パイロット研究。統合医療のユーロピーンジャーナル、2013年 5 (2) :p. 165-70。
292. Lauche,R.,Langhorst,J.,Paul,A.,Dobos,G.、およびCramer,H.、瞑想する慢性疾患の患者の自己申告による健康と満足度：症例対照研究。生活の質の研究,2014年 23 (9) :p. 2639-44。
293. Lauche,R.,Schumann,D.,Sibbritt,D.,Adams,J.、およびCramer,H.、ヨガの練習と関節の問題との関連：9151人のオーストラリア人女性の横断的調査。リウマチインターナショナル、2017年 37 (7) :p. 1145-8。
294. Lauche,R.,Sibbritt,D.,Ostermann,T.,Fuller,NR,Adams,J.,and Cramer,H.、Associations between Yoga / 瞑想の使用、体の満足度、および体重管理の方法：8009人のオーストラリア人女性の全国横断調査の結果。栄養学 2017年 34 : p. 58-64。
295. Lauche,R.,Wardle,J.,Ostermann,T.,Adams,J.,Langhorst,J.,Dobos,G.,Michalsen,A.,and Cramer,H.、内科における断食ユーザーの特徴ドイツの患者。統合医療の進歩、2017年 5 (1) :p. 29-34。
296. Lauche,R.,Wardle,J.,Peng,W.,Adams,J.、およびCramer,H.、「サンタの赤ちゃん、今夜煙突を急いで下りてください」-クリスマス関連の怪我の蔓延2007 - 2016年アメリカ：観察研究。統合医療の進歩、2018年。印刷中。
297. Lauche,R.,Wayne,PM,Dobos,G.、およびCramer,H.、米国での太極拳と気功の使用の有病率、パターン、および予測因子：全国的に代表的な調査の結果。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2016年 22 (4) :p. 336-42。
298. Lavallée,LT,Fitzpatrick,R.,Wood,LA,Basiuk,J.,Knee,C.,Cnossen,S.,Mallick,R.,Witiuk,K.,Van huysse,M.,and Tanguay,S.、カナダでの継続的な医学教育プログラムの開発と実施：腎細胞癌 (KT4RCC) の知識翻訳。Journal of Cancer Education,2017年:p. 1-5。
299. リーチ,M.、自然に影響を与える要因の調査

- 王立地区看護サービスでの治療の使用。オーストラリアのホリスティック看護ジャーナル、2002年 9 (2) :p. 41。
300. リーチ、M.、統合医療の意味を理解する。Australian Journal of Herbal Medicine、2017年 29 (1) :p. 37-38。
301. Leach、M.、Wiese、M.、Thakkar、M.、およびAgnew、T.、統合医療-より明確な定義に向けて取り組んでいます。European Journal of Integrative Medicine、2016年 1 :p. 66。
302. リーチ、MJ、静脈性下肢潰瘍の治療における自然医学、植物療法およびセイヨウトチノキ種子抽出物の臨床的実現可能性：記述的調査。看護と助産における補完療法、2004年 10 (2) :p. 97-109。
303. リーチ、MJ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、米国、英国全体の補完代替医療労働力のプロフィール。医学における補完療法、2013年 21 (4) :p. 364-78。
304. リーチ、MJ、補完代替医療のオーストラリアの消費者のプロファイリング：全国健康調査データの二次分析。健康と医学における代替療法、2016年 22 (4) :p. 64-72。
305. Leach、MJ、Canaway、R.、およびHunter、J.、伝統的および補完的な医学におけるエビデンスに基づく実践：政策、実践、教育および研究の議題。臨床診療における補完療法、2018年 31 : p. 38-46。
306. Leach、MJおよびGillham、D.、証拠の評価-ベースの実践態度と利用補完医療従事者のためのSurvEy。Journal of Evaluation in Clinical Practice、2008年 14 (5) : p. 792-8。
307. Leach、MJおよびGillham、D.、補完的な医療従事者は、エビデンスに基づく実践を実施していますか？医学における補完療法、2011年 19 (3) :p. 128-36。
308. Leach、MJ、Hofmeyer、A.、およびBobridge、A.、学生看護師の態度、スキル、および証拠に基づく実践の取り込みに対する研究教育の影響：記述的な縦断的調査。Journal of Clinical Nursing、2016年。25 (1-2) :p. 194-203。
309. Leach、MJ、Lauche、R.、Zhang、AL、Cramer、H.、Adams、J.、Langhorst、J.、およびDobos、G.、内科患者における漢方薬使用者の特徴：横断的研究分析。Journal of Herbal Medicine、2017年 10 : p. 59-63。
310. Leach、MJ、McIntyre、E.、およびFrawley、J.、オーストラリアの補完代替医療 (CAM)労働力の特徴。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2014年 26 (2) :p. 58。
311. Leach、MJ、Pincombe、J.、およびFoster、G.、静脈性下肢潰瘍の治療におけるhor sechestnut種子抽出物の使用：費用便益分析。オストミー/創傷管理、2006年 52 (4) :p. 68-70、72-4、76-8。
312. Leach、MJおよびSegal、L.、患者の属性は、診療ガイドライン、医療従事者の計画および方針における考慮を正当化するものです。BMC Health Services Research、2011年 11 (1) :p. 221。
313. リーチ、MJ、シーガル、L.、およびメイ、E.、失われた機会
- オーストラリアの医療従事者と。オーストラリア医学ジャーナル、2010年 193 (3) :p. 167-172。
314. Leach、MJおよびTucker、B.、補完医学学者の観点からの研究と実践のギャップに関する現在の理解：混合法調査。
- 探索：The Journal of Science and Healing、2017年 13 (1) : p. 53-61。
315. Leach、MJおよびTucker、B.、看護における研究と実践のギャップに関する現在の理解：混合法研究。Collegian (Royal College of Nursing Australia) 、2018年 25 (2) : p. 171-9。
316. Leach、MJ、Wiese、M.、Agnew、T.、およびThakkar、M.、統合医療サービス提供モデルに対する医療消費者および医療提供者の選好：全国横断研究。International Journal of Clinical Practice、2018年 72 : p. e13204。
317. Leach、MJ、Wiese、M.、Thakkar、M.、およびAgnew、T.、統合医療-共通の理解に向けて：混合法研究。臨床診療における補完療法、2017年 30 : p. 50-7。
318. Leech、B.、Schloss、J.、およびSteel、A.、腸透過性の補完的および統合的医療従事者の臨床経験の調査：横断的調査。臨床診療における補完療法、2018年 31 : p. 200-9。
319. Leonard、B.、Huff、H.、Merryweather、B.、Lim、A.、およびMills、E.、HIV +個人間の安全性とハーブと薬物の相互作用に関する知識：フォーカスグループ研究。Canadian Journal of Clinical Pharmacology、2004年 11 (2) :p. e227-231。
320. Letourneau、N.、Dewey、D.、Kaplan、B.、Ntanda、H.、Novick、J.、Thomas、J.、Deane、A.、Leung、B.、Pon、K.、and Giesbrecht、G.、母親のうつ病と不安および子供の性別による緩和を介した逆境的小児期の経験の世代間伝達。Journal of Developmental Origins of Health and Disease、2018、in press : p. 1-12。
321. Leung、B.、Catallo、C.、Riediger、ND、Cahill、NE、およびKastner、M.、付与終了時の知識翻訳計画の作成について私たちは何を知っていますか？研修生の視点。実証科学、2010年 5 :p. 78。
322. Leung、B.、Lauche、R.、Leach、M.、Zhang、Y.、Cramer、H.、およびSibbritt、D.、現代アメリカの特別食：2012年の国民健康インタビュー調査データの分析。栄養と健康、2018年 24 (1) :p. 11-18。
323. Leung、B.、Letourneau、N.、Bright、K.、Giesbrecht、GF、Ntanda、H.、Gagnon、L.、およびTeam、A.、周産期コホートにおける精神医学的診断スクリーニング質問票の評価：APRON研究。Scandinavian Journal of Public Health、2017年 45 (6) :p. 658-65。
324. Leung、B.、Luo、N.、So、L.、およびQuan、H.、中国語と白人のカナダ人。医薬 2007年 45 (7) :p. 610-7。
325. Leung、B.、およびVerhoef、M.、子供における自然療法医学の使用に関する親の調査-特徴および

- 理由。臨床診療における補完療法、2008年、14 (2) :p. 98-104。
326. Leung,B.,Verhoef,MJ, およびDryden,T.、補完代替医療 (CAM)実践者の研究リテラシーと能力を構築するためのネットワーク内のメンターシッププログラム。 *Journal of Complementary and Integrative Medicine*,2005,2 (1) 。
327. Leung,BM,Flower,G.,Cooley,K.,Habib,C.,Gowan,M.,Podgrabinski,S.、およびSeely,D.、システム全体の実践をキャプチャするための電子研究データベースの有用性の評価2つの自然療法外来の教育クリニックで。
Journal of Evidence-Based Complementary & Alternative Medicine,2013,18 (3) :p. 170-5。
328. Leung,BM,Giesbrecht,GF,Letourneau,N.,Field,CJ,Bell,RC,Dewey,D.,and Team,AS、母体のメンタルヘルスと子どもの発達における周産期の栄養：妊娠コホートの誕生。初期の人間開発、2016年。93 : p. 1-7。
329. Leung,BM,Kaplan,BJ,Field,CJ,Tough,S.,Eliasziw,M.,Gomez,MF,McCargar,LJ, およびGagnon,L.、妊娠コホートにおける出生前微量栄養素補給および産後うつ症状。
BMCの妊娠と出産、2013年、13 (1) :p. 2.2。
330. Leung,BM,Letourneau,NL,Giesbrecht,GF,Ntanda,H.、およびHart,M.、長期の食事コホートからのパートナーの母親と父親における産後うつ病の予測因子。 *Community Mental Health Journal*、2017年、53 (4) :p. 420-31。
331. Leung,BM,McDonald,SW,Kaplan,BJ,Giesbrecht,GF、およびTough,SC、2つの妊娠コホートにおけるサンプル特性の比較：コミュニティベースと人口ベースの採用方法。 *BMCメディカルリサーチ*
方法論、2013年、13 (1) :p. 149。
332. ルイス E.、 P05.04。本態性高血圧症-教育クリニックにおける自然療法管理戦略の横断的監査。健康と医学の世界的進歩、2013年。
2 (補足) :p. S149。
333. Lewis,S.,Salins,N.,Kadam,A.、およびRao,R.、放射線療法を受けている頭頸部がん患者における苦痛温度計を使用した苦痛スクリーニングおよび苦痛の発生を予測する原因因子の評価。 *Indian Journal of Palliative Care*,2013年、19 (2) :p. 88。
334. Lewis,S.,Salins,N.,Rao,MR,and Kadam,A.、Spiritualの幸福と、積極的な癌指向治療を受けている患者の倦怠感への影響：相関研究。
Journal of Cancer Research and Therapeutics,2014年、10 (3) : p. 676。
335. Li,X.,Veltre,DR,Cusano,A.,Yi,P.,Sing,D.,Gagnier,JJ,Eichinger,JK,Jawa,A.,and Bedi,A.、保険ステータスは影響します肩関節形成術後の術後罹患率と合併症率。 *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*,2017,26 (8) :p. 1423-31。
336. Li,Y.,Burke,MC,Gagnier,J.,Caird,M.,Abbott,MD,and Farley,FA、先天性脊柱側弯症におけるEOSQ-24スコアとSRS-22スコアの比較。脊椎奇形、2017年、5 (6) :p. 457-8。
337. Li,Y.,Helvie,P.,Mead,M.,Gagnier,J.,Hammer,MR, and Jong,N.、無症候性の青年における大腿関節インピンジメント形態の有病率。 *Journal of Pediatric Orthopaedics*,2017,37 (2) : p. 121-6。
338. Li,Y.,Heyworth,BE,Glottzbecker,M.,Seeley,M.,Suppan,CA,Gagnier,J.,VanderHave,KL,Caird,MS,Farley,FA,and Hedequist,D.、比較小児の転子下大腿骨骨折のチタン弾性釘およびプレート固定。 *Journal of Pediatric Orthopaedics*,2013年、33 (3) :p. 232-8。
339. Liangpunsakul,S.,Bennett,R.,Petyaykina,K.,Odi mayomi,T.,Ross,RA,Chalasanani,NP,Crabb,D.,Lai,X.,and Witzmann,FA、Su1717ホストの応答トランスロケーション微生物製品、sCD163およびsCD14は、過剰なアルコール消費を予測します。 *胃腸病学*、2013年。144 (5) :p. S-1005。
340. Liangpunsakul,S.,Bennett,R.,Ross,R.,Lai,X.、およびWitzmann,F.、微生物転座 (LPS)および免疫応答 (SCD14およびSCD163)の血清マーカーは、過度のアルコール消費を強く予測します。 *Journal of Investigative Medicine*,2013年、61 (4) :p. 792-792。
341. Liangpunsakul,S.,Bennett,R.,Westerhold,C.,Ross,RA,Crabb,DW,Lai,X.、およびWitzmann,FA、血清前脂肪細胞因子-1 (Pref-1)の増加は過剰な飲酒者における体脂肪の減少、遊離脂肪酸の増加、および最近のアルコール消費のレベル。
アルコール、2014年、48 (8) :p. 795-800。
342. Link,AR,Gammon,MD,Jacobson,JS,Abramson,P.,Bradshaw,PT,Terry,MB,Teitelbaum,S.,Neugut,A.,and Greenlee,H.、Use of self-care and乳がんの診断の前後の開業医ベースの補完代替医療。エビデンスベースの補完代替医療、2013年、2013年 : p. 1-16。
343. Lis,C.,Birdsall,T.,Stark,J.,Cain,L.,Campbell,K.,Gilbert,K.、およびGupta,D.、乳がんの症状クラスターの特定：患者の質への影響生活。 *Cancer Research*,2009,69 (24 Suppl) :p. 5043。
344. Loggers,ET,Storer,B.,Pergam,S.,Urban,R.,Greenlee,H.,Fann, JR, およびLee,S.、造血移植生存者における大麻の使用。 *Journal of Clinical Oncology*,2018年、36 (15 Suppl) :p. 10084。
345. Lovasi,GS,Richardson JM,Rodriguez,CJ,Kop,WJ,Ahmed,A.,Brown,AF,Greenlee,H.、およびSiscovick,DS、心血管の健康イベントの発生に応じた高齢者による住宅移転：ケースクロスオーバー分析。 *Journal of Environmental and Public Health*,2014年。2014年 : p. 1-7。
346. Lowe,KA,Andersen,MR,Sweet,E.,Standish,L.,Drescher,CW, およびGoff,BA、卵巣がん生存者の健康関連の生活の質に対する定期的な運動とヨガの効果。 *Journal of Evidence-Based Complementary & Alternative Medicine*,2012,17 (3) :p. 155-60。
347. マクドナルド、DA、ガニエ、JJ、およびフリードマン、HL、自己拡張性レベルフォーム：その有効性とNEOパーソナリティインベントリとの関係の調査-改訂。 *Psychological Reports*,2000,86 (3) :p. 707-26。
348. MacLennan,AH,Myers,SP,およびTaylor,AW、The

- 南オーストラリアでの補完代替医療の継続的な使用：2004年の費用と信念。
オーストラリア医学ジャーナル、2006年、184（1）：p. 27-31。
349. Mahrer,NE,Gold,JI,Luu,M.、およびHerman,PM、学際的な小児慢性疼痛クリニックの費用分析。Journal of Pain,2017年、19（2）：p. 158-65。
350. Manjunath,N.,Srinivas,R.,Nirmal,K.,Nagendra,H.,Kumar,A.、およびTelles,S.、通常の視力と比較して先天的に盲目の中潜時聴覚誘発電位の構成要素のより短い潜時科目。神経科学の国際ジャーナル、1998年、95（3-4）：p. 173-81。
351. Maratt,J.,Gagnier,J.、およびBuler,P.、直接前方アプローチは脱臼のリスクを軽減しません。Journal of Arthroplasty,2016年、31（9 Suppl）：p. 127-30。
352. Maratt,J.,Gagnier,J.,Gombera,M.,Reske,S.,Hallstrom,B.、およびUrquhart,A.、人工股関節および膝関節全置換術の費用に関する患者の認識。American Journal of Orthopedics,2015年、44（5）：p. E135-41。
353. Maratt,J,D,Gagnier,JJ,Butler,PD,Hallstrom,BR,Urquhart,AG、およびRoberts,KC.、前方アプローチと後方アプローチの人工股関節全置換術で見られる脱臼の違いはありません。Journal of Arthroplasty,2016年、31（9）：p. 127-30。
354. Markman,M.,Levin,M.,Reilly,P.,Coyne,JW,Lammersfeld,C.、およびBirdsall,TC.、癌患者の食事補給の質の保証：統合処方システムアプローチ。Journal of Clinical Oncology,2013年、31（15補足）：p. e20663。
355. Maty,S.、およびTippens,K.、米国オレゴン州ポートランドの中国人およびヒスパニック/ラテン系コミュニティにおける認識された実際の糖尿病リスク。糖尿病治療薬、2011年、28（6）：p. 658-67。
356. McAlpine,K.,Breau,RH,Stacey,D.,Knee,C.,andLavallee,LT.、MP42-15 複雑で限局性の腎腫瘍に対する患者の意思決定支援の開発。Journal of Urology,2018年、199（4 Suppl）：p. e542。
357. McCarty,RL,Fenn,R.,Gaster,B.,Weber,W.,and Guiltinan,J.、Building bridges：自然療法と同種療法の医療トレーニングプログラム間の臨床能力交換の定性的評価。探索：The Journal of Science and Healing,2011年、7（4）：p. 249-53。
358. McCarty,RL,Weber,WJ,Loots,B.,Breuner,CC,Vander Stoep,A.,Manhart,L.,and Pihoker,C.、小児糖尿病における補完代替医療の使用と生活の質。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2010年、16（2）：p. 165-73。
359. McCarty,RL,Zarn,J.,Fenn,R.、およびCollins,RD.、頻繁なED利用者：患者のニーズに対応するための症例管理プログラム。看護管理、2015年、46（9）：p. 24-31。
360. McDermott,CL,Hsieh,AA,Sweet,ES,Tippens,KM、およびMcCune,JS.、アロマターゼ阻害剤に関するウェブサイト情報のパイロット研究：栄養補助食品の相互作用。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2011年、17（11）：p. 1043-9。
361. McGowan,J.,Hogg,W.,Rader,T.,Salzwedel,D.,Worster,D.,Cogo,E.、およびRowan,M.、迅速な証拠に基づく図書館員によるサービスは、プライマリケアの臨床的質問に答えるための情報を提供しました。Health Information & Libraries Journal,2010年、27（1）：p. 11-21。
362. McGowan,J.,Sampson,M.,Salzwedel,DM,Cogo,E.,Foerster,V.、およびLefebvre,C.、電子検索戦略のPRESSピアレビュー：2015年ガイドラインステートメント。Journal of Clinical Epidemiology,2016年、75：p. 40-6。
363. McIntyre,E.,Adams,J.,Foley,H.,Harnett,J.,Leach,MJ,Reid,R.,Schloss,J.,and Steel,A.、自然療法医および西洋ハーバリストとの協議：有病率オーストラリアのユーザーの使用と特性の。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2018年。印刷中。
364. McIntyre,E.,Saliba,AJ,Wiener,KK,およびSarris,J.、オーストラリアの成人における漢方薬の使用行動不安を経験する：記述的研究。BMC補完代替医療,2016年、16（1）：p. 60。
365. McMurtry,A.,Wilson,K.,Clarkin,C.,Walji,R.,Kilian,BC,Kilian,CC,Lothfeld,L.,Alolabi,B.,Hagino,C.,and Busse,JW.、カイロプラクティック、自然療法および医学の学生の間でのワクチン接種の見方の発達：専門家の養殖の事例研究。健康科学教育の進歩、2015年、20（5）：p. 1291-302。
366. Mehl-Madrone,L.,Leung,B.,Kennedy,C.,Paul,S.、およびKaplan,BJ.、自閉症における微量栄養素と標準的な薬物管理の比較：自然主義的な症例対照研究。Journal of Child and Adolescent Psychopharmacology,2010年、20（2）：p. 95-103。
367. Mendelsohn,AS,Gill,K.,Marcus,R.,Robbertze,D.,van de Venter,C.,Mendel,E.,Mzukwa,L.,and Bekker,L.-G.、性的生殖医療南アフリカのケープタウンにある統合された青年期青少年センタークリニックでの利用とHIV検査。南部アフリカのHIV医学ジャーナル,2018年、19（1）：p. 7。
368. Millbank,J.,Kaye,M.,Stuhmcke,A.,Sibbritt,D.,Karpin,I.、およびWardle,J.、オーストラリアでの違法行為について懲戒処分を受けた補完的医療従事者2010-2016。Journal of Law and Medicine,2017年、24（4）：p. 788-802。
369. Miller,BS,Kessler,K.,Robbins,C.,Bedi,A.,Carpenter,J.、およびGagnier,J.、肥満は回旋腱板修復後の機能的転帰に影響を及ぼしますか？関節鏡検査,2017年、33（10）：p. e85。
370. Miller,BS,Robbins,C.、およびGagnier,JJ.、全層腱板断裂に対して外科的および非外科的に治療された患者における最小限の重要な差異および経時的変化。スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2016年、4（7,suppl 4）：p. 2325967116S00192。
371. Miller,PA,Mulla,SM,Adams-Webber,T.,Sivji,Y.,Guyatt,GH,およびJohnston,BC.、まれなりソノーム蓄積症における患者報告の結果：重要な情報提供者のインタビューと系統的レビュープロトコル。International Journal of Technology Assessment in Health Care,2016年、32（6）：p. 393-9。
372. Mills,E.,DeBona,M.,Raskin,G.、およびLloyd,I.、自然療法医学教育クリニックに通う患者の特徴。トロント大学医学ジャーナル、2002年、80（1）：p. 116-8。
373. ミシュリー,LK,アレックス,J.、およびブラッドリー,R.、コエンザイムQ10

付録：自然療法研究者によって公開された観察研究

- パーキンソン病患者の欠乏症。 *Journal of the Neurological Sciences*、2012、318 (1) :p。 72-5。
374. Mischley,LK,Lau,RC、およびBennett,RD、パーキンソン病の進行における食事療法と栄養補助食品の役割。 *酸化医学と細胞寿命*、2017年、2017年： p。 1-9。
375. Mischley,LK,Lau,RC、およびWeiss,NS、パーキンソン病 (PRO-PD)の症状の性質と重症度の自己評価尺度の使用：生活の質と既存の疾患重症度の尺度との相関。 *NPJパーキンソン病*、2017年、3 (1) :p。 20。
376. ミシュリー、LK、スタンディッシュ、LJ、ワイス NS、パドウスキー、JM、カバナ、TJ、ホワイト、CC、およびローゼンフェルド、ME、パーキンソン病のバイオマーカーとしてのグルタチオン：アソシア
老化と病気の重症度を伴う。 *酸化医学と細胞の寿命*、2016年、2016年： p。 1-6。
377. Mischley,LK,Vespignani,MF、およびFinnell,JS、鼻腔内グルタチオンの安全性調査。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*、2013。 19 (5) :p。 459-63。
378. Mongiovi,J.,Shi,Z。、およびGreenlee,H。、慢性疾患を持つ個人の間での補完代替医療の使用と欠席。 *BMC補完代替医療*、2016年、16 (1) :p。 248。
379. Morgan,TK,Williamson,M.,Pirota,M.,Stewart,K.,Myers,SP、およびBarnes,J。、国勢調査による医薬品使用：50歳以上のオーストラリア人の24時間スナップショット。 *オーストラリア医学ジャーナル*、2012年、196 (1) : p。 50-3。
380. Motl,RW,Mowry,EM,Ehde,DM,LaRocca,NG,Smith,KE,Costello,K.,Shinto,L.,Ng,AV,Sullivan,AB、およびGiesser,B。、ウェルネスおよび多発性硬化症：国立多発性硬化症協会は、ウェルネス研究ワーキンググループと研究の優先順位を確立します。 *多発性硬化症ジャーナル*、2018年、24 (3) :p。 262-7。
381. Muyambi,K.,Leach,M.,Martinez,L.,Cronin,K.,McPhail,R.,Dennis,S.,Walsh,S.,Gray,R.,and Jones,M., Rural and看護師の処方に関する南オーストラリア州の大都市のメンタルヘルスワーカーの見解：主題分析。 *コミュニティにおける健康と社会的ケア*、2018年。印刷中： p。 1-10。
382. Nahin,RL,Stussman,BJ、およびHerman,PM、全国的に代表的な成人サンプルの痛みを伴う健康状態に関連する補完的な健康アプローチへの自己負担支出。 *Journal of Pain*、2015年、16 (11) :p。 1147-62。
383. Naimark,M.,Robbins,CB,Gagnier,JJ,Landfair,G.,Carpenter,J.,Bedi,A。、およびMiller,BS、関節鏡視下回旋腱板修復後の患者の転帰に対する喫煙の影響。 *BMJオープンスポーツ&エクササイズ医学*、2018年、4 (1) : p。 e000416。
384. Nair,PMおよびNanda,A。、インドの自然療法医学。
代替療法と補完療法に焦点を当てる、2014年、19 (3) :p。 140-7。
385. Nancarrow,S.,Bradbury,J。、およびAvila,C。、オーストラリア地域の一般診療スーパークリニック集団における不参加に関連する要因：後ろ向きコホート研究。 *Australasian Medical Journal*、2014年、7 (8) :p。
- 323。
386. Nancarrow,S.,Bradbury,J.,Pit,SW、およびAriss,S。、滞在する意図と離れる意図：それらは同じコインの両面ですか？医療従事者と社会福祉従事者の間の断面構造方程式モデルの研究。 *Journal of Occupational Health*、2014年、56 (4) :p。 292-300。
387. Naveen,G.,Sinha,S.,Girish,N.,Taly,A.,Varambally,S.,and Gangadhar,B。、ヨガとてんかん：患者は何を認識していますか？ *Indian Journal of Psychiatry*、2013、55 (Suppl 3) :p。 S390。
388. Nawaz,H.,Via,CM,Ali,A。、およびRosenberger,LD、Project ASPIRE：研修医の研修に統合医療を組み込む。 *American Journal of Preventive Medicine*、2015年、49 (5) :p。 S296-S301。
389. Nazareth,S.,Lebwohl,B.,Tennison,CA,Simpson,S.,Greenlee,H。、およびGreen,PH、米国のセリアック病患者における栄養補助食品の使用。 *Journal of Clinical Gastroenterology*、2015年、49 (7) :p。 577-81。
390. Necyk,C.,Khamba,B.,Chue,P.,Urichuk,L.,Snaterse,M.,and Vohra,S。、メンタルヘルスを求める患者における自然健康製品-薬物副作用 (SONAR)の研究サービス。 *Current Medical Research and Opinion*、2016、32 (8) :p。 1335-43。
391. Necyk,C.,Khamba,B.,Hydrie,MZ、およびVohra,S。、メンタルヘルスサービスを求める患者におけるNHP-薬物副作用 (SONAR)の研究。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*、2014年、20 (5) :p。 A27。
392. Needham,BL,Diez Roux,AV,Bird,CE,Bradley,R.,Fitzpatrick,AL,Jacobs,DR,Ouyang,P.,Seeman,TE,Thurston,RC,and Vaidya,D., A test ofテロメアの長さにおける性差の生物学的および行動的説明：アテローム性動脈硬化症の多民族研究。 *バイオ人口統計と社会生物学*、2014年、60 (2) :p。 156-73。
393. ノイハウザー、ML、バートン、RE、シュワルツ、SM、ヘド
ダーソン、MM、ポーエン、DJ、およびスタンディッシュ、LJ、ワシントン州の癌の子供による代替医療の使用。 *予防医学*、2001年、33 (5) :p。 347-54。
394. 西平京、渡嘉敷徹、東上里恭子、ウィルコックスDC、マテックN.、裨直.、大矢恭子、ドゥンH、血清オメガ3脂肪酸レベルの関連沖縄の地域在住のオクトゲナリアンの認知機能と認知機能：KOCO研究。 *Journal of Alzheimer's Disease*、2016、51 (3) :p。 857-66。
395. Oates,L.,Cohen,M。、およびBraun,L。、オーストラリアの有機消費者の特徴と消費パターン。
Journal of the Science of Food and Agriculture、2012、92 (14) : p。 2782-7。
396. Oberg,E.,Bradley,R.,Sherman,K.,Hsu,C.,Cal abrese,C。、およびCherkin,D.,P05。 52.CAM未経験患者における2型糖尿病の補助的自然療法治療に関する患者報告の経験。 *BMC補完代替医療*、2012年、12 (1) : p。 P412。
397. Oberg,E.,Givant,C.,Fisk,B.,Parikh,C。、およびBradley,R。、臨床診療におけるエピジェネティクス：MTHFR多型およびメチルフォレートに関する患者およびプロバイダーの経験の特徴づけ。 *Journal of Nutrigenetics and Nutrigenomics*、2015年、8 (3) :p。 137-50。

398. Oberg,EB,Bradley,R.,Hsu,C.,Sherman,KJ,Catz,S.,Calabrese,C.、およびCherkin,DC、2型糖尿病の初めての自然療法治療に関する患者報告の経験。PLoS One,2012年 7 (11) :p. e48549。
399. Oberg,EB,Fitzpatrick,AL,Lafferty,WE、およびLogerfo,JP、メディケイド心筋梗塞生存者の投薬管理。ワシントン州公衆衛生実践ジャーナル、2008年 1 (1) :p. 1-12。
400. Oberg,EB,Fitzpatrick,AL,Lafferty,WE、およびLoGerfo,JP、メディケイドコホートにおける非薬理学的戦略による心筋梗塞の二次予防。
慢性疾患の予防,2009年 6 (2) :p. A52。
401. Oberg,EB,Thomas,M.-S.,McCarty,M.,Berg,J.,Burlingham,B.、およびBradley,R.、自然療法医学の健康な老化への影響に関する高齢者の視点。探索:The Journal of Science and Healing,2014年 10 (1) :p. 34-43。
402. Okwali,M.,Greenlee,H.,Ginindza,T.,Jolly,P.、およびAkinyemiju,TF、南アフリカのがん予防ガイドラインの順守は医療アクセスに関連しています。
国際保健,2015年 8 (3) :p. 211-9。
403. Ostermann,T.,Lauche,R.,Cramer,H.、およびDobos,G.、入院患者の統合医療の比較コスト分析-パイロット研究の結果。医学における補完療法,2017年 32 :p. 129-33。
404. Page,MJ,Huang,H.,Verhagen,AP,Buchbinder,R.、およびGagnier,JJ、肩の障害の臨床試験で測定する結果ドメインのコアセットの特定：修正されたデルファイ研究。RMD Open,2016年 2 (2) :p. e000380。
405. Painovich,J.およびHerman,P.、統合病院ベースの鍼治療プログラムは効果的でしょうか？大規模な入院患者の鍼治療の研究が開始される予定です。アメリカのAcupuncturist,2007年。夏:p. 16-7。
406. Patterson,RE,Neuhouser,ML,Hedderson,MM,Schwartz,SM,Standish,LJ,およびBowen,DJ、癌と診断された成人の食事、身体活動、およびサプリメントの使用の変化。Journal of the American Dietetic Association,2003,103 (3) :p. 323-8。
407. Patterson,RE,Neuhouser,ML,Hedderson,MM,Schwartz,SM,Standish,LJ,Bowen,DJ,およびMar should,LM、乳がん、結腸がん、または前立腺がんの患者が使用する代替医療の種類：予測因子、動機、およびコスト。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2002,8 (4) :p. 477-85。
408. Perlman,A.,Dreusicke,M.,Keever,T.、およびAli,A.、ランダム化比較試験に参加しているマッサージ療法士の認識。International Journal of Therapeutic Massage & Bodywork,2015年 8 (3) :p. 10.10。
409. Pincombe,J.,McKellar,L.,Weise,M.,Grinter,E.、およびBeresford,G.、助産実践におけるeポートフォリオ：「未来の道」。女性と出産,2010年 23 (3) :p. 94-102。
410. Prabhudesai,S.,Malini,A.,Raghavendra,R.,Ashwini,N.,Geetha,V.,Patil,S.,Diwakar,R.,Gopinath,K.,Sri nath,B.,and Raizada, N.、局所進行乳がんの治療におけるネオアジュバント化学療法後の病理学的完全奏効率。Journal of Clinical Oncology,2011年 29 (Suppl 15) :p. e11012。
411. メンタルヘルスと精神科の薬に関する自然療法医JE、自然療法医の見解：パイロット調査の結果。倫理的な人間の心理学と精神医学,2014年 16 (1) :p. 29-36。
412. Raghuraj,P,and Telles.S.、ヨガやスポーツの訓練を受けた地域の家庭の女の子、および通常の子供校生の筋力、器用さ、視覚。Indian Journal of Physiology and Pharmacology,1997,41 :p. 409-15。
413. Raizada,N.,Vadiraja,H.,Raghavendra,R.,Ajaikumar,B.,Bilimagga,R.,Rekha,M.,Vanitha,N.,Usha,N.,Nagarathna,R.,and Nagendra、H.、放射線療法を待っている乳がん患者の気分状態と日中の唾液コルチゾールリズムの研究：横断研究。
Journal of Clinical Oncology,2008年 26 (Suppl 15) :p. 22160。
414. Rakei,D.,Bolles,S.,Knutson,L.,Herman,PM,Hiza,D.、およびWeeks,J.、医療施設：費用効果の高い医療チームの定義。Alternative & Complementary Therapies,2009年 15 (5) :p. 248-50。
415. Ralston-Wilson,J.,Oberg,E.,Sasagawa,M.,Tseng,A.,Lynn,A.,Doorenbos,A.,and Kundu,A.,P03. 17.17。
三次医療小児病院の小児腫瘍学患者における鍼治療の利用。健康と医学の世界的進歩,2013年 2 (補足6) :p. S145。
416. Ram,A.,Banerjee,B.,Hosakote,VS,Rao,RM,およびNagarathna,R.、ヨガ実践者と乳がん患者におけるリンパ球アポトーシス指数と定性的DNA損傷の比較：パイロット研究。International Journal of Yoga,2013年 6 (1) :p. 20-5。
417. Ram,A.,Raghuram,N.,Rao,R.,Veldore,V.,Usharani,M.,Kodaganur、G.,Ajaikumar,B.,and Reddy,S.、8P長期ヨガ練習の効果乳がん生存者の心理的および免疫的結果に関する研究。腫瘍学年報,2015年 26 (補足3) :p. iii3。
418. Ram,A.,Raghuram,N.,Rao,RM,Bhargava,H.,Koka,PS,Tripathi,S.,Nelamangala,RV,Kodaganur,GS,およびRamarao,NH、ニーズの開発と検証-がん患者のための統合ヨガプログラムに基づく：後ろ向き研究。Journal of Stem Cells,2012年 7 (4) :p. 269。
419. Rao,R.,Saha,N.,Mani,V.,Amritanshu,R.,Geetha,R.,Radheshyam,N.,Patil,S.,Shashidhara,H.,Satheesh,T.,and Agarwal、V.、15390 化学療法前の栄養状態と化学療法反応：観察研究。
腫瘍学年報,2017年 28 (補足5)。
420. Rao,YC,Kadam,A.,Jagannathan,A.,Babina,N.,Rao,R.、およびNagendra,HR、気管支喘息における自然療法とヨガの有効性。Indian Journal of Physiology and Pharmacology,2014年 58 (3) :p. 232-8。
421. Reid,R.、子宮内腫瘍および関連する症状の管理に利用される伝統的な自然療法治療。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 38-9。
422. Reid,R.,Steel,A.,Wardle,J.、およびAdams,J.、子宮内腫瘍、月経過多、月経過多の管理のためのナチュロパシー医学：内容分析。ジャーナル

- of Alternative & Complementary Medicine,2018,inpress。
423. Reimers,LL,Sivasubramanian,PS,Hershman,D.,Terry,MB, Greenlee,H.,Campbell,J.,Kalinsky,K.,Maurer,M.,Jayasena,R., and Sandoval,R.、高リスクの女性と非浸潤性乳管がんの女性における乳がんの化学的予防。プレストジャーナル、2015年 21 (4) :p. 377-86。
424. Ritenbaugh,C.,Aickin,M.,Bradley,R.,Caspi,O.,Grimsgaard,S.、およびMusial,F.、システム全体の研究が現実のものになります：新しい結果と次のステップ。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2010年 16 (1) :p. 131-7。
425. Robbins,C.,Carpenter,JE,Bedi,A.,Gagnier,JJ.、およびMiller,BS.、手術および非手術のRCT患者の生活の質の改善に関連する要因。スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2015年 3 (2 Suppl) :p. 2325967115S00070。
426. Romy,L.,Holger,C.,Susanne,M.,Anna,P.,Jost,L.、およびGustav,D.、内科および統合医療のためのクリニックでの14日間の入院の影響—観察研究。European Journal of Integrative Medicine,2012年 4 : p. 196-197。
427. Roseabin,H.,Raghavendra Rao,M.、およびMani,V.、非転移性頭頸部がん患者の生存の代理マーカーとしての治療前の好中球リンパ球比：観察研究。腫瘍学年報 2017年 28 (補足5) :p. 580-1。
428. ロス JR, ベディ, A.、クロビシー, JC, ガニエ, JJ, ラーンソン, CM, およびグリーブ, AS.、大腿骨寛骨臼衝突の治療のためのランダム化比較試験に参加する意欲のある外科医。Arthroscopy :The Journal of Arthroscopic & Related Surgery,2016,32 (1) :p. 20-4. e23。
429. Rysdale,LA,Brunelle,PL,Simpson,JR,Knee,CA.、およびKeller,HH.、オンタリオ州の未就学児のサンプル内のフルーツジュース摂取量と肥満度指数の評価。ICAN : 幼児、子供、および青年期の栄養、2009年 1 (3) : p. 170-5。
430. Saha,F.,Ostermann,T.,Jacob,N.,Cramer,H.,Dobos,G.、およびLauche,R.、慢性腰痛に対する機械的針刺激パッドの効果—観察試験。European Journal of Integrative Medicine、2015 (7) :p. 48-9。
431. Saha,FJ,Brüning,A.、Barcelona,C.,Büssing,A.、Langhorst,J., Dobos,G.,Lauche,R.,and Cramer,H.、慢性疼痛の統合医療：コホート内科および統合医療の部門のコンテキストでプロセス結果の設計を使用して研究します。医学 2016年 95 (27) :p. 1-7。
432. Sahoo,R.,Babu,V.,Patil,G.,Kulkarni,J.,Rao,S.,Thakur,S.,Dondhalay,G.,Banerjee,A.,Kumar BS,A.,Korlimarla, A.、およびRao,R.、原発性喉頭のインドのコホートにおける治療反応におけるp53およびBCL2の発現、突然変異、および異数性状態の評価。Journal of Clinical Oncology,2009年 27 (15 Suppl) :p. e17057。
433. Sahoo,R.,Babu,VC,Harini,VV,Patil,GV, Dhondalay,GK,Kulkarni,J.,Nargund,AR,Rao,S.,Venkataswamy, E.,Ajaikumar,BS,and Mohan Rao,R.、乳がんにおける17ポリソミーによるHer-2 / neu過剰発現：分子検査治療の選択肢を導くため。腫瘍学の研究と治療,2011年 34 (7) :p. 356-60。
434. Sahoo,R.,Babu,VC,Okaly,GVP,Rao,S.,Nargund,A.,Venkataswamy, E.,Rao,R.,and Kumar,BA.、肺がんにおけるEGFR変異のスクリーニング、インドからの報告。肺がん、2011年 73 (3) :p. 316-9。
435. Sahoo,R.,Chittibabu,V.,Patil,G.,Rao,S.,Thakur,S.,Dhondalay,G., Kulkarni,A.,Banerjee,A.,Ajaikumar,B.,Korlimarla, A.、およびRaghavendra,R.、喉頭原発性癌を有するインド人患者のレトロスペクティブコホートにおける分子マーカーと治療反応との関係。口腔腫瘍学 2009年 45 (12) :p. e216-21。
436. Salins,N.,Patra,L.,Rani,MU,Lohitashva,S.,Rao,R.,Ramanjulu,R.、およびVallath,N.、癌治療における初期の専門的緩和ケアの統合：腫瘍学者の調査、腫瘍看護師、および患者。Indian Journal of Palliative Care,2016年 22 (3) :p. 258。
437. Sampson,M.,McGowan,J.,Cogo,E.,Grimshaw,J.,Moher,D.、およびLefebvre,C.、電子検索戦略のピアレビューのための証拠に基づく実践ガイドライン。Journal of Clinical Epidemiology,2009年 62 (9) :p. 944-52。
438. Sanchez,OA,Lazo-Elizondo,M.,Zeb,I.,Tracy,RP,Bradley,R.,Duprez, DA,Bahrami,H.,Peralta,CA,Daniels,LB,and Lima,JA.、Computerizedトモグラフィーで測定された肝脂肪は、低レベルのN末端プロ脳性ナトリウム利尿タンパク質 (NT-proBNP)と関連しています。アテローム性動脈硬化症の多民族研究。代謝—臨床および実験,2016年 65 (5) :p. 728-35。
439. Sardo Molmenti,C.,Steck,S.,Thomson,C.,Hibler,E.,Yang,J., Shivappa,N.,Greenlee,H.,Wirth,M.,Neugut,A.,and Jacobs, E.、食事の炎症指数と結腸直腸腺腫再発のリスク：プールされた分析。Nutrition and Cancer,2017,69 (2) :p. 238-47。
440. Sarris,J.,Gadsden,S.、およびSchweitzer,J.、自己申告によるうつ病と不安を治療するための自然療法医学：自然主義的実践の観察パイロット研究。統合医療の進歩,2014年 1 (2) :p. 87-92。
441. Sarris,J.,Goncalves,D.,Robins Wahlin,T.-B.、およびByrne,G.、中年および年配の女性による補完的な薬の使用：性格、気分および不安の要因。Journal of Health Psychology,2011年 16 (2) :p. 314-21。
442. Sarris,J.,Robins Wahlin,T.-B.,Goncalves,DC.、およびByrne,GJ.、中年のオーストラリア人女性による補完医学、同盟国の健康、および手技療法の比較使用。Journal of Women&Aging,2010年 22 (4) :p. 273-82。
443. 笹川 M.、Amieux,PS.、およびMartzen,MR.、健康格差および米国のジニ係数。Journal of Clinical Medicine and Therapeutics,2017年 2 (2) :p. 15-8。
444. 笹川正明,Martzen,MR,Kelleher,WJ.、およびWenner,CA、

- 補完代替医療と内部の健康管理の所在。探索：科学と癒しのジャーナル,2008年 4 (1) :p. 38-41。
445. Sauerbier,A.,Schrag,A.,Martinez-Martin,P.,Hall,LJ,Parry,M.,Mischley,LK,Zis,P.,and Chaudhuri,K.、多民族パーキンソン病の食事のパリエーションコホートを緩和し、運動以外の側面に及ぼす可能性のある影響：横断的多施設共同研究。パーキンソン病, 2018年, 2018年。
446. Schandelmaier,S.,Tomonaga,Y.,Bassler,D.,Meerpohl,JJ,von Elm,E.,You,JJ,Bluemle,A.,Lamontagne,F.,Saccilotto,R.,Amstutz,A.、およびブリティッシュコロンビア州ジョンストン、小児ランダム化比較試験の早期中止：後ろ向きコホート研究。Journal of Pediatrics,2017年 184 : p. 209-14。e1。
447. Schenk,KE,Gehrke,MM,Eldridge,GD,Sodhi,S.,Sivam,GP,Kestin,M.,OberG,EB,Johnson,JM,Kreuger,AC.、およびMcCrory,MA、アーユルヴェーダドーシャタイプの比較エネルギーバランス係数について。FASEB Journal、2006年 20 (5) :p. A1031。
448. Schloss,J.,McIntyre,E.,Rickwood,C.,Van de Venter,C.、およびHarnett,J.、オーストラリアで補完的な医療従事者がグルテンフリーの食事療法を推奨する条件の特定。統合医療の進歩, 2018年。印刷中。
449. Schmidt,RL,LoPresti,J.,McDermott,MT,Zick,SM.、およびStraseski,JA、逆トリヨードチロニン検査には臨床的有用性がありますか？国立参照研究所からのデータに基づく診療変動の分析。Thyroid,2018年。印刷中。
450. Schneider,MJ,Evans,R.,Haas,M.,Leach,M.,Hawk,C.,Long,C.,Cramer,GD,Walters,O.,Vihstadt,C.,and Terhorst,L.、米国のカイロプラクターの態度、スキル、およびエビデンスに基づく実践の使用：横断的な全国調査。カイロプラクティック&手動療法, 2015年 23 (1) :p. 16-16。
451. Schwartz,D.,Dikareva,A.,Goetz,J.,Edell,D.,De Wals,P.,Williams-Jones,B.,and Hutchinson,H.、業界は肥満で果たすべき役割を持っていますか予防：官民パートナーシップのためのパネルディスカッション。Canadian Journal of Diabetes,2015年 39 : p. S8。
452. Scott,J.,Zick,S.,Zucker,N.、およびHarris,R.、(211)痛みの空間分布の違いは、乳がん生存者の症状の増加に関連しています。Journal of Pain,2016年 17 (4) :p. S28-9。
453. Seeley,MA,Gagnier,JJ,Srinivasan,RC,Hensinger,RN,VanderHave,KL,Farley,FA.、およびCaird,MS、肥満とその小児上腕骨頭上骨折への影響。Journal of Bone and Joint Surgery,2014年 96 (3) :p. e18。
454. Seely,D.,Ennis,JK,McDonnell,E.,and Zhao,L.、Naturopathic oncology care for thoracic cancers : 実践調査。統合がん治療,2018年。印刷中 : p. 1-13。
455. Segal,L.,Guy,S.,Leach,M.,Groves,A.,Turnbull,C.、およびFurber,G.、苦しんでいる人々に三次レベルのコミュニティメンタルヘルスクエアを提供するためのニーズベースの労働力モデル南オーストラリア州の乳児、子供、および青年：混合研究。ランセットパブリックヘルス,2018年。
- 3 (6) :p. e296-e303。
456. Segal,L.,Leach,MJ,May,E.、およびTurnbull,C.、地域のプライマリケアチームがベストプラクティスの糖尿病ケアを提供します。糖尿病ケア, 2013年, 36 (7) :p. 1898-907。
457. Senders,A.,Borgatti,A.,Hanes,D.、およびShinto,L.、多発性硬化症における痛みと注意力の関連：横断的調査。International Journal of MS Care,2018年 20 (1) :p. 28-34。
458. Senders,A.,Bourdette,D.,Hanes,D.,Yadav,V.,and Shinto,L.、多発性硬化症における知覚されたストレス：健康と幸福におけるマインドフルネスの潜在的な役割。Journal of Evidence-Based Complementary & Alternative Medicine,2014年 19 (2) :p. 104-11。
459. Senders,A.,Hanes,D.,Bourdette,D.,Whitham,R.、およびShinto,L.、調査負担の軽減：多発性硬化症におけるPROMIS対策の実現可能性と妥当性。多発性硬化症ジャーナル,2014年 20 (8) :p. 1102-11。
460. Senders,A.,Sando,K.,Wahbeh,H.,Peterson Hiller,A.、およびShinto,L.、多発性硬化症の医療訪問における心理的ストレスの管理：患者の視点と満たされていないニーズ。Journal of Health Psychology,2016年 21 (8) :p. 1676-87。
461. Sengupta,A.,Broyles,I.,Brako,L.、およびRaskin,G.、インターネット中毒：医学部進学課程の学士課程後の学生の学業成績への影響。Medical Science Educator,2018,28 (1) :p. 23-6。
462. Sexton,M.,Cudaback,E.,Abdullah,RA,Finnell,J.,Mischley,LK,Rozga,M.,Lichtman,AH,and Stella,N.、多発性硬化症の個人による大麻の使用：影響特定の免疫パラメーター。炎症薬理学, 2014年 22 (5) :p. 295-303。
463. Sexton,M.,Cuttler,C.,Finnell,JS.、およびMischley,LK、医療大麻使用者の横断的調査：使用パターンと認識された有効性。大麻とカンナビノイド研究, 2016年 1 (1) :p. 131-8。
464. Sexton,M.,Cuttler,C.、およびMischley,LK、大麻の急性効果と離脱症状の調査：ユーザーの種類と年齢による反応の違い。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2018年。印刷中。
465. Shinto,L.,Calabrese,C.,Morris,C.,Sinsheimer,S.、およびBourdette,D.、多発性硬化症における補完代替医療：認可された自然療法医の調査。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2004,10 (5) : p. 891-7。
466. Shinto,L.,Yadav,V.,Morris,C.,Lapidus,J.,Senders,A.,and Bourdette,D.、従来の補完代替医療 (CAM)からの認識された利益と満足多発性硬化症の人。医学における補完療法, 2005年 13 (4) :p. 264-72。
467. Shinto,L.,Yadav,V.,Morris,C.,Lapidus,J.,Senders,A.,and Bourdette,D.、補完代替医療 (CAM)の使用に関連する人口統計学および健康関連の要因多発性硬化症で。多発性硬化症, 2006年 12 (1) :p. 94-100。
468. Shival,K.,Weissbluth,E.,Amira,A.,Brezis,M.,Faridi,Z.,Ali,A.、およびKatz,DL、プロモーションにおける文化、環境、および宗教の役割身体活動の

付録I：自然療法研究者によって公開された観察研究

- アラブ系イスラエル人の間で。慢性疾患の予防。2008年 5 (3) :p. A88。
469. Sibbritt,D.,Adams,J.,Lui,C.-W.,Broom,A.、およびWardle,J.、誰がグルコサミンを使用し、その理由は？45歳以上のオーストラリア人266,848人を対象とした調査。PloS One.2012年 7 (7) :p. e41540。
470. Sibbritt,D.,Kaye,M.,Millbank,J.,Stuhmcke,A.,Wardle,J.、およびKarpin,I.、オーストラリアでは補完的な医療専門職はどのように規制されていますか？国家登録および認定制度における補完的な医療専門職の調査。医学における補完療法.2018年 37 : p. 6-12。
471. Sibbritt,DW,Leach,M.,Chang,S.,Sundberg,T.,Cramer,H.,Lauche,R.,and Adams,J.、重度の倦怠感を持つ若いオーストラリア人女性の医療利用：結果女性の健康に関するオーストラリアの縦断的研究 (ALSWH)から。女性のためのヘルスケアインターナショナル,2017年。38 (9) :p. 983-95。
472. Silbert,LC,Dodge,HH,Perkins,LG,Sherbakov,L.,Lahna,D.,Erten- Lyons,D.,Woltjer,R.,Shinto,L.,and Kaye,JA、白質の軌跡軽度認知障害に先行する高信号負荷。Neurology.2012.79 (8) :p. 741-7。
473. Simpson,J.,Knee,C.,Rysdale,L.,Beyers,J.、およびKeller,H.、NutriSTEP®を使用して決定された栄養リスクは、オンタリオ州の未就学児のサンプルのBMIおよび人口統計学的特性に関連しています。Canadian Journal of Diabetes.2011年 35 (2) :p. 175。
474. Singh,D.,Suhas,AV,Naveen,KV、およびNagendra,HR、OM瞑想者と非瞑想者のマインドフルネスと不安の測定：横断的研究。医学と公衆衛生の国際ジャーナル,2014年 4 (1) :p. 110-4。
475. Snow,JE,Leach,MJ、およびClare,BA、米国西部の漢方薬提供者の間での態度、スキル、および証拠に基づく実践の使用：全国調査。Journal of Complementary and Integrative Medicine.2017.14 (1) :p. 1-12。
476. Somers,EC,Ganser,MA,Warren,JS,Basu,N.,Wang,L.,Zick,SM、およびPark,SK、米国の生殖年齢の女性における水銀曝露および抗核抗体：NHANES。環境衛生の展望。2015年 123 (8) :p. 792。
477. Srinivasa,B.,Bhanu,L.,Badarke,G.,Nasiruddin,M.,Sapkota,S.,Tousif,D.,Kulkarni,V.,Kiran,P.,Sarathy,V.,Deepika,G.、Ram,A.,Rao,R.,Patil,S.、およびNaik,R.、肺の転移性腺癌における化学療法で治療された患者の前向き分析-単一施設での経験。Journal of Cancer Therapy.2017年 8 (9) :p. 838。
478. Srinivasa,B.,Lalkota,BP,Badarke,G.,Hazarika,D.,Mohammad,N.,Sapkota,S.,Khanderia,M.,Tousif,D.,Rao,R.,and Ram,A.、化学療法2番目以上のラインとしてメシル酸エリブリンを投与されている転移性乳がん患者の前向き分析：およびインドの経験。臨床医学の洞察：腫瘍学。2018年 12 : p. 1-4。
479. Standish,L.,Greene,K.,Bain,S.,Reeves,C.,Sanders,F.,Wines,R.,Turet,P.,Kim,J.,and Calabrese,C.、代替医療HIV陽性の男性と女性での使用：人口統計、利用パターンおよび健康状態。エイズケア。2001年 13 (2) : p. 197-208。
480. Standish,LJ,Calabrese,C.、およびSnider,P.、自然療法医学研究アジェンダ：自然療法医学の未来と基盤。Journal of Alternative & Complementary Medicine.2006年 12 (3) :p. 341-5。
481. Standish,LJ,Dowd,F.,Sweet,E.,Dale,L.、およびAndersen,MR、補助的な統合腫瘍治療を選択した乳がんの女性は、異なる標準的な腫瘍治療を受けますか？統合がん治療,2018年。印刷中： p. 1-11。
482. Standish,LJ,Dowd,F.,Sweet,E.,Dale,L.,Weaver,M.,Osborne,B.、およびAndersen,MR、乳がん統合腫瘍治療とその費用。統合がん治療。2017年 16 (1) :p. 85-95。
483. Standish,LJ,Greene,K.,Greenlee,H.,Kim,JG,and Grosshans,C.、乳がんの補完代替医療：認可された北アメリカの自然療法医の調査。健康と医学における代替療法.2002年 8 (5) :p. 68-70; 72-5。
484. Standish,LJ,Sweet,E.,Naydis,E.、およびAndersen,MR、乳がんの「統合腫瘍学」が効果的であることを実証できますか？地域の診療所で提供される統合腫瘍学の有効性を評価するための方法論。統合的癌治療.2013年 12 (2) :p. 126-35。
485. Standish,LJ,Torkelson,C.,Hamill,FA,Yim,D.,Hill Force,A.,Fitzpatrick,A.,Olsen,M.,Schildt,S.,Sweet,E.,Wenner,CA、とマーツェン、MR、放射線療法後の乳がん患者の免疫欠陥。Journal of the Society for Integrative Oncology.2008年 6 (3) :p. 110-21。
486. Stark,J.,Campbell,K.,Cain,L.,Gilbert,K.,Lis,C.,Birdsall,T.,Grutsch,J.,Williams,S.、およびGupta,D.、痛みの影響進行がんの生活の質に対する患者の満足度：縦断的分析。Journal of Clinical Oncology、2008年 26 (15 Suppl) :p. 20702。
487. Steel,A.、伝統と科学のバランスを見つける：自然療法における学生、教育者、専門家のリーダーの視点。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2017年 29 (1) :p. 37-8。
488. Steel,A.and Adams,J.、伝統と科学の間のインターフェース：自然療法医の現代実践の視点。Journal of Alternative & Complementary Medicine.2011年 17 (10) :p. 967-72。
489. Steel,A.およびAdams,J.、臨床的意思決定へのアプローチ-自然療法医の定性的研究。臨床診療における補完療法.2011年 17 (2) :p. 81-4。
490. Steel,A.およびAdams,J.、臨床診療における情報源の応用と価値：自然療法医の視点の検討。Health Information & Libraries Journal.2011年 28 (2) :p. 110-8。
491. Steel,A.,Adams,J.,Frawley,J.,Broom,A.、およびSibbritt,D.、自宅、出産センター、または病院の分娩病棟で出産する女性の特徴：研究1835年の妊婦の全国的な代表的なサンプルの。性的および生殖的ヘルスケア。2015年 6 (3) :p. 132-7。
492. Steel,A.,Adams,J.、およびSibbritt,D.、 The Features of

- 妊娠を試みながら補完医学を使用する女性：13,224人のオーストラリア人女性の全国代表サンプルからの結果。女性の健康問題 2017年, 27 (1) :p. 67-74。
493. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Frawley,J.、およびGallois,C.、補完代替医療の使用と有害な出産の発生率との関係：検査1835年のオーストラリア人女性の全国的に代表的な サンプルの。助産 2014年, 30 (12) :p. 1157-65。
494. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Frawley,J.、およびGallois,C.、妊娠中の補完的および変更された在来薬の使用が陣痛管理の選択に及ぼす影響：1835年の女性の全国的に代表的なサンプルからの結果。 Journal of Alternative & Complementary Medicine,2014年, 20 (2) :p. 87-97。
495. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Gallois,C.,and Frawley,J.、産科医療提供における補完的および代替医療 (CAM)開業医の利用：結果1,835人の妊婦を対象とした全国的に代表的なコホート研究から。 BMCの妊娠と出産,2012年, 12 (1) :p. 146,1-8。
496. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Gallois,C.、およびFrawley,J.、妊娠関連の健康状態について補完代替医療従事者と相談する女性の決定要因。 Women & Health,2014年, 54 (2) :p. 127-44。
497. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,Gallois,C.、およびFrawley,J.、陣痛の管理：陣痛管理の使用に関連する要因妊娠中のオーストラリア人女性。健康への期待, 2015年, 18 (5) : p. 1633-44。
498. Steel,A.,Cramer,H.,Leung,B.,Lauche,R.,Adams,J.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、ドイツの内科患者における在宅障害ユーザーの特徴。補完医学研究,2016年, 23 (5) :p. 284-9。
499. Steel,A.,Diezel,H.,Johnstone,K.,Sibbritt,D.,Adams,J.、およびAdair,R.、学生のドゥーラによって提供されるケアの価値：彼らのケア。周産期教育ジャーナル,2013年, 22 (1) :p. 39。
500. Steel,A.,Diezel,H.,Wardle,J.、およびJohnstone,K.、産科医療サービスを提供する補完的および従来の開業医間の専門家間のコミュニケーションのパターン：CAM開業医の認識の予備調査オーストラリアンジャーナルオブハーバルメディスン,2013年, 25 (2) :p. 57。
501. Steel,A.,Frawley,J.,Sibbritt,D.、およびAdams,J.、ドゥーラケアにアクセスするオーストラリア人女性の予備的プロフィール：女性の健康に関するオーストラリア縦断研究の結果。オーストラリアとニュージーランドの産婦人科ジャーナル,2013年, 53 (6) :p. 589-92。
502. Steel,A.,Frawley,J.,Sibbritt,D.,Broom,A.,and Adams,J.、分娩時の疼痛管理に催眠療法を使用する女性の特徴：オーストラリアの全国的に代表的なサンプルからの予備的洞察女性。医学における補完療法,2016年, 25 : p. 67-70。
503. Steel,A.,Hall,H.,Diezel,H.,Wardle,J.,and Adams,J.、現代の産科ケアのギャップを埋める：妊娠中に女性にケアを提供する補完的な医療従事者の認識。臨床診療における補完療法,2018年。34 : p. 174-8。
504. Steel,A.,Hemmings,B.,Sibbritt,D.、およびAdams,J.、補完医療高等教育機関の研究課題：組織風土調査の結果。European Journal of Integrative Medicine,2015年, 7 (5) : p. 442-9。
505. Steel,A.,Jackson,N.,Blaich,R.,Kirk,M.、およびWardle,J.、オーストラリアのオステオパシー専門職の実行可能性に対する労働力分布の影響：登録された全国調査の結果オステオパシー。カイロプラクティック&手動療法,2018年, 26 (1) :p. 34。
506. Steel,A.,Leach,M.,Wardle,J.,Sibbritt,D.,Schloss,J.,Diezel,H.,and Adams,J.、オーストラリアの補完医療労働力：オーストラリアの補完医療労働力：1,306人の開業医のプロフィールPRAC研究。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2018年。印刷中。
507. Steel,A.,McIntyre,E.,Harnett,J.,Foley,H.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Wardle,J.,and Frawley,J.、オーストラリアでの補完的な薬の使用人口：全国的に代表的な横断調査の結果。Scientific Reports,2018年, 8 (1) :p. 17325,1-7。
508. Steel,A.,Peng,W.,Gray,A.、およびAdams,J.、自然病理学教育における伝統的および科学的知識の役割と影響：定性的研究。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2018年。印刷中。
509. Steel,A.,Peng,W.,Gray,A.、およびAdams,J.、自然療法教育における伝統的および科学的知識の役割と影響：定性的研究。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2019。25 (2) :p. 196-201。
510. Steel,A.,Sibbritt,D.,Schloss,J.,Wardle,J.,Leach,M.,Diezel,H.,and Adams,J.、Practitioner Research and Collaboration Initiative (PRACI) :補完医学のための実践ベースの研究ネットワーク。BMC補完代替医療,2017年, 17 (1) :p. 87。
511. Steel,A.,Tricou,C.,Monsarrat,T.,Ruer,M.,Deslandes,C.,Sisoix,C.,and Filbet,M.、がん患者におけるオステオパシー治療の認識と経験緩和ケア：定性的研究。がんの支持療法, 2018年。印刷中 : p. 1-7。
512. Steel,A.,Wardle,J.,Diezel,H.,Johnstone,K.、およびAdams,J.、コラボレーションのための教育：補完的および代替的な産科医療提供者のための専門職間教育ワークショップの成果。統合医療の進歩,2014年, 1 (1) :p. 17-24。
513. Steel,A.,Wardle,J.,Frawley,J.,Adams,J.,Sibbritt,D.,and Lauche,R.、補完的な薬の利用と避妊法の使用との関連：全国横断の結果-断面調査。臨床診療における補完療法,2018年, 33 : p. 100-6。

514. Strizich,G.,Gammon,MD,Jacobson,JS,Wall,M.,Abrahamson, P.,Bradshaw,PT,Terry,MB,Teitelbaum,S.,Neugut,Al,and Greenlee,H., Latentクラス分析は、乳がんの女性の間で補完的な医療ユーザーの4つの異なるクラスを示唆しています。BMC補完代替医療,2015年,15(1):p. 411。
515. Sullivan,M.,Leach,M.,Snow,J.,およびMoonaz,S.,北米のヨガセラピストの態度、スキル、および証拠に基づく実践の使用を理解する：国際的な調査。医学における補完療法,2017年,32:p. 11-8。
516. Sullivan,M.,Leach,M.,Snow,J.,およびMoonaz,S.,北米のヨガ療法労働力調査。医学における補完療法,2017年,31:p. 39-48。
517. Sundberg,T.,Cramer,H.,Sibbritt,D.,Adams,J.,およびLauche,R., マッサージ施術者の利用率、パターン、および予測因子：米国の全国的な代表的な調査の結果。筋骨格の科学と実践,2017年,32:p. 31-7。
518. Sundberg,T.,Leach,MJ,Thomson,OP,Austin,P.,Fryer,G.,およびAdams,J.,英国のオステオパシーにおける態度、スキル、および証拠に基づく実践の使用：全国横断調査。BMC筋骨格障害,2018年,19(1):p. 439。
519. Sutherland,J.,Leach,M.,およびSteel,A.,補完代替医療の専門家が臨床診療におけるエビデンスにどのように関係し、解釈するかを理解する。Austrian Journal of Herbal Medicine,2017年,29(1):p. 23-5。
520. Sweet,E.,Dowd,F.,Zhou,M.,Standish,LJ,and Andersen,MR,乳がん化学療法中に懸念される可能性のある補完的および代替的なサプリメントの使用。証拠に基づく補完代替医療,2016年,2016年:p. 4382687。
521. テイラー,JA, ウェーバー, WJ, マーティン, ET, マッカーティ, RL, およびエングルンド,JA, 文書化されたウイルス性上気道感染症の子供を特定するための臨床研究のための症状スコアの開発。小児科研究,2010年,68(3):p. 252-7。
522. テイラー,SL, ハーマン, PM, マーシャル, ニュージャージー, セク, Q., ユアン,A., チュー, K., シャオ, Y., 盛岡, C., およびローレンツ, KA, 補完的で統合された健康の使用：全国的に慢性筋骨格痛を患っている米国の退役軍人の遡及的分析。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2019,25(1):p. 32-9。
523. Terhorst,L.,Leach,M.,Bussi eres,A.,Evans,R., およびSchneider,MJ, エビデンスに基づく実践態度および利用調査の心理測定特性の評価。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2016年,22(4):p. 328-35。
524. Thakor,V.,Leach,MJ,Gillham,D., およびEsterman,A., セントジョンズワートを販売するWebサイトの情報の質。医学における補完療法,2011年,19(3):p. 155-60。
525. Thorburn,S.,Faith,J.,Keon,KL, およびTippens,KM, 米国成人の代表的なサンプルにおける医療およびCAM使用における差別。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2013,19(6):p. 577-81。
526. Tibor,LM,Bedi,A.,Oltean,HN,Gagnier,JJ, およびKelly,BT, 関節内股関節損傷のある高レベルのレクリエーションアスリートの人口統計はスポーツ特有の分析です。スポーツ医学の整形外科ジャーナル,2013年,1(4 Suppl):p. 1-2。
527. Tippens,K.,Fleishman,S.,Russell,A., およびZwickey,H., 調査を実施しているCAM実践者：労働力トレーニングに情報を提供する ための調査とインタビューからの予備調査結果。探索:The Journal of Science and Healing,2013年,9(5):p. 324-5。
528. Tippens,K.,Szybala,C.,Elmer,P., およびSaha,S.,P04. 15 従来型および自然療法的糖尿病治療における医療提供者のコミュニケーション、自己管理、および代替医療に関する患者の視点。BMC補完代替医療,2012年,12(1):p. P285。
529. Tippens,KM,Chao,MT,Connelly,E., およびLocke,A., 地域の職業クリニックで受けたケアに関する患者の視点：定性的な主題分析。BMC補完代替医療,2013年,13(1):p. 293。
530. Tiralongo,E.,Braun,LA,Wilkinson,JM, Spizer, O.,Bailey,M., Poole,S., およびDooley,M. さまざまな練習設定と背景知識に焦点を当てます。Journal of Complementary and Integrative Medicine,2010年,7(1):p. 37。
531. Tricco,AC,Cogo,E.,Page,MJ,Polisena,J.,Booth,A.,Dwan,K., MacDonald,H.,Clifford,TJ,Stewart,LA,and Straus,SE, A3 番目システムティックレビューの数が変更されたか、主要な結果を特定しなかった：PROSPERO登録研究。Journal of Clinical Epidemiology,2016年,79:p. 46-54。
532. Tsui,T.,Boon,H.,Boecker,A.,Kachan,N.,and Krahn,M., 変形性関節症の自然健康製品の消費者評価における科学的証拠の役割の理解 手段エンドチェーンの適用アプローチ。BMC補完代替医療,2012年,12(1):p. 198。
533. Ung,COL,Harnett,J., およびHu,H., 補完的な医薬品に向けた薬局業務の障壁と解決策に関する主要な利害関係者の視点：オーストラリアの経験。BMC補完代替医療,2017年,17(1):p. 394。
534. Ung,COL,Harnett,J., およびHu,H., 補完的な医薬品を専門の薬局業務に統合するための戦略的モデルの開発。社会および行政薬局の研究,2018年,14(7):p. 663-72。
535. Valdovinos,C.,Penedo,FJ,Isasi,CR,Jung,M.,Kaplan,RC, Giacinto,RE,Gonzalez,P.,Malcarne,VL,Perreira,K.,Salgado,H.,and Greenlee, H., 私たちのヒスパニックにおける認識された差別と癌スクリーニング行動：ヒスパニックコミュニティ健康研究/ラテン系社会文化補助研究の研究。Cancer Causes & Control,2016,27(1):p. 27-37。
536. van Dixhoorn,J.,Courtney,R., およびAnthonissen,E., 機能不全の呼吸の治療：MARMとナイメーヘン質問票の比較。生物学的心理学,2010年,85(3):p. 516-7。

537. Varambally,S.,Naveen,G.,Rao,M.,Thirthalli,J.,Sharma,R., Christopher,R.、およびGangadhar,B.、非自殺的アウトにおける低血清脳由来神経栄養因子-うつ病の患者：うつ病スコアとの関係。 Indian Journal of Psychiatry、2013、55 (Suppl 3) :p. S397。
538. Veldore,V.,Rao,M.,Prabhudesai,S.,Tejaswi,R.,Kakara,S., Pattanayak,S.,Krishnamoorthy,N.,Tejaswini,B.,Hazarika,D., and Gangoli, A.、転移性結腸直腸癌におけるKRAS変異の有病率：レトロインドからの前向き観察研究。 Indian Journal of Cancer、2014年 51 (4) :p. 531。
539. Veldore,VH,Patil,S.,Prabhudesai,S.,Satheesh,C.,Shashidhara,H., Krishnamoorthy,N.,Hazarika,D.,Tejaswi,R.,Prabhudev,A.,Naik,R., Rao,RM,およびAjai Kumar,B.、細胞診を使用したNSCLC患者の標的療法管理：三次医療がんセンターでの経験。分子診断と治療、2016年 20 (2) :p. 119-23。
540. Veldore,VH,Patil,S.,Satheesh,C.,Shashidhara,H.,Tejaswi,R., Prabhudesai,SA,Krishnamoorthy,N.,Hazarika,D.,Naik,R.,and Rao,RM,非小細胞肺癌の均一な分子サブタイプにおけるゲノムプロファイリング：新薬の標的を探索するための努力。 Indian Journal of Cancer、2015年 52 (2) :p. 243。
541. Vempati,R.,Dunn,J.,Cottingham,P.,Sibbritt,D.、およびAdams,J., P04。 81.自然の健康状態のマッピング：ニュージーランドを拠点とするCAM 専門家の調査。 BMC補完代替医療、2012年 12 (S1) :p. P351。
542. Veziri,Y.,Kumar,S.、およびLeach,M.、補完代替医療における研究の実施と適用に対する障壁を測定するための調査機器の開発：デルファイ研究。 BMC補完代替医療、2018年 18 (1) :p. 335。
543. Vinchurkar,SA,Singh,D.、およびVisweswarai,NK、瞑想者と非瞑想者のマインドフルネスの自己報告測定：横断研究。 International Journal of Yoga、2014年 7 (2) :p. 142-6。
544. Vohra,S.,Feldman,K.,Johnston,B.,Waters,K.、およびBoon,H.、補完代替医療の学術医療センターへの統合：北米の9つの主要センターの経験と認識。 BMC Health Services Research、2005年 5 (1) :p. 78。
545. Walji,R.,Boon,H.,Barnes,J.,Austin,Z.,Baker,GR,およびWelsh,S.、薬草の有害事象報告：市場の力の結果。ヘルスケアポリシー、2009年 4 (4) :p. 77。
546. Walji,R.,Boon,H.,Barnes,J.,Austin,Z.,Welsh,S.,and Baker,GR、自然健康製品の消費者：自然生まれのファーマコビジランテ？ BMC補完代替医療 2010年 10 (1) :p. 8.8。
547. Walji,R.,Boon,H.,Barnes,J.,Welsh,S.,Austin,Z.、およびBaker,GR、自然健康製品に関連する副作用の報告：薬剤師の責任ですか？ International Journal of Pharmacy Practice、2011年 19 (6) :p. 383-91。
548. Walji,R.,Weeks,L.,Cooley,K.、およびSeely,D.、自然療法医学とアポリジニの健康：AnishnawbeHealthTorontoでの探索的研究。 Canadian Journal of Public Health = Revue Canadienne de Sante'e Publique、2010年 101 (6) :p. 475-80。
549. Walji,R.およびWiktorowicz,M.、自然健康製品規制のガバナンス：反復プロセス。健康政策、2013年 111 (1) :p. 86-94。
550. Wallace,B.,Breau,RH,Cnossen,S.,Knee,C.,Mclsaac,D.,Mallick,R.、Cagiannos,I.,Morash,C.、およびLavallee,LT、年齢層別術後泌尿器科手術後の死亡率。 Canadian Urological Association Journal、2018年 12 (8)。
551. Wang,W.,Shinto,L.,Connor,WE,およびQuinn,JF、アルツハイマー病の栄養バイオマーカー：関連。 カロテノイド、n-3脂肪酸、および認知症の重症度の間。 Journal of Alzheimer's Disease、2008、13 (1) :p. 31-80。
552. Wardle,J.,Adams,J.,Magalhães,RJS,およびSibbritt,D.、オーストラリアのニューサウスウェールズ州の農村における補完代替医療 (CAM) プロバイダーの分布：農村部の健康における高いCAM使用を説明するためのステップ？ Australian Journal of Rural Health、2011年 19 (4) :p. 197-204。
553. Wardle,J.,Adams,J.、およびSibbritt,D.、地方のプライマリヘルスケアにおけるヨガ療法士への紹介：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の地方および地域の一般開業医の調査。 International Journal of Yoga、2014年 7 (1) :p. 9.9。
554. Wardle,J.,Frawley,J.,Adams,J.,Sibbritt,D.,Steel,A.、およびLauche,R.、補完的な医療利用とインフルエンザ/肺炎球菌ワクチン接種との関連：全国横断の結果-9151オーストラリア人女性の横断調査。 予防医学、2017年 105 :p. 184-9。
555. Wardle,J.,Steel,A.、およびAdams,J.、オーストラリアの自然療法教育および訓練における緊張とリスクのレビュー：規制の必要性。 Journal of Alternative & Complementary Medicine、2012年 18 (4) :p. 363-70。
556. Wardle,J.,Steel,A.,Lauche,R.、およびAdams,J.、Colは医学と協力していますか？従来の医療システムへの統合に関するオーストラリアの自然療法の認識。 Journal of Interprofessional Care、2017年 31 (6) :p. 734-43。
557. Wardle,JL,Adams,J.、およびLui,C.-W.、農村部での自然療法の定性的研究：農村部の患者の自然療法の経験と認識および彼らのサービスに対する要求に焦点を当てています。 BMC Health Services Research、2010年 10 (1) :p. 185。
558. Wardle,JL,Adams,J.,Lui,C.-W.、およびSteel,AE、オーストラリアにおける自然療法医学の現在の課題と将来の方向性：草の根の実践からの認識と経験の定性的調査。 BMC補完代替医療、2013年 13 (1) :p. 15。
559. Wardle,JL,Adams,J.、およびSibbritt,DW、オーストラリアの一般診療における鍼治療：1995年から2011年までの償還された鍼治療サービスの傾向。 医学における鍼治療、2013年 31 :p. 45-50。
560. Wardle,JL,Barnett,R.、およびAdams,J.、オーストラリアのマッサージ療法の実践と研究：全国労働力調査。 International Journal of Therapeutic Massage & Bodywork、2015、8 (2) :p. 2.2。

付録I：自然療法研究者によって公開された観察研究

561. Wardle, JL および Chang, S.、オーストラリアの食品部門におけるクロスプロモーションアルコール制限：過度のアルコール消費を抑制するイニシアチブへの障壁？オーストラリアとニュージーランドの公衆衛生ジャーナル、2015年 39（2）：p. 124-8。
562. Wardle, JL および Sarris, J.、補完医学における臨床教育リソースに対する学生の態度：オーストラリアの自然療法医学の学生のフォーカスグループ試験。Health Information & Libraries Journal, 2014年 31（2）：p. 123-32。
563. Wardle, JL, Sibbritt, D.、および Adams, J.、地方のプライマリヘルスケアにおける鍼灸紹介：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の地方および地域の一般開業医の調査。医学における鍼灸治療、2013年 31：p. 375-82。
564. Wardle, JL, Sibbritt, DW, および Adams, J.、オーストラリアのプライマリケアにおける漢方医への紹介：ニューサウスウェールズ州の地方および地域の一般開業医の調査。漢方薬、2013年 8（1）：p. 8.8。
565. Wardle, JL, Sibbritt, DW, および Adams, J.、プライマリヘルスケアにおけるマッサージ療法への紹介：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の地方および地域の医療一般開業医の調査。Journal of Manipulative and Physiological Therapeutics, 2013, 36（9）：p. 595-603。
566. Wardle, JL, Sibbritt, DW, および Adams, J.、カイロプラクターおよび整骨医への紹介：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の農村部および地域の一般開業医の調査。カイロプラクティックと手動療法、2013年 21（1）：p. 5.5。
567. Wardle, JL, Sibbritt, DW, および Adams, J.、地方のプライマリヘルスケアにおける自然療法とのインターフェース：オーストラリアのニューサウスウェールズ州の地方および地域の一般開業医の紹介慣行の調査。BMC補完代替医療、2014年 14（1）：p. 238。
568. Wardle, JL, Sibbritt, DW, および Adams, J.、プライマリケア開業医の補完的医療の認識と態度：非首都圏のオーストラリアの一般開業医の調査からのフリーテキスト応答の内容分析。Primary Health Care Research & Development, 2018年。印刷中：p. 1-10。
569. Watson, CJ, Fairley, CK, Grando, D., Garland, SM, Myers, SP, および Pirodda, M.、過去の産カンジダ症を報告している女性におけるカンジダとの無症候性コロニー形成との関連：観察研究。European Journal of Obstetrics, Gynecology, and Reproductive Biology、2013, 169（2）：p. 376-9。
570. Watson, CJ, Pirodda, M.、および Myers, SP、再発性外陰腫カンジダ症における補完代替医療の使用-開業医調査の結果。医学における補完療法、2012年。20（4）：p. 218-21。
571. Watson, S, Allen, B., Robbins, C., Bedi, A., Gagnier, JJ, および Miller, B.、回旋腱板断裂パターンは、外科的修復後の臨床転帰に影響を与えますか？スポーツ医学の整形外科ジャーナル、2018年 6（3）：p. 2325967118763107。
572. Watson, ST, Robbins, CB, Bedi, A., Carpenter, JE, Gagnier, JJ, および Miller, BS、上腕二頭筋手術を併用した場合と併用しない場合の回旋腱板修復から1年後の転帰の比較。Arthroscopy :The Journal of Arthroscopic & Related Surgery, 2017, 33（11）：p. 1928-36。
573. Weber, W. および McCarty, RL、小児研究における自然療法医の関心。Journal of Alternative & Complementary Medicine, 2008年 14（4）：p. 445-8。
574. Weber, W., Taylor, JA, McCarty, RL, および Johnson-Grass, A.、自然療法医療における小児および青年期の訪問の頻度と特徴。Pediatrics, 2007年。120（1）：p. e142-6。
575. Weeks, L., Seely, D., Balneaves, L., Boon, H., Leis, A., Oneschuk, D., Sagar, S., and Verhoef, M.、カナダの統合腫瘍学研究の優先事項：結果コンセンサス構築プロセスの現在の腫瘍学、2013年 20（4）：p. e289。
576. Weeks, L., Seely, D., DeGrasse, C., Verma, S., Boon, H., Verhoef, M., and Stacey, D.、統合腫瘍学プログラムの運用モデルの開発：定性的質的実現可能性調査。がんの支持療法、2014年 22（3）：p. 731-9。
577. Welton, KL, Gagnier, JJ, および Urquhart, AG、整形外科の全関節形成術クリニックに来院する肥満患者のプロファイル。整形外科、2016年 39（1）：p. e127-33。
578. Welton, KL, Gomberawalla, MM, Gagnier, JJ, Fischgrund, JS, Graziano, GP, および Patel, RD、整形外科脊椎外科医に対する償還の患者の印象。脊椎ジャーナル、2015年 15（11）：p. 2404-9。
579. Wiese, M., Jolley, G., Baum, F., Freeman, T.、および Kidd, M.、オーストラリアのプライマリヘルスケアシステム：改善された調整の必要性和メディアケアローカルへの影響。オーストラリアの家庭医、2011年 40（12）：p. 995。
580. Wiese, M. および Oster, C.、「受け入れられるようになる」：主流の医療部門による伝統的な医学療法の取り込みと実践に対する補完代替医療従事者の反応。健康、2010年 14（4）：p. 415-33。
581. Willey, JZ, Moon, YP, Sacco, RL, Greenlee, H., Diaz, KM, Wright, CB, Elkind, MS, および Cheung, YK、運動不足は最も古い老人の脳卒中の強力な危険因子です。多民族集団からの所見（北マンハッタン研究）。International Journal of Stroke, 2017年 12（2）：p. 197-200。
582. Witherspoon, L., Lau, JL, Breau, RH, Knee, C., Fung, MFK, Morash, R., Mallick, R., Cagiannos, I., Morash, C., and Lavallee, LT、Reducing オンタリオ州東部における根治的前立腺切除術による前立腺癌の過剰治療：人口ベースのコホート研究。CMAJ オープン、2018年 6（2）：p. E197-201。
583. Witt, CM, Balneaves, LG, Cardoso, MJ, Cohen, L., Greenlee, H., Johnstone, P., Küçük, Ö., Mailman, J.、および Mao, JJ、統合の包括的な定義腫瘍学。Journal of the National Cancer Institute Monographs, 2017（52）：p. 3-8。
584. Wong, W., Camfield, DA, Woods, W., Sarris, J.、および Pipingas, A.、目を開いた状態でのマインドフルネス瞑想中のスペクトルパワーと機能的接続性の変化：長期的な脳磁図（MEG）研究メタデータ。International Journal of Psychophysiology, 2015年 98（1）：p. 95-111。
585. Wu, AH, Koelling, TM, Matthews, JC, Zick, SM、

- およびアロンソン、KD、酸化ストレスおよび炎症のマーカーと心不全の肥満度指数との関係。
ジャーナルオブアメリカンカレッジオブカーディオロジー、2007年、49 (9 Suppl) :p. 94A。
586. Wu,C.,Weber,W.,Kozak,L.,Standish,LJ,Ojemann,JG,Ellenbogen, RG,and Avellino,AM、ワシントン州の脳神経外科医における補完代替医療 (CAM)意識の調査。Journal of Alternative &Complementary Medicine、2009年 15 (5) :p. 551-5。
587. Yadav,V.,Shinto,L.,Morris,C.,Senders,A.,Bal dauf-Wagner,S., and Bourdette,D.、多発性硬化症における補完代替医療の使用と自己申告による利点忍耐。MS Careの国際ジャーナル、2006年 8 (1) : p. 5-10。
588. Yarnell,E.,Espinosa,G.、およびMcClure,MW、円卓会議：男性の健康に焦点を当てる。代替療法と補完療法、2010年 16 (2) :p. 77-82。
589. Zekri,J.,Ahmad,I.,Fawzy,E.,Elkhdary,TR,Al-Gahmi,A.,Hassouna, A.,El Sayed,ME,Ur,RJ,Karim,SM、およびBin,SB、リンパ節は、ステージIIおよびIIIの結腸直腸癌患者の無再発生存期間および全生存期間を予測する可能性があります。Hepato-Gastroenterology、2015年。62 (138) :p. 291-4。
590. Zekri, JM,Ibrahim,E.,Sadiq,BB,Al-Gahmi,AM,Zeeneldin,AA、Elkhdary,TR,Gaballa,HE,Fawzy,EE,Elsayed,ME、およびBahadur,Y.、一致したグループトリプルネガティブvs.HER-2陽性 (ホルモン状態に関係なく)乳がんの研究：リスクの高い特徴と転帰の悪い2つのサブタイプ。Ecanccermedicalscience、2010年 4 :p. 167。
591. Zekri, JM,Karim,SM,Bassi,S.,Bin Sadiq,BM,Fawzy,EE、およびNauf,YI、最新の悪いニュース：中東の癌患者とその親族の視点の比較。Journal of Clinical Oncology、2013年 31 (15 Suppl) :p. 9568。
592. Zhang,Y.,Dennis,JA,Leach,MJ,Bishop,FL,Cramer,H.,Chung,VC、Moore,C.,Lauche,R.,Cook,R.,and Sibbritt,D., Complementary 頭痛または片頭痛のある米国の成人における代替医療の使用：2012 年の全国健康インタビュー調査の結果。頭痛：頭と顔の痛みのジャーナル、2017年 57 (8) :p. 1228-42。
593. Zhang,Y.,Leach,MJ,Bishop,FL、およびLeung,B.、鍼治療および非鍼治療を好む消費者の特徴の比較：NHIS2012データの二次分析。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2016年 22 (4) :p. 315-22。
594. Zhang,Y.,Leach,MJ,Hall,H.,Sundberg,T.,Ward,L.,Sibbritt,D.、and Adams,J.、補完代替医療の男性と女性の消費者の違い米国全国人口：2012年のNIHSデータの二次分析。証拠に基づく補完代替医療、2015年。2015年：p. 1-10。
595. Zhou,L.,Natarajan,M.,Miller,BS、およびGagnier,JJ、ローテーターの治療後の患者におけるVR-12およびSANEスコアの最小限の重要な差異の確立
胸口の涙。スポーツ医学の整形外科ジャーナル、2018年 6 (7) :p. 1-8。
596. Zick,S.、およびAaronson,K.、うっ血性心不全の個人におけるCAMの使用。代替療法と補完療法に焦点を当てる、2003年 8 (4) :p. 557-8。
597. Zick,S.、およびAl-Rawi,S.、妊婦における補完療法利用の有病率とパターン。自然療法医学の国際ジャーナル、2005年。
夏。
598. Zick,SM、身体機能の制限は、補完代替医療プロバイダーの使用を予測しますか？補完的健康実践レビュー、2001年 7 (1) :p. 65-6。
599. Zick,SM、身体的機能の制限と補完代替医療提供者の訪問との関連。証拠に基づく統合医療、2004年 1 (3) :p. 203-8。
600. Zick,SM,Blume,A.、およびAaronson,KD、慢性心不全の個人における補完代替サプリメント使用の普及とパターン。Journal of Cardiac Failure、2005年 11 (8) :p. 586-9。
601. Zick,SM,Czuhajewski,C.,Fouladbakhsh, JM,Greenlee,H.,Harris, RE, Henry, NL, Jolly, S., Khahir, T., Perlmutter, J., Remington, T., Snyder, D., Spratke, L., Zebrack, B., Zettell, E.、およびBenn, R.、統合腫瘍学者プログラム：統合腫瘍教育のモデル。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2018、24 (9-10) :p. 1018-22。
602. Zick,SM,Schwabl,H.,Flower,A.,Chakraborty,B.、およびHirschhorn,K.、ハーブシステム全体の研究のユニークな側面。探索：The Journal of Science and Healing、2009年 5 (2) :p. 97-103。
603. Zick,SM,Sen,A.,Feng,Y.,Green,J.,Olatunde,S.、およびBoon,H.、乳がんの女性におけるその効果を確認するためのEssiacの試験 (TEA-BC)。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2006、12 (10) :p. 971-80。
604. Zick,SM,Sen,A.,Han-Markey,TL、およびHarris,RE、食事療法と持続的な癌関連疲労との関連の検査：パイロット研究。腫瘍看護フォーラム、2013年 40 (1) :p. E41-9。
605. Zick,SM,Zwickey,H.,Wood,L.,Foerster,B.,Khahir,T.,Wright,B.,Ichesco,E.,Sen,A.,and Harris,RE、末梢の予備的差異倦怠感のある乳がん生存者と倦怠感のない乳がん生存者の間の免疫マーカーと脳代謝物：パイロット研究。脳のイメージングと行動、2014年 8 (4) : p. 506-16。
606. Zugaib,M.、およびGagnier,JJ、関節唇障害患者の健康関連の生活の質の予測因子としての機能的併存疾患指数のモデル化。BMJ Open Sport & Exercise Medicine、2017年 2 (1) :p. 167。
607. Zugaib,M.,Robbins,CB,Miller,BS、およびGagnier,JJ、関節唇病変のある患者の転帰：コホート研究。BMJ Open Sport & Exercise Medicine、2017年 2 (1) :p. e000209。
608. Zwarenstein,M.,Treweek,S.,Gagnier,JJ,Altman,DG,Tunis,S.、Haynes,B.,Oxman,AD,and Moher,D.、実用的な試験の報告の改善：CONSORTステートメント。BMJ、2008年 337 : p. a2390。

付録II：系統的レビューと自然療法によって公開されたメタアナリシス研究者

1. Abascal,K.,Ganora,L.、およびYarnell,E.、凍結乾燥の影響とその植物医学への影響：レビュー。Phytotherapy Research,2005年 19 (8) :p. 655-60。
2. Abascal,K. およびYarnell,E.、ウチワサボテンの高級薬用食品のレビュー。代替療法と補完療法,2000年 6 (5) :p. 265-71。
3. Abascal,K. およびYarnell,E.、ハーブおよび乳がん：海藻、ローズマリー、および高麗人参の研究レビュー。代替療法および補完療法,2001年 7 (1) :p. 32-6。
4. Abascal,K. およびYarnell,E.、癌の免疫化学療法剤としての七面鳥の尾の糖類。代替療法と補完療法,2007年 13 (4) :p. 178-82。
5. Abascal,K. およびYarnell,E.、Kudzu-奇跡のつる。代替療法と補完療法,2007年 13 (2) :p. 78-85。
6. Abascal,K. およびYarnell,E.、脳のためのパコパ：西洋医学への賢い追加。代替療法と補完療法,2011年 17 (1) :p. 21-5。
7. Abascal,K. and Yarnell,E.、Cilantro-食用ハーブまたは奇跡の薬用植物？代替療法と補完療法,2012年 18 (5) :p. 259-64。
8. Abascal,K. およびYarnell,E.、骨粗鬆症を予防するための必須脂肪酸。代替療法と補完療法,2014年 20 (2) :p. 91-5。
9. Adams,J.,Lui,CW,Sibbritt,D.,Broom,A.,Wardle,J.、およびHomer,C.、補完代替医療に関する産科医療専門家の態度と紹介慣行：統合的レビュー。Journal of Advanced Nursing,2011年 67 (3) :p. 472-83。
10. Adams,J.,Lui,CW,Sibbritt,D.,Broom,A.,Wardle,J.,Homer,C.、およびBeck,S.、妊娠中の女性による補完代替医療の使用：批評的レビュー文学の誕生。2009年 36 (3) :p. 237-45。
11. Agarwal,A.,Johnston,BC,Vernooij,RW,Carrasco-Labra,A.,Brignardello-Petersen,R.,Neumann,I.,Akl,EA,Sun,X.,Briel,M.、およびBusse,JW.、著者は、系統的レビューの要約で最も患者にとって重要な結果と絶対的な効果の測定値を報告することはめったにありません。Journal of Clinical Epidemiology,2017年 81 :p. 3-12。
12. Agnew,T.,Furber,G.,Leach,M.、およびSegal,L.、包括的な批評と、公表されているにきびの重症度の測定値のレビュー。Journal of Clinical and Aesthetic Dermatology,2016年 9 (7) :p. 40。
13. Agu,JC,Hee-Jeon,Y.,Steel,A.、およびAdams,J.、少数民族集団における伝統的、補完的、代替医療の使用に関する体系的なレビュー：有病率、推進要因、統合的使用に焦点を当て、健康成果、情報源の紹介と使用。Journal of Immigrant and Minority Health,2018。印刷中：p. 1-20。
14. Akl,EA,Briel,M.,You,JJ,Sun,X.,Johnston,BC,Busse,JW,Mulla,S.,Lamontagne,F.,Bassler,D.,and Vera,C., Potential ランダム化比較試験 (LOST-IT) のフォローアップで失われた情報の推定治療効果への影響：系統的レビュー。BMJ,2012年 344 :p. e2809。
15. Akl,EA,Carrasco-Labra,A.,Brignardello-Petersen,R.,Neumann,I.,Johnston,BC,Sun,X.,Briel,M.,Busse,JW,Ebrahim,S.、およびGranados,CE、システマティックレビューで参加者データが欠落していることに関連するバイアスのリスクの報告、処理、および評価：方法論的調査。BMJオープン、2015年 5 (9) :p. e009368。
16. Akl,EA,Kahale,LA,Agoritsas,T.,Brignardello-Petersen,R.,Busse,JW,Carrasco-Labra,A.,Ebrahim,S.,Johnston,BC,Neumann,I.、およびSola J.、メタアナリシスを実施する際に結果データが欠落している試験参加者の取り扱い：提案されたアプローチの体系的な調査。システマティックレビュー,2015年 4 (1) :p. 98。
17. Akl,EA,Shawwa,K.,Kahale,LA,Agoritsas,T.,Brignardello-Petersen,R.,Busse,JW,Carrasco-Labra,A.,Ebrahim,S.,Johnston,BC、およびNeumann,I.、ランダム化試験で欠落している参加者データの報告：方法論文献の体系的な調査と提案されたガイド。BMJオープン、2015年 5 (12) :p. e008431。
18. Akl,EA,Sun,X.,Busse,JW,Johnston,BC,Briel,M.,Mulla,S.,You,JJ,Bassler,D.,Lamontagne,F.,and Vera,C., Specific ランダム化試験で不明確に報告された盲検状態を推定するための指示は信頼でき、有効でした。Journal of Clinical Epidemiology,2012年 65 (3) :p. 262-7。
19. Anheyer,D.,Cramer,H.,Lauche,R.,Saha,FJ, およびDobos,G.、気道感染症の子供における漢方薬：系統的レビューとメタ分析。Academic Pediatrics,2018年 18 (1) :p. 8-19。
20. Anheyer,D.,Dobos,G.、およびCramer,H.、子供および青年の薬草物語の概要 (Evidenzlage pflanzlicher Präparate in der Anwendung bei Kindern und Jugendlichen : ein narrativer Überblick)。Zeitschrift für Phytotherapie,2016年 37 :p. 236-41。
21. Anheyer,D.,Frawley,J.,Koch,AK,Lauche,R.,Langhorst,J.,Dobos,G.,and Cramer,H.、小児および青年の胃腸障害に対する漢方薬：系統的レビュー。小児科、2017年 139 (6) :p. e20170062。
22. Anheyer,D.,Haller,H.,Barth,J.,Lauche,R.,Dobos,G.、およびCramer,H.、腰痛を治療するためのマインドフルネスに基づくストレス低減：系統的レビューとメタ分析。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- 内科の年報,2017年,166 (11) :p. 799-807。
23. Anheyer,D.,Lauche,R.,Schumann,D.,Dobos,G.,およびCramer,H.,、注意欠陥多動性障害 (ADHD)の子供における漢方薬：系統的レビュー。
医学における補完療法,2017年,30 : p. 14-23。
24. Anheyer,D.,Leach,MJ,Klose,P.,Dobos,G.,およびCramer,H.,、慢性頭痛を治療するためのマインドフルネススペースのストレス低減：系統的レビューとメタ分析。
頭痛,2018年,印刷中 : p. 1-12。
25. 4月 KTおよびWalji,R.,、小児リウマチ学における補完代替医療に関する研究の状況。
北米のリウマチ疾患クリニック,2011年,37 (1) :p. 85-94。
26. Arankalle,D.,Jincy,S.,およびRaghuraj,P.,、水治療法研究の傾向に関する批評的レビュー。 International Journal of Naturopathic Medicine,2013年,6 :p. 7。
27. Arentz,S.,Abbott,JA,Smith,CA,およびBensoussan,A.,、多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS)および関連するオリゴ/無月経およびアンドロゲン過剰症の管理のための漢方薬。裏付けとなる臨床所見を伴う影響に関する検査室の証拠のレビュー。 BMC補完代替医療,2014年,14 (1) :p. 511。
28. Arentz,S.,Smith,CA,Abbott,J.,およびBensoussan,A.,、多嚢胞性卵巣症候群の女性のための栄養補助食品と漢方薬：系統的レビューとメタ分析。 BMC補完代替医療,2017年,17 (1) :p. 500。
29. Aucoin,M.,Cooley,K.,Knee,C.,Fritz,H.,Balneaves,LG,Breau,R.,Fergusson,D.,Skidmore,B.,Wong,R.,and Seely,D.,、魚由来のオメガ-3脂肪酸と前立腺癌：系統的レビュー。統合がん治療,2017年,16 (1) :p. 32-62。
30. Aucoin,M.,LaChance,L.,Cooley,K.,およびKidd,S.,、食事療法と精神病：スコーピングレビュー。 Neuropsychobiology,2018年,印刷中 : p. 1-23。
31. Aucoin,M.,Lalonde-Parsi,M.-J.,およびCooley,K.,、機能的胃腸障害の治療におけるマインドフルネススペースの治療：メタアナリシス。証拠に基づく補完代替医療,2014年。2014年 : p. 1-11。
32. Avila,C.,Whitten,D.,およびEvans,S.,、妊娠および授乳におけるセイヨウオトギリソウ (Hypericum perforatum)の安全性：げっ歯類研究の系統的レビュー。 Phytotherapy Research,2018年,32 : p. 1488-1500。
33. Bala,MM,Akl,EA,Sun,X.,Bassler,D.,Mertz,D.,Mejza,F.,Vandvik,PO,Malaga,G.,Johnston,BC,and Dahm,P.,、 Randomized影響の大きいジャーナルと影響の少ないジャーナルで発表された試験は、デザイン、実施、分析が異なります。 Journal of Clinical Epidemiology,2013年,66 (3) :p. 286-95。
34. Bandayrel,K.およびJohnston,BC,、患者および代理人が報告した生活の質の研究における最近の進歩。健康と生活の質の結果,2014年,12 (1) : p. 110,1-9。
35. Barrett,B.,Vohmann,M.,およびCalabrese,C.,、上気道感染症のエキナセア。 Journal of Family Practice,1999年,48 (8) :p. 628。
36. Bayes,J.,Agrawal,N.,およびSchloss,J.,、健康な集団および動物モデルにおける葉酸補給のさまざまな経口形態のバイオアベイラビリティ：系統的レビュー。
Journal of Alternative & Complementary Medicine,2018年,印刷中。
37. Bayes,J.,Agrawal,N.,およびSchloss,J.,、健康な集団および動物モデルにおける葉酸補給のさまざまな経口形態のバイオアベイラビリティ：系統的レビュー。
Journal of Alternative & Complementary Medicine,2019,25 (2) : p. 169-80。
38. Bell,IR,Sarter,B.,Standish,LJ,Banerji,P.,およびBanerji,P.,、臨床治療のための低用量の従来のナノフィットメディスン：製造プロセスと非線形応答パターン。 Journal of Nanoscience and Nano technology,2015,15 (6) :p. 4021-38。
39. Benkendorff,K.,Rudd,D.,Nongmaithem,BD,Liu,L.,Young,F.,Edwards,V.,Avila,C.,およびAbbott,CAは、アキガイ科軟体動物の伝統的な医学的用途ですそれらの薬理学的特性と生物活性化合物によって実証されていますか？マリンドラッグ,2015年,13 (8) :p. 5237-75。
40. Bensoussan,A.,Myers,SP,Drew,AK,Whyte,IM,およびDawson,AH,、中国の薬草毒物学データベースの開発。毒物学ジャーナル。臨床毒理学,2002年,40 (2) :p. 159-67。
41. Berk,M.,Sarris,J.,Coulson,CE,およびJacka,FN,、単極うつ病のライフスタイル管理。 Acta Psychiatrica Scandinavica,2013年,127 (s443) : p. 38-54。
42. Bested,AC,Logan,AC,およびSelhub,EM,、腸内細菌叢、プロバイオティクス、メンタルヘルス：メチニコフから現代の進歩まで：パートII –現代の文脈研究。 Gut Pathogens,2013年,5 (1) :p. 3.3。
43. Bested,AC,Logan,AC,およびSelhub,EM,、腸内細菌叢、プロバイオティクス、メンタルヘルス：メチニコフから現代の進歩まで：パートIII –臨床試験への収束。 Gut Pathogens,2013年,5 (1) :p. 4.4。
44. Bested,AC,Logan,AC,およびSelhub,EM,、腸内細菌叢、プロバイオティクス、メンタルヘルス：メチニコフから現代の進歩まで：パートI –自己中毒の再検討。 Gut Pathogens,2013年,5 (1) :p. 5.5。
45. ビール, ID, 末梢静脈栄養療法：患者外、オフィススペースの投与。代替医療レビュー,2000年,5 (4) :p. 347-54。
46. Birdsall,SM,Birdsall,TC,およびTims,LA,、癌における医療用マリファナの使用。現在の腫瘍学レポート,2016年,18 (7) :p. 40。
47. Birdsall,T.,、胃腸カンジダ症：事実またはフィクション。
代替医療レビュー,1997年,2 (346) :p. 287。
48. Birdsall,TC,、松果体ホルモンメラトニンの生物学的効果と臨床使用。代替医療レビュー,1996年,1 :p. 94-102。
49. Birdsall,TC,、5-ヒドロキシトリプトファン：臨床的に有効なセロトニン前駆体。
代替医療レビュー,1998年,3 (4) :p. 271-80。
50. Birdsall,TC,、タウリンの治療への応用。ネイティブ医学レビューを変更,1998年,3 (2) :p. 128-36。
51. Birdsall,TCおよびKelly,GS,、Berberine：いくつかの薬用植物に見られるアルカロイドの治療可能性。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- 代替医療レビュー,1997年 2 (2) :p. 94-103。
52. Bitcon,C.,Evans,S.、およびAvila,C.、草の根のハーバリズムの再出現：プロゴスフィアによる分析。
Health Sociology Review,2016年 25 (1) :p. 108-21。
53. Boehm,K.,Cramer,H.,Staroszynski,T.、およびOstermann,T.、乳がん患者の不安、うつ病、および生活の質のための芸術療法：系統的レビューとメタ分析。証拠に基づく補完代替医療,2014年。2014年：p. 1-9。
54. Boehm,K.,Raak,C.,Cramer,H.,Lauche,R.、およびOstermann,T.、繊維性癌類の治療におけるホメオパシー包括的な文献レビューとメタアナリシス。医学における補完療法,2014年 22 (4) :p. 731-42。
55. Bongiorno,PB,Fratellone,PM、およびLoGiudice,P.、ニンニク (Allium sativum)の潜在的な健康上の利点：ナラティブレビュー。Journal of Complementary and Integrative Medicine,2008年 5 (1) :p. 1-24。
56. Bostock,ECS,Kirkby,KC,Garry,MI,Taylor,BV、およびHawrelak,JA、大麻以外の薬草に関連するマニア：症例報告の系統的レビューと品質評価。精神医学のフロンティア,2018年 9 :p. 280,1-12。
57. Bowe,WP and Logan,AC、Acne vulgaris,probiotics and the gut-brain-skin axis-バックトゥザ・フューチャー？ Gut Pathogens,2011年 3 (1) :p. 1.1。
58. Bowe,WP,Patel,N.、およびLogan,AC、Acne vulgaris：酸化ストレスの役割と局所および全身の抗酸化物質の潜在的な治療的価値。Journal of Drugs in Dermatology,2012年 11 (6) :p. 742-6。
59. Bowman,D.、ハーブ療法は、母乳育児中の母親のミルク供給が不十分な場合に役立ちますか？ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 2-4。
60. Bradbury,J.、ドコサヘキサエン酸 (DHA)：現代の人間の脳のための古代の栄養素。栄養素,2011年 3 (5) :p. 529-54。
61. Bradley,R.,Oberg,EB,Calabrese,C.、およびStandish,LJ、2型糖尿病における補完代替医療の実践と研究のためのアルゴリズム。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2007,13 (1) :p. 159-75。
62. Bradstreet,JJ,Smith,S.,Baral,M.、およびRossignol,DA、自閉症スペクトラム障害および注意欠陥多動性障害に関連する臨床的に関連する状態のバイオマーカー誘導導入。Alternative Medicine Review,2010年 15 (1) :p. 15-32。
63. Braun,L.、およびRosenfeldt,F.、薬剤栄養素の相互作用-亜鉛および降圧療法のための系統的レビュー。International Journal of Clinical Practice,2013年,67 (8) :p. 717-25。
64. ブリゲナル, MS、インドール-3-カルビノールによる癌の予防と治療。代替医療レビュー,2001年 6 (6) :p. 580-90。
65. Brignardello-Petersen,R.,Carrasco-Labra,A.,Jadad,AR,Johnston,BC、およびTomlinson,G.、さまざまな基準と方法を使用して、治療効果の推定値を比較します：スコアリングレビュー。Journal of Clinical Epidemiology,2016年 75 :p. 29-39。
66. Brignardello-Petersen,R.,Johnston,BC,Jadad,AR、およびTomlinson,G.、ネットワークメタアナリシスでのランク付け処理に決定しきい値を使用すると、より有益なランク付けが得られます。Journal of Clinical Epidemiology,2018年 98 :p. 62-9。
67. Brown,D.,Schloss,J.、およびSteel,A.、癌の薬用大麻に関する体系的な文献レビュー。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 8-9。
68. Buchbinder,R.,Page,MJ,Huang,H.,Verhagen,AP,Beaton,D.,Kopkow,C.,Lenza,M.,Jain,NB,Richards,B.,and Richards,P.、肩の障害の臨床試験のために設定された予備的なコアダメイン：OMERACT2016肩のコア結果セットの特別利益団体からの報告。Journal of Rheumatology,2017年 44 (12) :p. 1880-3。
69. Budzynska,K.,Gardner,ZE,Dugoua,J.-J.,Low Dog,T.、およびGardiner,P.、母乳育児とハーブの系統的レビュー。母乳育児医学,2012年 7 (6) :p. 489-503。
70. Calabrese,C.,Oberg,E.,Bradley,R.,Seely,D.,Cooley,K.、およびGoldenberg,J.、自然療法医学全体の臨床研究の系統的レビュー。BMC 補完代替医療,2012年 12 (S1) :p. P332。
71. Cameron,M.,Gagnier,JJ、およびChrubasik,S.、関節リウマチを治療するためのハーブ療法。システムティックレビューのコクランデータベース,2011年 16 (2) :p. 1-56。
72. Cameron,M.,Gagnier,JJ,Little,CV,Parsons,TJ,Blümle,A.、およびChrubasik,S.、関節炎の治療におけるハーブ医薬品の有効性の証拠。パート1：変形性関節症。Phytotherapy Research,2009年 23 (11) :p. 1497-515。
73. Cameron,M.,Gagnier,JJ,Little,CV,Parsons,TJ,Blümle,A.、およびChrubasik,S.、関節炎の治療におけるハーブ医薬品の有効性の証拠。パート2：関節リウマチ。Phytotherapy Research,2009年 23 (12) :p. 1647-62。
74. Camfield,DA,Sarris,J.、およびBerk,M.、強迫性障害 (OCD)の治療における栄養補助食品：機構および臨床的証拠のレビュー。神経精神薬理学および生物学的精神医学の進歩,2011年 35 (4) :p. 887-95。
75. Casteleijn,D.、個別の薬草療法は不安やうつ病を和らげるのに効果的ですか？体系的なレビューと自然主義的な観察研究。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p. 35-7。
76. Cherkin,DCおよびHerman,PM、腰痛および首の痛みに対する認知および心身の治療：有効性と価値。JAMA内科,2018年 178 (4) :p. 556-7。
77. Chess,LEおよびGagnier,J.、整形外科ジャーナルに発表されたランダム化比較試験のバイアスのリスク。BMC Medical Research Methodology,2013年 13 (1) :p. 76。
78. チェス, LEおよびガニエ,JJ、適用可能または非適用ケーブル：系統的レビューにおける臨床的不均一性の調査。BMC Medical Research Methodology,2015年 16 (1) :p. 19。
79. Chitayat,D.,Matsui,D.,Amitai,Y.,Kennedy,D.,Vohra,

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- S.,Rieder,M.、およびKoren,G.、妊娠中の女性および妊娠を計画している女性のための葉酸サプリメント：2015年の更新。 *Journal of Clinical Pharmacology*,2016年 56 (2) :p. 170-5。
80. Clifford,J.,Salwan,R.,Theriault,V.,Nelson,D.,McEachern,T.,Abog,M.,Aggarwal,N.,Ip,S.,and Cooley,K.、タメリック製剤補助的な癌治療：系統的レビュー。 *Journal of Complementary and Integrative Medicine*,2016,13 (4) :p. eA4。
81. Cogo,E.,Sampson,M.,Ajiferuke,I.,Manheimer,E.,Campbell,K.,Daniel,R.、およびMoher,D.、補完代替医療の対照試験の検索：比較15のデータベースのうち。エビデンスに基づく補完代替医療。 2011年 2011年： p. 1-9。
82. Colquhoun,D.,Bensoussan,A.,Braun,L.,Hill,K.,Keech,A.,Kostner,K.,Rosenfeldt,F.,Walker,R.,and Watts,G.、補完薬心血管疾患-国立補完医学研究所2013による証拠のレビュー。 *心臓 肺および循環* 2013年 22 : p. S260。
83. Coulter,JD,Crawford,C.,Hurwitz,EL,Vernon,H.,Khorsan,R.,Booth,MS, and Herman,PM、慢性腰痛を治療するための操作と動員：系統的レビューとメタ分析。 *脊椎ジャーナル*、2018年 18 (5) :p. 866-79。
84. Courtney,R.、喘息の呼吸法-機能不全の呼吸の生化学的、生体力学的、心理生理学的側面に取り組むことの重要性。 *統合医療の進歩* 2015年 2 (2) : p. 118。
85. Courtney,R.、機能不全の呼吸-喘息の呼吸の再訓練のための多次元ビューの重要性。 *生物学的心理学*,2016年 118 : p. 63-4。
86. Courtney,R.、喘息の機能不全の呼吸のための呼吸トレーニング：多次元アプローチを取る。 *ERJ Open Research*,2017年 3 (4) :p. 00065-2017。
87. Cowan,JB,Mlynarek,RA,Nelissen,R.,Pijls,B.、およびGagnier,JJ、AQUILAチェックリストを使用した下肢関節形成術の観察研究の質の評価。 *Journal of Arthroplasty*,2015年 10 : p. 1016。
88. Craig,JM,Logan,AC、およびPrescott,SL、自然環境、自然との関連性、および生態学的劇場：衛星の接続とシンリンヨークへのシーケンス。 *Journal of Physiological Anthropology*,2016年 35 (1) :p. 1.1。
89. Cramer,H.、高血圧の管理におけるヨガの有効性と安全性。実験的および臨床的分分子学および糖尿病,2016年 124 (02) :p. 65-70。
90. Cramer,H.,Anheyer,D.,Lauche,R.、およびDobos,G.、大うつ病性障害に対するヨガの系統的レビュー。 *Journal of Affective Disorders*,2017年 213 : p. 70-7。
91. Cramer,H.,Anheyer,D.,Saha,FJ,およびDobos,G.、心的外傷後ストレス障害のヨガ-系統的レビューとメタアナリシス。 *BMC Psychiatry*,2018年 18 (1) :p. 72。
92. Cramer,H.,Cohen,L., Dobos,G.、およびWitt,CM、統合腫瘍学：理論的、実践的、および研究上の問題の両方の長所。 *証拠に基づく補完代替医療*、2013年 2013年。
93. Cramer,H.,Haller,H.,Dobos,G.、およびLauche,R.、 A
- ヨガ介入に関するランダム化比較試験で予想されるドロップアウト率を推定する系統的レビューとメタアナリシス。エビデンスに基づく補完的および代替的医療,2016年 2016年。
94. Cramer,H.,Haller,H.,Lauche,R.,Steckhan,N.,Michalsen,A.、およびDobos,G.、高血圧に対するヨガの系統的レビューとメタ分析。 *American Journal of Hypertension*,2014年 27 (9) :p. 1146-51。
95. Cramer,H.,Klose,P.,Brinkhaus,B.,Michalsen,A.、およびDobos,G.、慢性的な首の痛みに対するヨガの効果：系統的レビューとメタ分析。 *臨床リハビリテーション*、2017年 31 (11) :p. 1457-65。
96. Cramer,H.,Krucoff,C.、およびDobos,G.、ヨガに関連する有害事象：公表された症例報告および症例シリーズの系統的レビュー。 *PLoS one*,2013年 8 (10) :p. e75515。
97. Cramer,H.,Krucoff,C.、およびDobos,G.、ヨガの安全性：ヨガに関連する有害事象に関する症例報告と症例シリーズの系統的レビュー。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*,2014年 20 (5) :p. A21- A21。
98. Cramer,H.,Lange,S.,Klose,P.,Paul,A.、およびDobos,G.、乳がん患者と生存者のためのヨガ：体系的なレビューとメタ分析。 *BMC Cancer*,2012年 12 (1) :p. 412。
99. Cramer,H.,Langhorst,J.,Dobos,G.、およびLauche,R.、ヨガのランダム化比較試験におけるバイアスのリスクの関連要因と結果：系統的レビュー。 *PLoS One*,2015年 10 (12) :p. e0144125。
100. Cramer,H.,Langhorst,J.,Dobos,G.、およびLauche,R.、メタボリックシンドロームのヨガ：系統的レビューとメタ分析。 *European Journal of Preventive Cardiology*,2016年 23 (18) :p. 1982-93。
101. Cramer,H.,Lauche,R.,Anheyer,D.,Pilkington,K.,de Manincor,M.,Dobos,G.,and Ward,L.、不安に対するヨガ：系統的レビューとメタ分析ランダム化比較試験のうつ病と不安,2018年 35 (830-43)。
102. Cramer,H.,Lauche,R.,Azizi,H.,Dobos,G.,and Langhorst,J.、多発性硬化症のヨガ：系統的レビューとメタアナリシス。 *PLoS One*,2014年 9 (11) :p. e112414。
103. Cramer,H.,Lauche,R.、およびDobos,G.、ヨガのランダム化比較試験の特徴：計量書誌学的分析。 *BMC補完代替医療*,2014年 14 (1) :p. 328。
104. Cramer,H.,Lauche,R.,Haller,H.、およびDobos,G.、腰痛に対するヨガの系統的レビューとメタ分析。 *痛みの臨床ジャーナル*、2013年 29 (5) :p. 450-60。
105. Cramer,H.,Lauche,R.,Haller,H.,Dobos,G.、およびMichalsen,A.、心臓病に対するヨガの系統的レビュー。 *European Journal of Preventive Cardiology*,2015年 22 (3) :p. 284-95。
106. Cramer,H.,Lauche,R.,Haller,H.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、精神病に対するマインドフルネスおよび受容ベースの介入：系統的レビューとメタ分析。 *健康と医学の世界的進歩*,2016年 5 (1) :p. 30-43。
107. Cramer,H.,Lauche,R.,Haller,H.,Steckhan,N.,Michalsen,A.、およびDobos,G.、心血管疾患の危険因子に対するヨガの影響：系統的レビューとメタ分析。 *International Journal of Cardiology*,2014年 173 (2) :

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- p. 170-83。
108. Cramer,H.,Lauche,R.,Klose,P.,Dobos,G.、およびLanghorst,J.、結腸直腸癌患者に対する運動介入の系統的レビューとメタ分析。European Journal of Cancer Care,2014年 23 (1) :p. 3-14。
109. Cramer,H.,Lauche,R.,Klose,P.,Lange,S.,Langhorst,J.、およびDobos,GJ、健康関連の生活の質、メンタルヘルスおよび癌関連の症状を改善するためのヨガ乳がんと診断された女性。システマティックレビューのkokランデーターベース、2017 (1) :p. 1-199。
110. Cramer,H.,Lauche,R.,Klose,P.,Langhorst,J.,and Dobos,G.、統合失調症のヨガ：系統的レビューとメタアナリシス。BMC Psychiatry,2013年。13 (1) :p. 32。
111. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、更年期症状に対するヨガの有効性：ランダム化比較試験の系統的レビューとメタアナリシス。エビデンスに基づく補完代替医療,2012年。2012年。
112. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、リウマチ性疾患のヨガ：系統的レビュー。リウマチ学,2013年 52 (11) :p. 2025-30。
113. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、うつ病のヨガ：系統的レビューとメタ分析。うつ病と不安,2013年 30 (11) :p. 1068-83。
114. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、インドのヨガの試験は他の国の試験よりも陽性である可能性が高いですか？ランダム化比較試験の系統的レビュー。現代の臨床試験,2015年 41 : p. 269-72。
115. Cramer,H.,Lauche,R.,Langhorst,J.、およびDobos,G.、あるヨガスタイルは別のスタイルよりも優れていますか？ランダム化ヨガ試験におけるヨガスタイルと結論の関連性の系統的レビュー。医学における補完療法,2016年。25 : p. 178-87。
116. Cramer,H.,Lauche,R.,Paul,A.,Langhorst,J.,Kümmel,S.、およびDobos,GJ、乳がん治療における催眠術：ランダム化比較試験の系統的レビュー。統合的癌治療,2015年 14 (1) :p. 5-15。
117. Cramer,H.,Lauche,R.,Paul,A.,Langhorst,J.,Michalsen,A.、およびDobos,G.、冠状動脈性心臓病の二次予防における心身医学：系統的レビューおよびメタ分析。DeutschesArzteblattInternational,2015年 112 (45) :p. 759。
118. Cramer,H.,Ostermann,T.、およびDobos,G.、ヨガの練習に関連する怪我およびその他の有害事象：疫学研究の体系的なレビュー。Journal of Science and Medicine in Sport,2018年 21 (2) :p. 147-54。
119. Cramer,H.,Peng,W.、およびLauche,R.、メノポーズ症状のヨガ-系統的レビューとメタアナリシス。Maturitas,2018年 109 : p. 13-25。
120. Cramer,H.,Posadzki,P.,Dobos,G.、およびLanghorst,J.、喘息のヨガ：系統的レビューとメタ分析。アレルギー、喘息および免疫学の年報,2014年。112 (6) :p. 503-510。e5。
121. Cramer,H.,Ward,L.,Saper,R.,Fishbein,D.,Dobos,G.、およびLauche,R.、ヨガの安全性に関する系統的レビューとメタ分析。統合医療研究,2015.4 (1) :p. 81。
122. Cramer,H.,Ward,L.,Saper,R.,Fishbein,D.,Dobos,G.,and Lauche,R.、ヨガの安全性：ランダム化比較試験の系統的レビューとメタアナリシス。American Journal of Epidemiology,2015年 182 (4) :p. 281-93。
123. da Costa,BR,Nüesch,E.、Rutjes,AW,Johnston,BC,Reichenbach,S.,Trelle,S.,Guyatt,GH,and Jüni,P.、フォローアップと変更データの組み合わせは継続的な結果のメタ分析：メタエビデミックの論理的研究。Journal of Clinical Epidemiology,2013年 66 (8) :p. 847-55。
124. da Costa,BR,Rutjes,AW,Johnston,BC,Reichenbach,S.,Nüesch,E.、Tonia,T.,Gemperli,A.,Guyatt,GH,and Jüni,P.、連続変換の方法治療反応のオッズ比と治療に必要な数への結果：メタ疫学研究。International Journal of Epidemiology,2012年 41 (5) :p. 1445-59。
125. Deng,G.,Weber,W.,Sood,A.、およびKemper,KJ、統合医療に関する研究：コンテキストと優先順位。探索(ニューヨーク、ニューヨーク),2010年 6 (3) :p. 143-58。
126. Deng,GE,Rausch,SM,Jones,LW,Gulati,A.,Kumar,NB,Greenlee,H.,Pietanza,MC,およびCas sileth,BR、肺がんにおける補完療法と統合医療：診断と管理肺がんの治療：American College of ChestPhysiciansの証拠に基づく臨床診療ガイドライン。CHEST Journal,2013年 143 (5 suppl) :p. e420S-e436S。
127. Ding,M.,Leach,M.、およびBradley,H.、妊娠誘発性の悪心および嘔吐に対するショウガの有効性と安全性：系統的レビュー。女性と出産,2013年。26 (1) :p. e26-30。
128. Ding,M.,Leach,MJ、およびBradley,H.、生姜の局所使用の証拠の系統的レビュー。探索:The Journal of Science and Healing,2013年 9 (6) : p. 361-4。
129. ドリユー、AKおよびマイヤーズ,SP、薬草医学における安全性の問題：医療専門家への影響。オーストラリア医学ジャーナル,1997年 166 (10) :p. 538-41。
130. Dugoua,J.-J.、漢方薬と妊娠。Journal of Population Therapeuticsand Clinical Pharmacology,2010年 17 (3) :p. e370-8。
131. Dugoua,JJ,Seely,D.,Perri,D.,Mills,E.、およびKoren,G.、妊娠中および授乳中のクランベリー (Vaccinium macro carpon)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2008年 15 (1) :p. e80-6。
132. Dugoua,JJ,Wu,P.,Seely,D.,Eyawo,O.,and Mills,E.、進行性非小細胞肺癌に対するレンゲ含有中国ハーブの組み合わせ：65の臨床のメタ分析4751人の患者を登録する試験。肺がん：ターゲットと治療,2010年 1 :p. 85。
133. Dugoua,J.-J.,Machado,M.,Zhu,X.,Chen,X.,Koren,G.,and Einarson,TR、妊娠中のプロバイオティクスの安全性：無作為化の系統的レビューとメタアナリシスラクトバチルス、ピフィズス菌、およびサッカロミセス属の対照試験。Journal of Obstetrics and Gynecology Canada,2009年 31 (6) :p. 542-52。
134. Dugoua,J.-J.,Mills,E.,Perri,D.、およびKoren,G.、Safety

- 妊娠中および授乳中のセントジョーンズワート (hypericum)の有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2006年 13 (3) :p。 e268-76。
135. Dugoua,J.-J.,Mills,E.,Perri,D.、およびKoren,G.、妊娠中および授乳中のイチョウ (Ginkgo biloba)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2006年 13 (3) :p。 e277-84。
136. Dugoua,J.-J.,Perri,D.,Seely,D.,Mills,E.,and Koren,G.、妊娠中および授乳中のブルーコホシュ (Caulophyllum thalictroides)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2008年 15 (1) :p。 e66-73。
137. Dugoua,J.-J.,Seely,D.,Perri,D.,Cooley,K.,Forelli,T.,Mills,E.,and Koren,G.、2型糖尿病から抗酸化活性まで：一般的なシナモン樹皮とカッシアシナモン樹皮の安全性と有効性の系統的レビュー。Canadian Journal of Physiology and Pharmacology,2007年 85 (9) :p。 837-47。
138. Dugoua,J.-J.,Seely,D.,Perri,D.,Koren,G.,and Mills,E.、妊娠中および授乳中のブラックコホシュ (Cimicifuga racemosa)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2006年 13 (3) :p。 e257-61。
139. Dugoua,J.-J.,Seely,D.,Perri,D.,Koren,G.,and Mills,E.、妊娠中および授乳中のセイヨウニンジンボク (Vitex agnus-castus)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2008年 15 (1) :p。 e74-9。
140. Dunn,JMおよびWilkinson,JM、関節リウマチの自然療法的管理。現代リウマチ学 2005年 15 (2) :p。 87-90。
141. Dwyer,AV,Whitten,DL、およびHawrelak,JA、うつ病の治療におけるセントジョーンズワート以外の漢方薬：系統的レビュー。代替医療レビュー、2011年 16 (1) :p。 40-9。
142. Ebrahim,S.,Johnston,BC,Akl,EA,Mustafa,RA,Sun,X.,Walter,SD,Heels-Ansdell,D.,Alonso-Coello,P.,and Guyatt,GH、Addressing Continuous data試験分析から除外された参加者のためのさまざまな手段で測定：体系的なレビューのためのガイド。Journal of Clinical Epidemiology,2014年 67 (5) :p。 560-70。
143. Ebrahim,S.,Vercammen,K.,Sivanand,A.,Guyatt,GH,Carrasco-Labra,A.,Fernandes,RM,Crawford,MW,Nesrallah,G.,and Johnston,BC、子供に関連する患者または代理人が報告したアウトカム研究：系統的レビュー。小児科 2017年 139 (3) :p。 e20160833。
144. Einarson,TR,Kennedy,D.、およびEinarson,A.、調査結果は研究デザイン間で異なりますか？妊娠中および奇形における抗うつ薬使用の症例。Journal of Population Therapeutics and Clinical Pharmacology,2012年 19 (2) :p。 e334-48。
145. Erickson,J.,Sadeghirad,B.,Lytvyn,L.,Slavin,J.、およびJohnston,BC、砂糖摂取に関するガイドライン推奨の科学的根拠：系統的レビュー。内科の年報,2017年 166 (4) :p。 257-67。
146. Fawzy,E.、結腸直腸癌の腹膜転移の管理、文献レビュー。Journal of Cancer Prevention and Current Research,2015年 2 (6) :p。 00057。
147. Firth,J.,Carney,R.,Stubbs,B.,Teasdale,SB,Van campfort,D.,Ward,PB,Berk,M.,and Sarris,J.、栄養不足と臨床的相関-エピソード精神病：系統的レビューとメタアナリシス。Schizophrenia Bulletin,2018年 44 (6) :p。 1275-92。
148. Firth,J.,Rosenbaum,S.,Ward,PB,Curtis,J.,Teasdale,SB,Yung,AR, and Sarris,J.、初回エピソード精神病における補助栄養素：有効性の系統的レビュー、忍容性と神経生物学的メカニズム。精神医学への早期介入、2018年 12 (774-83)。
149. Firth,J.,Stubbs,B.,Sarris,J.,Rosenbaum,S.,Teasdale,S.,Berk,M., and Yung,A.、統合失調症の症状に対するビタミンとミネラルの補給の効果：系統的レビューとメタ分析。Psychological Medicine,2017年。47 (9) :p。 1515-27。
150. Firth,J.,Torous,J.,Carney,R.,Newby,J.,Cosco,TD,Christensen,H.、およびSarris,J.、不安の治療におけるデジタルテクノロジー：最近の革新と将来の方向性。現在の精神医学レポート,2018年 20 (6) :p。 44。
151. Firth,J.,Torous,J.,Nicholas,J.,Carney,R.,Pratap,A.,Rosenbaum,S.、およびSarris,J.、スマートフォンの有効性-うつ症状に対するメンタルヘルス介入に基づく：ランダム化比較試験のメタアナリシス。World Psychiatry,2017年 16 (3) :p。 287-98。
152. Firth,J.,Torous,J.,Nicholas,J.,Carney,R.,Rosenbaum,S.、およびSarris,J.、スマートフォンのメンタルヘルス介入は不安の症状を軽減できますか？ランダム化比較試験のメタアナリシス。Journal of Affective Disorders,2017年 218 : p。 15-22。
153. Flatt,J.、非文脈化対生きた世界：証拠、生活世界、価値観の交差点に関する批判的思考。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2012年 18 (5) :p。 513-21。
154. Flatt,J.、補完医学に対するレトリックの批判的証話分析。研究への創造的なアプローチ,2013年 6 (2) :p。 57。
155. Flower,G.,Fritz,H.,Balneaves,LG,Verma,S.,Skidmore,B.,Fernandes,R.,Kennedy,D.,Cooley,K.,Wong,R.,Sagar,S.、およびFergusson,D.、およびSeely,D.、亜麻および乳がん：系統的レビュー。統合的癌治療,2014年 13 (3) :p。 181-92。
156. Foley,H.およびSteel,A.、補完医療における臨床ケアの患者の認識：相談経験の系統的レビュー。患者教育とカウンセリング、2017年 100 (2) :p。 212-23。
157. Foley,HMおよびSteel,AE、メラトニンの経口投与に関連する有害事象：臨床的証拠の重要な系統的レビュー。医学における補完療法、2018年 42 : p。 65-81。
158. Forde,JC,Jaffe,E.,Stone,BV,Te,AE,Espinosa,G.、およびChughtai,B.、過活動膀胱の管理における鍼治療の役割：文献のレビュー。International Urogynecology Journal,2016年 27 (11) :p。 1645-51。
159. フリッツ H。、フラワ G。、ウィークス L。、クーリー K。、キャラン、

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- M.,McGowan,J.,Skidmore,B.,Kirchner,L.、およびSeely,D.、
 静脈内ビタミンCおよび癌：系統的レビュー。
 統合的癌治療,2014年 13 (4) :p. 280-300。
160. フリッツ、H.、ケネディ、D.、ファーガソン、D.、フェルナンデス、R.、クーリー、
 K.、シーリー、A.、サーガル、S.、ウォン、R.、およびシーリー、D.、セレンおよ
 び肺がん：系統的レビューとメタ分析。 PLoS One,2011年 6 (11) : p.
 e26259。
161. Fritz,H.,Kennedy,D.,Fergusson,D.,Fernandes,R.,Doucette,S.,
 Cooley,K.,Seely,A.,Sagar,S.,Wong,R.,and Seely, D.、肺癌のための
 ビタミンAおよびレチノイド誘導体：系統的レビューおよびメタ分
 析。 PLoS one,2011年 6 (6) :p. e21107。
162. フリッツ、H.、ケネディ、D.A.、石井、M.、ファーガソン、D.、フェルナンデ
 ス、R.、クーリー、K.、およびシーリー、D.、肺癌のための多糖類およ
 びカワラタケ抽出物：系統的レビュー。統合的癌治療、2015年 14 (3) :
 p. 201-11。
163. Fritz,H.,Seely,D.,Flower,G.,Skidmore,B.,Fernandes,R.,
 Vadeboncoeur,S.,Kennedy,D.,Cooley,K.,Wong,R.,and Sagar, S.、大豆、
 レッドクローバー、イソフラボンと乳がん：系統的レビュー。 PLoS
 One,2013年 8 (11) :p. e81968。
164. Fritz,H.,Seely,D.,Kennedy,DA,Fernandes,R.,Cooley,K.,and
 Fergusson,D.、緑茶と肺がん：系統的レビュー。統合的癌治療、2013
 年 12 (1) :p. 7-24。
165. Fritz,H.,Seely,D.,McGowan,J.,Skidmore,B.,Fernandes,R.,
 Kennedy,DA,Cooley,K.,Wong,R.,Sagar,S.,and Balneaves, LG、
 ブラックココシュおよび乳がん：系統的レビュー。統合的癌治療、2014年
 13 (1) :p. 12-29。
166. Furber,G.,Leach,M.,Guy,S.、およびSegal,L.、予防方針および計画に使用
 するための、精神疾患の危険因子を説明するための幅広い分類スキーム
 の開発。
 オーストラリアとニュージーランドの精神医学ジャーナル,2017年 51 (3) : p
 。 230-40。
167. Furber,G.,Segal,L.,Leach,M.,Turnbull,C.,Procter,N.,Diamond,M.
 、Miller,S.,and McGorry,P.、精神疾患の予防：証拠を閉じる-労働力と
 サービスの計画を通じてギャップを実践します。 BMC Health
 Services Research,2015年 15 (1) :p. 283。
168. Furlan,AD,Yazdi,F.,Tsertsvadze,A.,Gross,A.,Van Tulder,M.,
 Santaguida,L.,Cherkin,D.,Gagnier,J.,Ammendolia,C.,and
 Ansari, MT、腰痛の補完的および代替療法II。エビデンスレポート/
 テクノロジーアセスメント、2010 (194) :p. 1.1。
169. Furlan,AD,Yazdi,F.,Tsertsvadze,A.,Gross,A.,Van Tulder,M.,
 Santaguida,L.,Gagnier,J.,Ammendolia,C.,Dryden,T.,and
 Doucette, S.、首と腰痛のための選択された補完代替医療の有効性、費
 用効果、および安全性の系統的レビューとメタ分析。証拠に基づく補完代替
 医療,2011年。2012年 : p. 1-61。
170. Gagnier,JJ、片頭痛および他の頭痛のタイプにおけるメラトニンの治療の可
 能性。代替医療レビュー、2001年 6 (4) :p. 383。
171. Gagnier,JJ、慢性の証拠に基づいた管理
 ハーブ、ビタミン、ミネラル、ホモオキシサプリメントによる腰痛、脊椎 ジャー
 ナル、2008年 8 (1) :p. 70-9。
172. Gagnier,JJ、非特異的な腰痛に対する自然健康製品のエビデンスに基づく
 レビュー。オープンペインジャーナル、2010年 3 :p. 52-9。
173. Gagnier,JJ、患者は整形外科における転帰測定を報告した。 Journal of
 Orthopedic Research,2017年 35 : p. 2098-108。
174. Gagnier,JJ,Chrubasik,S.、およびManheimer,E.、変形性関節症およ
 び腰痛に対するHarp gophytum procumbens : 系統的レビュー。
 BMC補完代替医療,2004年 4 (1) :p. 13.13。
175. Gagnier,JJ,DeMelo,J.,Boon,H.,Rochon,P.、およびBombardier,
 C.、漢方薬介入の無作為化対照試験の報告の質。アメリカ医学ジャーナ
 ル、2006年 119 (9) :p. e1-800。
176. Gagnier,JJ,Huang,H.,Mullins,M.,Marinac-Dabic,D.,Ghambaryan,
 A.,Eloff,B.,Mirza,F.,and Bayona,M.、患者報告の測定特性人工股
 関節全置換術を受けている患者で使用されるアウトカム指標：系統的レ
 ビュー。JBJSレビュー、2018年 6 (1) :p. e2。
177. Gagnier,JJおよびKellam,PJ、整形外科の照明における系統的レビュー
 の報告と方法論的品質。 Journal of Bone and Joint Surgery,2013
 。 95 (11) :p. e77。
178. Gagnier,JJ,Moher,D.,Boon,H.,Beyene,J.、およびBombardier,
 C.、ハーブ介入のランダム化比較試験は、介入の重要な詳細を過少報
 告しています。 Journal of Clinical Epidemiology,2011年 64 (7)
 : p. 760-9。
179. Gagnier,JJ,Moher,D.,Boon,H.,Beyene,J.、およびBombardier,
 C.、系統的レビューにおける臨床的不均一性の調査：文献におけるガ
 イダンスの方法論的レビュー。 BMC Medical Research Methodology
 、2012年 12 (1) :p. 111。
180. Gagnier,JJ,Moher,D.,Boon,H.,Bombardier,C.、およびBeyene,
 J.、メタ回帰での順序ベースのリサンプリングを使用した実証的研究。 システ
 マティックレビュー、2012年 1 (1) :p. 18.18。
181. Gagnier,JJ,Morgenstern,H.、およびChess,L.、青年および成人の前
 十字靭帯損傷を防ぐために設計された介入：系統的レビューおよびメタ
 分析。 American Journal of Sports Medi cine,2013年 41 (8) : p.
 1952-62。
182. Gagnier,JJ,Mullins,M.,Huang,H.,Marinac-Dabic,D.,Ghambaryan,
 A.,Eloff,B.,Mirza,F.,and Bayona,M.、測定特性の系統的レビュー人工
 膝関節全置換術を受けている患者で使用された患者報告のアウトカム 測定値
 の比較。 Journal of Arthro plasty,2017年 32 (5) :p. 1688-97
 。
183. Gagnier,JJ,Oltean,H.,van Tulder,MW,Berman,BM,Bombardier,
 C.、およびRobbins,CB、腰痛のための薬草：コクランレビュー。
 Spine,2016年 41 (2) :p. 116-33。
184. Gagnier,JJ,Shen,Y.、およびHuang,H.、患者が報告したアウトカム指
 標の心理測定特性

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- 前十字靭帯損傷のある患者：体系的なレビュー。JBJSレビュー,2018年 6 (4) :p. e5。
185. Gagnier,JJ,Van Tulder,M.,Berman,B.、およびBombar dier,C.、腰痛のための漢方薬。システムティックレビューのコクランデータベース、2006年 2 :p. 1-31。
186. Gagnier,JJ,van Tulder,MW,Berman,B.、およびBom bardier,C.、腰痛のための漢方薬：コクランレビュー。Spine,2007年 32 (1) :p. 82-2。
187. Gan,WC,Smith,L.,Luca,EJ, およびHarnett,JE、胃腸障害を患うオーストラリア人およびアメリカ人の成人による補完的医療使用の有病率と特徴： 系統的レビュー。医学における補完療法,2018年 41 : p. 52-60。
188. Gillies,D.,Sinn,JK,Lad,SS,Leach,MJ, およびRoss,MJ、子供および青年期の注意欠陥多動性障害 (ADHD)に対する多価不飽和脂肪酸 (PUFA) 。システムティックレビューのコクランデータベース、2012 (7) :p. 1-46。
189. Gillingham,L. およびLescheid,D.、プロバイオティクスおよび粘膜免疫：Th1 / Th2細胞調節に対する株特異的効果。International Journal of Naturopathic Medicine,2009年 4 :p. 18-22。
190. ゴッドソン,DRおよびウォードル,IL、経穴位置の精度と精度：重要な系統的レビュー。Journal of Acupuncture and Meridian Studies,2018。印刷中。
191. Goldenberg,JZ,Lytvyn,L.,Steurich,J.,Parkin,P.,Mahant,S.、およびJohnston,BC、小児抗生物質関連下痢の予防のためのプロバイオティクス。システムティックレビューのコクランデータベース、2015 (2) : p. 1-27。
192. Goldenberg,JZ, Ma,SS, Saxton,JD, Martzen,MR, Vandvik,PO, Thorlund,K.,Guyatt,GH, およびJohnston,BC、成人および小児におけるクロストリジウム・ディフィシル関連下痢の予防のためのプロバイオティクス。システムティックレビューのコクランデータベース、2013 (5) : p. 1-101。
193. Gomberawalla,MM, Miller,BS, Coale,RM, Bedi,A.、およびGagnier、JJ、近位上腕骨の変位した3部および4部骨折の治療のための関節保存術と関節形成術のメタアナリシス。怪我 2013年 44 (11) :p. 1532-9。
194. Gray,B.,Steyn,F.,Davies,P.、およびVitetta,L.、オメガ3脂肪酸：アディポネクチンとレプチンへの影響のレビューと肥満管理への潜在的な影響。Euro pean Journal of Clinical Nutrition,2013年 67 (12) : p. 1234-42。
195. Greene,KB,Berger,J.,Reeves,C.,Moffat,A.,Standish,LJ, およびCalabrese,C.、AMCOA研究の参加者による最も頻繁に使用される代替および補完療法と活動。エイズケアにおける看護師協会のジャーナル、1999年 10 (3) :p. 60-73。
196. Greenlee,H.、癌予防のための天然物。腫瘍学看護のセミナー,2012年 28 (1) :p. 29-44。
197. Greenlee,H.,Balneaves,LG,Carlson,LE,Cohen,M.,Deng,G.,Hershman,D.,Mumber,M.,Perlmutter,J.,Seely,D.,Sen,A.、およびZick,S.、臨床診療
- 乳がんの治療を受けている患者の支持療法としての統合療法の使用に関するガイドライン。Journal of the National Cancer Institute Monographs,2014,2014 (50) :p. 346-58。
198. Greenlee,H.,DuPont-Reyes,MJ,Balneaves,LG,Carlson,LE,Cohen,MR,Deng,G.,Johnson,JA,Mumber,M.,Seely,D.,and Zick,SM、Clinical乳がん治療中および治療後の統合療法のエビデンスに基づく使用に関する診療ガイドライン。CA :A Cancer Journal for Clinicians、2017年 67 (3) :p. 194-232。
199. Greenlee,H.,Hershman,DL, およびJacobson,JS、乳がん治療中の抗酸化サプリメントの使用：包括的なレビュー。乳がんの研究と治療,2009年。115 (3) :p. 437-52。
200. Greenlee,H.,Unger,JM,LeBlanc,M.,Ramsey,S.、およびHershman,DL、22の臨床試験のプール分析における肥満度指数と癌生存率との関連。Cancer Epidemiology,Biomarkers & Prevention,2017年 26 (1) : p. 21-9。
201. Guyatt,GH,Ebrahim,S.,Alonso-Coello,P.,Johnston,BC,Mathioudakis,AG,Briel,M.,Mustafa,RA,Sun,X.,Walter,SD,and Heels-Ansell,D.、GRADEガイドライン17：一連の証拠に参加者の結果データが欠落していることに関連するバイアスのリスクを評価する。Journal of Clinical Epidemiology,2017年 87 : p. 14-22。
202. Hall,H.,Cramer,H.,Sundberg,T.,Ward,L.,Adams,J.,Moore,C.,Sibbritt,D.,and Lauche,R.、妊娠関連の腰痛および骨盤痛：メタ肛門性交による系統的レビュー。医薬 2016年 95 (38) :p. 1-10。
203. Hall,H.,Leach,M.,Brosnan,C.、およびCollins,M.、補完療法に対する看護師の態度：体系的なレビューとメタ合成。International Journalof Nursing Studies,2017,69 : p. 47-56。
204. Haller,H.,Cramer,H.,Lauche,R.,and Dobos,G.,Somatoformestörungenundmedizinischunerklärbaresymptomeinderprimärer
205. Haller,H.,Cramer,H.,Lauche,R.,Gass,F.、およびDobos,GJ、閾値以下の全般性不安障害の有病率と負担：系統的レビュー。BMC Psychiatry、2014年 14 (1) :p. 128。
206. Haller,H.,Winkler,MM,Klose,P.,Dobos,G.,Kue mmel,S.,and Cramer,H.、乳がんの女性に対するマインドフルネスベースの介入：最新の系統的レビューとメタ-分析。Acta Oncologica,2017年 56 (12) : p. 1665-1676。
207. Harnett,J. およびRickwood,C.、概念モデル-老化に対する態度に対する補完的な薬の使用の影響を調査します。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2016年 28 (1) :p. 12-4。
208. Harvey,C.,Schofield,GM, およびWilliden,M.、ケトosisを誘発し、ケト誘発に関連する症状を軽減するための栄養補助食品の使用：物語のレビュー。PeerJ,2018年 6 :p. e4488。
209. Hawrelak,J.、ジアルジア症：病態生理学と管理。(ジアルジア症)。代替医療レビュー,2003年。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- 8 (2) :p. 129-43.
210. Hawrelak,J. およびWhitten,D.、部分的に加水分解されたグアーガムは過敏性腸症候群の治療に果たす役割がありますか：系統的レビュー。Journal of Clinical Gastroenterology,2016年 50 : p. S200-S200。
211. Hawrelak,JA およびMyers,SP、腸内毒素症の原因：レビュー。代替医療レビュー、2004年 9 (2) :p. 180-97。
212. Hawrelak,JA,Whitten,DL、およびMyers,SPは、抗生物質関連下痢の発症を予防するのに効果的なLac tobacillus rhamnosus GGです：系統的レビュー。Digestion,2005年 72 (1) :p. 51-6。
213. Hayes,J.,Dowling,JJ,Peliowski,A.,Crawford,MW,and Johnston,B.、患者管理鎮痛と小児の術後疼痛に対するバックグラウンドオピオイド注：系統的レビューと無作為化のメタアナリシス試行。麻酔と鎮痛、2016年 123 (4) :p. 991-1003。
214. Helgason,C. およびSarris,J.、統合失調症および精神病性障害に対する心身医学：エビデンスのレビュー。臨床統合失調症および関連する精神病、2013年 7 (3) :p. 138-148。
215. Hendriks,T.,de Jong,J.、およびCramer,H.、健康な成人のポジティブなメンタルヘルスに対するヨガの効果：体系的なレビューとメタ分析。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2017年 23 (7) : p. 505-17。
216. ハーマン、首相、補完的かつ統合的な医学の経済学を評価する。健康と医学の世界的進歩、2013年 2 (2) :p. 56-63。
217. Herman,PM およびCoulter,ID、専門家パネルおよび文献分析を使用した補完代替医療専門職の医療政策の展望のマッピング。Journal of Manipulative and Physiological Therapeutics,2016年 39 (7) :p. 500~509。
218. Herman,PM,Craig,BM、およびCaspi,O.、補完代替医療 (CAM)は費用効果が高いですか？系統的レビュー。BMC補完代替医療、2005年 5 (1) : p. 11.11。
219. Herman,PM,D'Huyvetter,K.、およびMohler,MJ、医療サービスの調査方法はCAMに適合していますか？健康と医学におけるネイティブ療法の変更、2006年 12 (3) :p. 78。
220. Herman,PM,Poindexter,BL,Witt,CM、およびEisen berg,DM、補完療法と統合治療は費用効果が高いですか？経済評価の系統的レビュー。BMJオープン、2012年 2 (5) :p. e001046。
221. Hill,J. およびHodsdon,W.、子宮内曝露および乳がんの発生：エビデンスに基づく視点。Journal of Environmental Pathology,Toxicology and Oncology,2014年 33 (3) :p. 239-45。
222. Hill,J.,Mills,C.,Li,Q.、およびSmith,JS、低所得国および低中所得国における癌患者による伝統的、補完的、および代替医療の使用の普及。グローバル公衆衛生、2019年 14 (3) :p. 418-30。
223. Hill,S.,Bensoussan,A.,Myers,SP,Condron,J.、およびWu,S.、自然療法と西洋薬草医学の実践と規制要件。リスク管理とヘルスケアポリシー、2006年 2 :p. 21-33。
224. Hohmann,C.-D.,Cramer,H.,Michalsen,A.,Kessler,C.,Steckhan,N.、Choi,K.,and Dobos,G.、心血管リスクに対する高フェノールオリブオイルの影響要因：系統的レビューとメタ分析。Phytomedicine,2015年 22 (6) :p. 631-40。
225. Holger,C.,Romy,L.,Heidemarie,H.,Jost,L.,and Gustav,D.、腰痛におけるヨガとマインドフルネスに基づくストレス低減の有効性-メタアナリシスによる系統的レビュー。European Journal of Integrative Medicine、2012年 4 :p. 26。
226. Holger,C.,Romy,L.,Jost,L.、およびGustav,D.、乳がん手術における術前催眠の有効性-系統的レビューとメタアナリシス。European Journal of Integrative Medicine,2012年 4 :p. 127。
227. Horsley,T.,Lockyer,J.,Cogo,E.,Zeiter,J.,Burse,F.、およびCampbell,C.、医師の能力と実践への適合性を検証するための全国プログラム：スコアレビュー。BMJオープン、2016年 6 (4) :p. e010368。
228. Huang,H.,Grant,JA,Miller,BS,Mirza,FM、およびGagnier,JJ、回旋腱板疾患の患者に使用するための患者報告アウトカム機器の心理測定特性の系統的レビュー。American Journal of Sports Medicine,2015年 43 (10) : p. 2572-82。
229. Hunter,J.,Leach,M.,Braun,L.、およびBensoussan,A.、臨床ガイドラインの開発と伝統的および補完的医療の分野におけるそれらの適用に関するコンセンサスステートメントの解釈的レビュー。BMC補完代替医療、2017年 17 (1) :p. 116。
230. James,PB,Wardle,J.,Steel,A.、およびAdams,J.、サハラ以南のアフリカにおける伝統的、補完的、代替医療の使用：系統的レビュー。BMJグローバルヘルス、2018年 3 (5) :p. e000895。
231. Jia,Y.,Huang,H.、およびGagnier,JJ、足または足首の疾患の患者に使用するための、患者から報告された結果測定の測定特性の系統的レビュー。生活の質の研究、2017年 26 (8) :p. 1969-2010。
232. Johnston,BC,da Costa,BR,Devereaux,PJ,Akl,EA,Busse,JW、およびGroup,E.-BRW、腰痛に対する脊椎マニピュレーションと鍼治療を評価するための専門知識に基づくランダム化比較試験の使用：体系的なレビュー。Spine、2008年 33 (8) :p. 914-918。
233. プリティッシュコロンビア州ジョンストン、ゴールデンバーグ、JZ、ヴァンドビック PO、サス X。、およびガイアット、GH、小児抗生物質関連下痢の予防のためのプロバイオティクス。コ克蘭データ システマティックレビューのベース、2011年 11 (12) :p. 1-62。
234. Johnston,BC,Kanters,S.,Bandayrel,K.,Wu,P.,Naji,F.,Siemieniuk,RA, Ball,GD,Busse,JW,Thorlund,K.,and Guyatt,G.、比較太りすぎおよび肥満の成人における名前付きダイエットプログラムの減量の割合：メタアナリシス。JAMA,2014年 312 (9) :p. 923-933。
235. Johnston,BC,Lylyyn,L.,Lo,CK-F.、Allen,SJ,Wang,D.,Szajewska,H., Miller,M.,Ehrhardt,S.,Sampalis,J.,Duman,DG, Pozzoni,P.,Colli,A., Lonnermark,E.,Selinger,CP,Wong,S.,Plummer,S.,Hickson,M., Pancheva,R.,Hirsch,S.,Klarin,B.、Goldenberg,J.,Wang,L., Mbuagbaw,L.,Foster,G.,Maw,A.,Sadeghirad,B.,Thabane,L.,and Mertz,D.、

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- 成人と子供におけるクロストリジウム・ディフィシル感染の予防のための微生物製剤（プロバイオティクス）：6,851人の参加者の個々の患者データのメタ分析。
感染管理と病院疫学,2018年, 39 (7) :p. 771-81。
236. Johnston,BC, Ma,SS, Goldenberg, JZ, Thorlund, K., Vandvik, PO, Loeb, M., and Guyatt, GH, クロストリジウムディフィシル関連下痢の予防のためのプロバイオティクス：系統的レビューとメタ分析。
内科の年報,2012年, 157 (12) :p. 878-888。
237. Johnston,BC, Miller, PA, Agarwal, A., Mulla, S., Khokhar, R., De Oliveira, K., Hitchcock, CL, Sade ghira, B., Mohiuddin, M., and Sekercioglu, N. , 希少疾患における患者報告の結果の最小限の重要な違いに関連する限定された応答性。 Journal of Clinical Epidemiology, 2016年, 79 : p. 10-21。
238. プリティッシュコロンビア州ジョンストン, パトリック, DL, ブッセ JW, シュネ マン HJ, アガルワル, A. , ガイアット, GH, 患者報告はメタアナリシスで提供されます-パート1：バイアスのリスクの評価と結果の組み合わせ。健康と生活の質が出てくる,2013年, 11 (1) :p. 109。
239. Johnston,BC, Patrick, DL, Thorlund, K., Busse, JW, da Costa, BR, Schünemann, HJ, and Guyatt, GH, メタアナリシスにおける患者報告の結果-パート2：解釈可能性を改善する方法決定を下す人。健康と生活の質の結果, 2013年, 11 (1) :p. 211。
240. Johnston,BC, Shamseer, L., da Costa, BR, Tsuyuki, RT, およびVohra, S. , 小児急性下痢性疾患の試験における測定の問題：系統的レビュー。 Pediatrics, 2010年, 126 (1) :p. e222-231。
241. Johnston,BC, Supina, AL, Ospina, M. , およびVohra, S. , 小児抗生物質関連下痢の予防のためのプロバイオティクス。 システマティックレビュー のコクランデータベース, 2008年, 2 (2) 。
242. Johnston,BC, Supina, AL, およびVohra, S. , 小児抗生物質関連下痢のプロバイオティクス：無作為化プラセボ対照試験のメタアナリシス。 カナディアンメディカルアソシエーションジャーナル, 2006年, 175 (4) :p. 377-383 。
243. ジョンストン, BC, ソーランド, K. , ダコスタ, BR, フルカワ, TA, およびガイアット, GH, 新しい方法は、継続的な結果測定のメタ分析における最小の重要な差異単位の使用を拡張できます。 Journal of Clinical Epidemiology, 2012年, 65 (8) :p. 817-826。
244. Johnston,BC, Wu, P. , およびMills, E. , 小児科診療におけるハーブと薬物の相互作用の意味：ファーマコキネティック試験の概要。小児科および青年期のアーカイブ 医学, 2005年, 159 (7) :p. 692。
245. Joyce, P., Wardle, J. , およびZaslowski, C. , 医学教育における補完代替医療（CAM）に対する医学生の態度：批評的レビュー。 Journal of Complementary and Integrative Medicine, 2016年, 13 (4) :p. 333-345。
246. Kanji, S., Seely, D., Yazdi, F., Tetzlaff, J., Singh, K., Tsertsvadze, A., Tricco, AC, Sears, ME, Ooi, TC, and Turek, MA, Interactions一般的に使用される栄養補助食品と心血管薬の比較：系統的レビュー。
システマティックレビュー, 2012年, 1 (1) :p. 26。
247. Kasenda, B., Schandelmaier, S., Sun, X., Von Elm, E., You, J., Blümle, A. , Tomonaga, Y., Saccilotto, R., Amstutz, A., Bengough, T., Meerpohl, JJ, Stegert, M., Olu, KK, Tikkinen, KA, Neumann, I., Carrasco-Labra, A., Faulhaber, M., Mulla, SM, Mertz, D., Akl, EA , Bassler, D., Busse, JW, Ferreira-González, I., Iamontagne, F., Nordmann, A., Gloy, V., Raatz, H., Moja, L., Rosenthal, R., Ebrahim, S., Vandvik, PO, Johnston, BC, Walter, MA, Burnand, B., Schwenkgenks, M., Hemkens, LG, Bucher, HC, Guyatt, GH, およびBriel, M. , ランダム化比較試験のサブグループ分析：試験プロトコルとジャーナル出版物に関するコホート研究。
BMJ, 2014年, 349 : p. g4539。
248. Kasenda, B., Von Elm, E., You, J., Blümle, A. , Tomonaga, Y., Saccilotto, R., Amstutz, A., Bengough, T., Meerpohl, JJ, Stegert, M. , およびプリティッシュコロンビア州ジョンストン, 有病率, 特徴, および中止されたランダム化試験の発表。 JAMA, 2014年, 311 (10) :p. 1045-1052。
249. Kasenda, B., von Elm, E., You, JJ, Blümle, A. , Tomonaga, Y., Saccilotto, R., Amstutz, A., Bengough, T., Meerpohl, JJ, Stegert, M. , Olu, KK, Tikkinen, KA, Neumann, I., Carrasco-Labra, A., Faulhaber, M., Mulla, SM, Mertz, D., Akl, EA, Bassler, D., Busse, JW, Ferreira- González, I. , lamontagne, F., Nordmann, A., Gloy, V., Raatz, H., Moja, L., Ebrahim, S., Schandelmaier, S., Sun, X., Vandvik, PO, プリティッシュコロンビア州ジョンストン, マサチューセッツ州ウォルター, バーナードB., シュウェン クレンクスM., ヘムケンスLG, ブッチャーHC, ガイアットGH, プリエルM. ランダム化臨床試験のプロトコルと出版物。 PLoS医学, 2016年, 13 (6) : p. e1002046。
250. Katz, DL, Doughty, K. , およびAli, A. , 人間の健康と病気におけるココアとチョコレート。酸化防止剤とレドックスシグナリング, 2011年, 15 (10) : p. 2779-2811。
251. Katz, DL, Williams, A.-I., Girard, C. , およびGoodman, J. , 補完代替医療のエビデンスベース：CAMへの適用を伴うエビデンスマッピングの方法。健康と医学における代替療法, 2003年, 9 (4) :p. 22。
252. Kennedy, D. およびKeaton, D. , ヒマシ油の局所塗布の証拠：系統的レビュー。 International Journal of Naturopathic Medicine, 2012年, 5 (1) 。
253. Kennedy, D., Woodland, C. , およびKoren, G. , 鉛曝露, 妊娠性高血圧および子癇前症：原因と結果の体系的なレビュー。 Journal of Obstetrics and Gynaecology, 2012年, 32 (6) :p. 512-517。
254. Kennedy, DA, Cooley, K., Skidmore, B., Fritz, H., Campbell, T., and Seely, D., Vitamin D：癌患者に使用される医薬品と組み合わせて使用した場合の薬物動態と安全性：系統的レビュー。 Cancers, 2013, 5 (1) : p. 255-280。
255. Kennedy, DA, Hart, J. , およびSeely, D. , 自然健康製品の費用効果：ランダム化された臨床試験の系統的レビュー。証拠に基づく補完代替医療, 2009年, 6 (3) :p. 297-304。
256. ケネディ, DA, リー, T. , およびシーリー, D. , 比較

- 乳がん検診技術としてのサーモグラフィーのレビュー。統合的癌治療 2009年 8 (1) :p. 9-16。
257. ケネディ、DAおよびシーリー、D。、薬物とハーブの相互作用の臨床ベースの証拠：系統的レビュー。医薬品安全性に関する専門家の意見、2010年 9 (1) :p. 79-124。
258. ケネディ、DA、スターン、SJ、マトク、I。、モレッティ、ME、サーカー、M。、アダムス-ウェバー、T。、およびコーレン、G。、葉酸摂取 MTHFR多型、および結腸直腸癌のリスク：系統的レビューとメタ分析。Journal of Cancer Epidemiology、2012年 2012年。
259. ケネディ、DA、スターン、SJ、モレッティ、M。、マトク、I。、サーカー、M。、ニックル、C。、およびコーレン、G。、葉酸摂取と結腸直腸癌のリスク：系統的レビューとメタ分析。がん疫学、2011年 35 (1) :p. 2-10。
260. Kessler,CS,Pinders,L.,Michalsen,A。、およびCramer,H。、変形性関節症に対するアーユルヴェーダ介入：系統的レビューとメタアナリシス。リウマチインターナショナル、2015年 35 (2) :p. 211-32。
261. Khan,R.,Plahouras,J.,Johnston,BC,Scaffidi,MA,Grover,SC、およびWalsh,CM、胃腸内視鏡検査の医療専門家研修生向けのバーチャルリアリティシミュレーショントレーニング。システムティックレビューのコクランデータベース、2018 (8)。
262. Klimant,E.,Wright,H.,Rubin,D.,Seely,D.,and Markman,M。、癌患者の支持療法における静脈内ビタミンC：レビューと合理的なアプローチ。現在の腫瘍学、2018年 25 (2) :p. 139-48。
263. Klose,P.,Kraft,K.,Cramer,H.,Lauche,R.,Dobos,G。、およびLanghorst,J。、ドイツの医療AWMFS3ガイドラインにおける植物療法-体系的な概要。Forschende Komplementarmedizin (2006) 、2014年 21 (6) :p. 388-400。
264. Koch,AK,Klose,P.,Lauche,R.,Cramer,H.,Baasch,J.,Dobos,GJ、and Langhorst,J。、急性副鼻腔炎の植物療法の系統的レビュー。補完医学研究、2016年 23 (3) :p. 165-9。
265. Kumar,S.,Nagendra,H.,Manjunath,N.,Naveen,K.,and Telles,S。、Meditation on OM：古代のテキストと現代科学からの関連性。International Journal of Yoga、2010年 3 (1) :p. 2.2。
266. Lafferty,WE,Downey,L.,McCarty,RL,Standish,LJ、およびPatrick,DL、終末期のCAM治療の評価：マッサージと瞑想の臨床試験のレビュー。医学における補完療法、2006年 14 (2) :p. 100-12。
267. Lai,J。およびGagnier,JJ、回旋腱板疾患のリスクに対する脂質障害の影響：系統的レビューおよびメタ分析。Journal of Bone and Joint Surgery Open Access、2018。印刷中：p. e0018。
268. Lamson,DWおよびBrignall,M。、癌治療における抗酸化剤;それらの作用と腫瘍学的治療法との相互作用。代替医療レビュー、1999年 4 : p. 304-29。
269. Lamson,DWおよびBrignall,MS、抗酸化剤および癌、パートIII：ケルセチン。代替医療レビュー、2000年 5 (3) :p. 196-208。
270. Lamson,DWおよびBrignall,MS、癌の予防における天然薬剤、パート2：前臨床データおよび一般的な癌の化学予防。代替医療レビュー、2001年 6 (2) :p. 167。
271. Lamson,DWおよびBrignall,MS、癌の予防における天然薬剤、パート1：ヒトの化学的予防試験。代替医療レビュー、2001年 6 (1) :p. 7-19。
272. Lamson,DWおよびPlaza,SM、高用量クロムの安全性と有効性。代替医療レビュー、2002年 7 (3) :p. 218-35。
273. 糖尿病の病因におけるLamson,DWおよびPlaza,SM、ミトコンドリア因子：治療の仮説。代替医療レビュー、2002年 7 (2) :p. 94-111。
274. Lamson,DWおよびPlaza,SM、ビタミンKの抗癌効果。AlternativeMedicineReview、2003年 8 (3) :p. 303-18。
275. Langhorst,J.,Lauche,R.,Rasch,M.,Cramer,H.,Klose,P。、およびDobos,GJ、肝炎における補完代替医療のメタアナリシスによる系統的レビュー。統合医学研究、2015年 4 (1) :p. 128。
276. Langhorst,J.,Wulfert,H.,Lauche,R.,Klose,P.,Cramer,H.,Dobos,G。、およびKorzenik,J。、炎症性腸における補完代替医療の系統的レビュー病気。Journal of Crohn's and Colitis、2014、9 (1) : p. 86-106。
277. LaPorte,E.,Sarris,J.,Stough,C。、およびScholey,A。、カバ (Piper methysticum)のニューロ認知効果：系統的レビュー。人間の精神薬理学：臨床および実験、2011年 26 (2) :p. 102-11。
278. Lau,CH,Wu,X.,Chung,VC,Liu,X.,Hui,EP,Cramer,H.,Lauche,R.,Wong,SY,Lau,AY,and Sit,RS、Acupuncture and related緩和的がん治療における症状管理のための治療法：系統的レビューとメタアナリシス。医学、2016年 95 (9) :p. 1-13。
279. Lauche,R.,Cramer,H.,Dobos,G.,Langhorst,J。、およびSchmidt,S。、線維筋痛症候群に対するマインドフルネスベースのストレス軽減の系統的レビューとメタ分析。Journal of Psychosomatic Research、2013年 75 (6) :p. 500-10。
280. Lauche,R.,Cramer,H.,Häuser,W.,Dobos,G。、およびLanghorst,J。、線維筋痛症候群に対する気功の系統的レビューとメタアナリシス。証拠に基づく補完代替医療、2013年 2013年。
281. Lauche,R.,Cramer,H.,Häuser,W.,Dobos,G。、およびLanghorst,J。、線維筋痛症候群の治療における補完代替療法のレビューの体系的な概要。証拠に基づく補完代替医療、2015年 2015年。
282. Lauche,R.,Cramer,H.,Langhorst,J。、およびDobos,G。、変形性膝関節症の医療ヒル療法の系統的レビューとメタ分析。痛みの臨床ジャーナル、2014年 30 (1) :p. 63-72。
283. Lauche,R.,Langhorst,J.,Dobos,G。、およびCramer,H。、膝の骨関節炎に対する太極拳の系統的レビューとメタアナリシス。医学における補完療法、2013年 21 (4) :p. 396-406。
284. Lauche,R.,Langhorst,J.,Lee,MS,Dobos,G。、およびCramer,H。、体重関連の結果に対するヨガの効果に関する系統的レビューとメタアナリシス。予防医学 2016年 87 : p. 213-32。

285. Lauche,R.,Peng,W.,Ferguson,C.,Cramer,H.,Frawley,J.,Adams,J.,and Sibbritt,D.、脳卒中の予防のための太極拳と気功の有効性脳卒中の危険因子：メタアナリシスによる系統的レビュー。医学、2017年。96 (45) :p. 1-13。
286. Le,TQ,Smith,L.、およびHarnett,J.、系統的レビュー-癌とともに生きる人々による生物学に基づいた補完的な薬の使用-は、薬剤師にとってより明確に定義された役割が必要ですか？社会的および行政的ファーマシーの研究、2016年 13 (6) :p. 1037-44。
287. Leach,M.およびKumar,S.、糖尿病のシナモン。システマティックレビューのコクランデータベース、2012 (2) :p. 1-16。
288. リーチ, MJ、保健師、開業医の態度と自然医学の実践。2004年の看護と助産における補完的治療法。10 (1) :p. 13-21。
289. リーチ, MJ、創傷管理における自然療法の批評的レビュー。オストミー/創傷管理、2004年 50 (2) :p. 36-40、42、44-6パッシム。
290. リーチ, MJ、静脈性下腿潰瘍の議論を理解する：文献レビュー。Journal of Wound Care、2004年 13 (2) :p. 52-56。
291. リーチ, MJ、糖尿病のギムネマシルベートル：系統的レビュー。Journal of Alternative & Complementary Medicine、2007。13 (9) :p. 977-983。
292. リーチ, MJ、カレンデュラ・オフィシナリスおよび創傷治療：系統的レビュー。傷、2008年 20 (8) :p. 236-43。
293. Leach,MJおよびKumar,S.、変形性関節症の成人におけるショウガ (*Zingiber officinale*)の臨床的有効性。International Journal of Evidence-Based Healthcare、2008。6 (3) :p. 311-20。
294. 更年期症状のためのリーチ,MJおよびムーア,V.、ブラックコホシュ (*Cimicifuga spp.*)。システマティックレビューのコクランデータベース、2012 (3) :p. 1-12。
295. リーチ, MJおよびページ,AT、不眠症のための漢方薬：系統的レビューおよびメタ分析。睡眠医学レビュー、2015年 24 : p. 1-12。
296. Leach,MJおよびSegal,L.、臨床実践ガイドライン (CPG)は、医療サービスおよび医療従事者の計画に役立ちますか？糖尿病CPGの批評。糖尿病治療薬、2010年 27 (5) :p. 570-7。
297. Leach,MJおよびThoms,L.、歯肉炎に対する局所ハーブ介入。システマティックレビューのコクランデータベース、2013 (6) :p. 1-7。
298. Lee,H.,Peng,W.,Steel,A.,Reid,R.,Sibbritt,D.、およびAdams,J.、実践ベースの研究ネットワークにおける補完代替医療研究：批評的レビュー。医学における補完療法、2019年 43 : p. 7-19。
299. Lee,T.およびDugoua,J.-J.、栄養補助食品およびそれらのブドウ糖制御への影響。現在の糖尿病レポート、2011年 11 (2) :p. 142-8。
300. Leech,B.,Schloss,J.、およびSteel,A.、腸透過性の増加と疾患との関連：系統的レビュー。統合医療の進歩、2018年。印刷中。
301. 炎症の調節因子としてのレシヤイド,DW、プロバイオティクス：レビュー。健康と病気の機能性食品、2014年 4 (7) :p. 299-311。
302. レシヤイド, DWおよびジョンストン,BC、前立腺癌治療における緑茶ポリフェノール。エビデンスに基づく統合医療、2004年 1 (2) :p. 113-21。
303. Leung,BMおよびKaplan,BJ、周産期のうつ病：蔓延、リスク、および栄養の関連-文献のレビュー。Journal of the American Dietetic Association、2009年 109 (9) :p. 1566-75。
304. Leung,BM,Wiens,KP、およびKaplan,BJ、出生前の微量栄養素の補給は子供の精神発達を改善しますか？系統的レビュー。BMCの妊娠と出産、2011年 11 (1) :p. 1-12。
305. Li,J.,Zhu,J.,Hu,H.,Harnett,JE,Lei,Ci,Chau,KY,Chan,G.、およびUng,COL、伝統的/補完的な医薬品の国際化：市場参入薬。漢方薬、2018年 13 (1) :p. 50,1-15。
306. ローガン, AC、オメガ3脂肪酸の神経行動学的側面：大うつ病における考えられるメカニズムと治療的価値。代替医療レビュー、2003年 8 (4) : p. 410-25。
307. ローガン, AC、オメガ3脂肪酸、および大うつ病：メンタルヘルス専門家のための入門書。健康と病気の脂質、2004年 3 (1) :p. 25。
308. ローガン, AC、異生物ドリフト：メンタルヘルス、環境灰色空間、および微生物叢。Journal of Physiological Anthropology、2015年 34 (1) :p. 23。
309. ローガン, ACおよびジャッカ, FN、栄養精神医学研究：新たな分野と、地球規模の都市化、環境問題、および進化のミスマッチとの交差点。Journal of Physiological Anthropology、2014年 33 (1) :p. 22。
310. Logan,AC,Jacka, FN,Craig, JM、およびPrescott, SL、マイクロバイオーームとメンタルヘルス：振り返って、アレルギー性疾患からの教訓を前進させます。臨床精神薬理学および神経科学、2016年 14 (2) :p. 131。
311. Logan,AC,Katzman,MA、およびBalanzá-Martínez,V.、自然環境、先祖代々の食事、および微生物生態学：現代の「古欠損障害」はありますか？パートII。Journal of Physiological Anthropology、2015年 34 (1) :p. 9.9。
312. Logan,AC,Prescott,SL,Haahela,T.、およびKatz,DL、惑星の健康パラダイムにおけるエクスポームと適応反応の重要性。Journal of Physiological Anthropology、2018年 37 (1) :p. 15,1-10。
313. Logan,ACおよびWong,C.、慢性疲労症候群：酸化ストレスおよび食事の変更。Alternative Medicine Review、2001年 6 (5) :p. 450-60。
314. Lucas,S.,Leach,M.、およびKumar,S.、小児の急性気道感染症の管理のための補完代替医療の利用：系統的レビュー。医学における補完療法、2018年 37 : p. 158-66。
315. Lyman,GH,Greenlee,H.,Bohlke,K.,Bao,T.,DeMichele,AM,Deng,GE,Fouladbakhsh, JM,Gil,B.,Hershman,DL,and Mansfield,S.、Integrative乳がん治療中および治療後の治療法：ASCOの承認

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- SIO診療ガイドラインのJournal of Clinical Oncology,2018年。印刷中：p。JCO。2018.79。2721。
316. Lytvyn,L.,Mertz,D.,Sadeghirad,B.,Alaklobi,F.,Selva,A.,Alonso-Coello,P.,and Johnston,BC、クロストリジウムディフィシル感染症の予防：診療ガイドライン。感染管理と病院疫学,2016年 37 (8) :p。901-8。
317. Makam,NS,Murthy,KNC,Sultanpur,CM、およびRao,RM、腫瘍阻害剤としての天然分子：展望と展望。Journal of Herbal Medicine,2014年。4 (4) :p。175-87。
318. Mantler,A。およびLogan,AC、自然環境およびメンタルヘルス。統合医療の進歩,2015年 2 (1) :p。5-12。
319. Matovina,C.,Birkeland,AC,Zick,S。、およびShuman,AG、頭頸部がんの統合医療。Otolaryngology –頭頸部外科,2017年 156 (2) :p。228-37。
320. McEwen,B。、心臓代謝性疾患と漢方薬：古い敵への新しい洞察。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2017年 29 (1) :p。18-9。
321. McEwen,B.,Morel-Kopp,M.-C.,Tofler,G。、およびWard,C。、糖尿病の心血管リスクに対するオメガ3魚油の影響。糖尿病教育者,2010年 36 (4) :p。565-84。
322. McEwen,BJ、血小板機能に対する食事と栄養素の影響。血栓症および止血のセミナー,2014年 40 (02) :p。214-26。
323. McEwen,BJ、血小板機能と凝固に対する漢方薬の影響：物語のレビュー。血栓症および止血のセミナー,2015年 41 (03) :p。300-14。
324. McEwen,BJ、「丹参と心血管系：古い治療法の新しい進歩」についてのコメント。血栓症および止血のセミナー,2016年 42 (03) :p。323-4。
325. McIntyre,E.,Saliba,AJ,Wiener,KK、およびSarris,J。、不安を経験している成人における薬草使用の有病率と予測因子：文献の批評的レビュー。統合医療の進歩,2015年 2 (1) :p。38-48。
326. Meng,H.,Johnston,B.,Englesakis,M.,Moulin,DE、およびBhatia,A。、慢性神経障害性疼痛に対する選択的カンナビノイド：系統的レビューとメタアナリシス。Anesthesia&Analgesia,2017,125 (5) :p。1638-52。
327. Mills,E.,Cooper,C.,Seely,D。、およびKanfer,I。、HIVの治療におけるアフリカの漢方薬：HypoxisおよびSutherlandia。エビデンスと薬理学の概要。ニュートリションジャーナル,2005年 4 (1) :p。19。
328. Mills,E.,Wu,P.,Gagnier,J.,Heels-Ansdell,D。、およびMontori,VM、CONSORTを支持する一般的な医学雑誌および専門誌の分析では、報告が一貫して実施されていないことがわかりました。Journal of Clinical Epidemiology,2005年 58 (7) :p。662-7。
329. Mills,E.,Wu,P.,Johnston,BC,Gallicano,K.,Clarke,M。、およびGuyatt,G。、自然健康製品と薬物の相互作用：臨床試験の系統的レビュー。治療薬モニタリング,2005年 27 (5) :p。549-57。
330. Mills,E.,Wu,P.,Seely,D.,and Guyatt,G., Melatonin in the Treatment of Cancer：ランダム化比較試験とメタアナリシスの系統的レビュー。松果体ジャーナル Research,2005,39 (4) :p。360-6。
331. Mills,EJ,Seely,D.,Rachlis,B.,Griffith,L.,Wu,P.,Wilson,K.,Ellis,P.,and Wright,JR、癌の臨床試験への参加の障壁：患者から報告された要因のメタアナリシスと系統的レビュー。ランセットオンコロジー,2006年。7 (2) :p。141-8。
332. Mills,EJ,Wu,P.,Gagnier,J。、およびDevereaux,P。、改訂されたCONSORTステートメント以降の主要な医学雑誌におけるランダム化試験報告の質。現代の臨床試験,2005年 26 (4) :p。480-7。
333. Mills,EJ,Wu,P.,Gagnier,J.,and Ebbert,JO、コカイン依存症に対する鍼治療の有効性：系統的レビューとメタアナリシス。ハーモリダクションジャーナル,2005年 2 (1) :p。4.4。
334. Mills,EJ,Wu,P.,Seely,D.,and Guyatt,GH、HIVの母子感染と早期分娩の予防のためのビタミン補給：以下を含むランダム化試験の系統的レビュー –2800人の女性。エイズ研究と治療,2005年 2 (1) :p。4.4。
335. Minhas,G.,Mathur,D.,Ragavendrasamy,B.,Sharma,NK,Paanu,V.,and Anand,A., CNS病態における低酸素症：ミルナベースの神経療法とヨガベースの代替療法の新たな役割。ニューロサイエンスのフロンティア,2017年 11 : p。386。
336. Moher,D.,Weeks,L.,Ocampo,M.,Seely,D.,Sampson,M.,Altman,DG, Schulz,KF,Miller,D.,Simeral,I.,and Grimshaw,J。、健康研究のための報告ガイドラインの説明：系統的レビュー。Journal of Clinical Epidemiology,2011年 64 (7) :p。718-42。
337. Mooventhan,A。、危険因子、疾患の進行、および2型糖尿病の合併症の管理におけるアジュバントとしてのヨガの役割に関する物語のレビュー。糖尿病および代謝症候群：臨床研究およびレビュー,2017年 11 (補足1) :p。S343-6。
338. Mooventhan,A。およびNivethitha,L。、体のさまざまなシステムに対する水治療法の科学的証拠に基づく効果。North American Journal of Medical Sciences,2014年 6 (5) :p。199。
339. Mooventhan,A。およびNivethitha,L。、神経障害におけるヨガのエビデンスに基づく効果。Journal of Clinical Neuroscience,2017年 43 : p。61-7。
340. Mooventhan,A。およびNivethitha,L。、フェヌグリーク (Trigonella foenum-graecum)のエビデンスに基づく抗糖尿病効果に関するナラティブレビュー。International Journal of Nutrition,Pharmacology, Neurological Diseases,2017,7 (4) :p。84。
341. Mooventhan,A。およびNivethitha,L。、高齢者のさまざまな健康関連の問題に対するヨガの実践のエビデンスに基づく効果：レビュー。Journal of Bodywork and Movement Therapies,2017,21 (4) : p。1028-32。
342. Mulla,SM,Maqbool,A.,Sivananthan,L.,Lopes,LC,Schandelmaier,S.,Kamareldin,M.,Hsu,S.,Riva,JJ,Vandvik,PO,Tsoi,L.,Lam,T.,Ebrahim,S.,Johnston,BC,Olivieri,L.,Montoya,L.,Kunz,R.,Scheidecker,A.,Buckley,DN,Sessler,DI,Guyatt,GH、およびBusse,JW、Reporting慢性の非がん性疼痛についてオピオイドを評価する試験の中で、IMMPACT推奨のコアアウトカムドメインの評価。痛み,2015年 156 (9) :p。1615-9。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

343. Murphy,JA,Sarris,J.、およびByrne,GJ、治療抵抗性うつ病に関連する概念化と危険因子のレビュー。うつ病の研究と治療,2017年, 2017年。
344. Myers,SPおよびVigar,V.、閉経期のほてりの治療における80 mgの投与量でのTrifolium pratense (Promensil)の標準化された抽出物の効果：系統的レビューおよびメタ分析。Phytomedicine,2017年, 24 : p。141-7。
345. Myers,SPおよびVigar,V.、システム全体のマルチモダリティ自然療法医学のエビデンスの状態：システムスコーピングレビュー。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2019,25 (2) :p。141-68。
346. Nair,PM、臨床総まとめ：糖尿病の選択された治療オプション：自然療法とヨガ。代替療法と補完療法, 2016年, 22 (5) :p。226-9。
347. Nair,PMおよびKhawale,PG、女性の健康における治療的断食の役割：概要。Journal of Mid-Life Health,2016年, 7 (2) :p。61。
348. ネルソン,DH、パーチャルク, JM、ローガン, AC、およびカツマン、マサチューセッツ州、ホメオパシーの鐘の通行料：北米の自然療法医の訓練と実践における変化の時。Journal of Evidence-Based Integrative Medicine,2019,24 : p。1-11。
349. Oberg,EB,Bradley,R.,Cooley,K.,Fritz,H.,Goldenberg,J.,Seely,D.,SaxtonJD,and Calabrese,C.、システム全体の自然療法の推定効果選択された慢性疾患状態における医学：系統的レビュー。代替および統合医療, 2015年, 4 (2) :p。1-12。
350. Oliver,G.,Dean,O.,Camfield,D.,Blair-West,S.,Ng,C.,Berk,M.,and Sarris,J.、強迫性障害の治療におけるN-アセチルシステインおよび関連する障害：系統的レビュー。臨床精神薬理学および神経科学,2015年, 13 (1) :p。12.12。
351. Oltean,H.およびGagnier,JJ、整形外科手術のランダム化比較試験におけるクラスターリング分析の使用。BMC Medical Research Methodology,2015年, 15 (1) :p。17.17。
352. Oltean,H.,Robbins,C.,van Tulder,MW,Berman,BM,Bombardier,C.、およびGagnier,JJ、腰痛の漢方薬。システムティックレビューのコクランデータベース, 2014 (2) :p。1-31。
353. Orrock,PJおよびMyers,SP、慢性非特異的腰痛へのオステオパシー介入：系統的レビュー。BMC筋骨格障害,2013年, 14 : p。129。
354. Page,MJ,Huang,H.,Verhagen,AP,Gagnier,JJ、およびBuchbinder,R.、肩の障害のランダム化試験における結果報告：コア結果セットの開発を通知するための文献レビュー。関節炎ケア&リサーチ, 2017年, 70 (2) :p。252-9。
355. Palacios,T.,Coulson,S.,Butt,H.、およびVitetta,L.、胃腸内細菌叢および多菌株プロバイオティクス療法：小児および青年期の肥満。統合医療の進歩, 2014年, 1 (1) :p。2-8。
356. Panossian,A.,Wikman,G.、およびSarris,J.、Rosenroot (Rhodiolarosea)：従来の使用法、化学組成、薬理学および臨床効果。Phytomedicine,2010年, 17 (7) :p。481-93。
357. Pase ,MP,Grima,NA,およびSarris,J.、
- 動脈硬化に対する食事と栄養素の介入：系統的レビュー。American Journal of Clinical Nutrition,2010年, 93 (2) :p。446-54。
358. Pase,MP,Grima,NA、およびSarris,J.、長鎖n-3脂肪酸は動脈硬化を軽減しますか？ランダム化比較試験のメタアナリシス。ブリティッシュジャーナルオブニュートリション, 2011年, 106 (7) :p。974-80。
359. Pase,MP,Kean,J.,Sarris,J.,Neale,C.,Scholey,AB、およびStough,C.、Bacopa monnieriの認知増強効果：無作為化対照ヒト臨床試験の系統的レビュー。Journal of Alternative & Complementary Medicine,2012年, 18 (7) :p。647-52。
360. Pelletier,KR,Herman,PM, Metz, RD、およびNelson,CF、統合医療に適用される健康と医療の経済学。探索:The Journal of Science and Healing,2010年, 6 (2) :p。86-99。
361. Perri,D.,Dugoua,J.-J.,Mills,E.、およびKoren,G.、妊娠中および授乳中のエキナセア (Echinacea angustifolia,E.purpurea、およびE.pallida)の安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique、2005年, 13 (3) :p。e262-7。
362. Pizzorno,J.,Frassetto,LA、およびKatzinger,J.、食事療法によって誘発されたアシドーシス：それは現実的で臨床的に関連がありますか？ブリティッシュジャーナルオブニュートリション, 2010年, 103 (8) :p。1185-94。
363. Plahouras,J.,Khan,R.,Johnston,BC,Scaffidi,MA,Grover,SC、およびWalsh,CM、PTH-140胃腸内視鏡検査におけるパーチャルリアリティシミュレーショントレーニング：コクランの体系的なレビュー。腸, 2018年, 67 (補足1)。
364. 骨代謝および骨粗鬆症におけるプラザ、SMおよびラムソン、DW、ビタミンK2。代替医療レビュー,2005年, 10 (1) :p。24-36。
365. Pompili,M.,Longo,L.,Dominici,G.,Serafini,G.,Lamis,DA,Sarris,J.,Amore,M.,and Girardi,P.、ポリ不飽和脂肪酸と自殺リスク気分障害：系統的レビュー。神経精神薬理学および生物学的精神医学の進歩,2017年, 74 : p。43-56。
366. Posadzki,P.,Cramer,H.,Kuzdzal,A.,Lee,MS、およびErnst,E.、高血圧のヨガ：無作為化臨床試験の系統的レビュー。医学における補完療法、2014年, 22 (3) :p。511-22。
367. Prescott,SL,Larcombe,D.-L.,Logan,AC,West,C.,Burks,W.,Caraballo,L.,Levin,M.,Van Etten,E.,Horwitz,P.、およびKozyrskyj,A.、皮膚マイクロバイオーム：皮膚生態学、バリアの完全性、および全身性免疫プログラミングに対する現代の環境の影響。世界アレルギー機構ジャーナル, 2017年, 10 (1) :p。29,1-16。
368. Prescott,SL,Millstein,RA,Katzman,MA、およびLogan,AC、生物多様性、ヒトマイクロバイオームおよびメンタルヘルス：21世紀の新しい臨床生態学に向けて動きませんか？International Journal of Biodiversity、2016年, 2016年 : p。1-18。
369. Prousky,J.、吸入（噴霧またはエアロゾル化）グルタチオンによる肺疾患および呼吸器関連状態の治療。証拠に基づく補完代替医療,2008年, 5 (1) :p。27-35。
370. Prousky,J.,Millman,CG,およびKirkland,JB、

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

- ニコチン酸の薬理学的使用。 *Journal of Evidence-Based Complementary & Alternative Medicine*, 2011, 16 (2) :p. 91-101。
371. Prousky, J. および Seely, D.、 静脈内および経口ニコチン酸 (ニコチン酸) による片頭痛および緊張型頭痛の治療：文献の系統的レビュー。 *ニュートリションジャーナル*, 2005年 4 (1) :p. 3,3。
372. Prousky, J.E.、 覚醒剤への早期の曝露は、後で物質使用障害を引き起こしますか？倫理的な人間の心理学と精神医学, 2015年 17 (1) :p. 22-32。
373. Prousky, J.E.、 不確実性の不寛容：社交不安障害の病因に関連する認知の脆弱性。倫理的な人間の心理学と精神医学, 2015年 17 (3) :p. 159-65。
374. Raghavendra, M.R., Ram, A., Vinutha, H., Vaish naruby, S., Deepashree, S., Megha, M., Geetha, R. and Ajaikumar, B.、 癌患者におけるヨガの役割：期待、利益、およびリスク。レビュー。 *Indian Journal of Palliative Care*, 2017年 23 (3) :p. 225。
375. Reid, R., Steel, A., Wardle, J.、 および Adams, J.、 子宮内膿症、月経過多、および月経過多の管理のためのナチュロパシーの医学：内容分析。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*, 2019, 25 (2) :p. 202-26。
376. Reid, R., Steel, A., Wardle, J., Trubody, A.、 および Adams, J.、 オーストラリアの人口による補完的な医学の使用：利用、認識、および関連する要因の系統的レビューの重要な混合研究を使用して。 *BMC補完代替医療*, 2016年。16 (1) :p. 176。
377. Romy, L., Holger, C., Jost, L.、 および Gustav, D.、 変形性膝関節症における薬用ヒル療法の有効性-系統的レビューとメタ分析。 *European Journal of Integrative Medicine*, 2012 (4) :p. 26。
378. Romy, L., Jost, L., Gustav, D.、 および Holger, C.、 変形性膝関節症の極端な-系統的レビューとメタアナリシス。 *European Journal of Integrative Medicine*, 2012年 4 :p. 136。
379. Rosenthal, R., Kasenda, B., Dell-Kuster, S., Von Elm, E., You, J., Blümle, A., Tomonaga, Y., Saccilotto, R., Amstutz, A.、 Bengough, T.、 および Johnston, B.C.、 手術におけるランダム化比較試験の完了率と公表率：経験的研究。 *外科の年報*, 2015年 262 (1) :p. 68-73。
380. Sadeghirad, B., Duhane, T., Motaghipisheh, S., Campbell, N.、 および Johnston, B.、 子供の食事摂取量と嗜好に対する不健康な食品および飲料のマーケティングの影響：系統的レビューとメタランダム化試験の分析。 *肥満レビュー*, 2016年 17 (10) :p. 945-59。
381. Sadeghirad, B., Morgan, R.L., Zeraatkar, D., Zea, A.M., Couban, R., Johnston, B.C.、 および Florez, I.D.、 壊死性腸炎の予防のためのヒトおよびウシの初乳：メタアナリシス。 *小児科*, 2018年 142 (2) :p. e20180767。
382. サドロ、 AE および ラムソン、 DW、 ユーカリ油および単純な吸入装置の免疫調節および抗菌効果。 *代替医療レビュー*, 2010年 15 (1) :p. 33-43。
383. Saha, S., Freeman, M., Toure, J., Tippens, K.M., Weeks, C., and Ibrahim, S.、 VAヘルスケアシステムにおける人種および民族的格差：系統的レビュー。 *Journal of General Internal Medicine*, 2008, 23 (5) :p. 654-71。
384. Saltzman, E.T., Palacios, T., Thomsen, M.、 および Vitetta, L.、 腸内微生物叢の変化、腸内毒素症、炎症、および非アルコール性脂肪肝疾患。 *微生物学のアプローチ*, 2018年 9 :p. 61。
385. Saltzman, E.T., Thomsen, M., Hall, S.、 および Vitetta, L.、 *Pernacaniculus* および腸内微生物叢。 *マリンドラッグ*, 2017年 15 (7) :p. 207。
386. Sampson, M., McGowan, J., Tetzlaff, J., Cogo, E.、 および Moher, D.、 システマティックレビューの検索レポート方法に関するコンセンサスはありません。 *Journal of Clinical Epidemiology*, 2008年 61 (8) :p. 748-54。
387. Sanders, K., Moran, Z., Shi, Z., Paul, R., and Greenlee, H.、 Natural products for cancer prevention : Clinical update 2016. *Seminars in Oncology Nursing*, 2016, 32 (3) :p. 215-40。
388. Saoji, A., Raghavendra, B.、 および Manjunath, N.、 ヨガによる呼吸調節の効果：科学的証拠の物語的レビュー。 *Journal of Ayurveda and Integrative Medicine*, 2018, in press : p. 1-9。
389. Sarris, J.、 精神障害の治療における漢方薬：系統的レビュー。 *Phytotherapy Research*, 2007年 21 (8) :p. 703-16。
390. Sarris, J.、 臨床的うつ病：エビデンスに基づく統合的補完的医療治療モデル。 *健康と医学における代替療法*, 2011年 17 (4) :p. 26。
391. Sarris, J.、 精神障害の治療のためのセントジョンズワート。 *北米の精神科クリニック*, 2013年 36 (1) :p. 65-72。
392. Sarris, J. および Byrne, G.J.、 不眠症および補完医学の系統的レビュー。 *睡眠医学レビュー*, 2011年 15 (2) :p. 99-106。
393. Sarris, J., Camfield, D.、 および Berk, M.、 強迫性障害 (OCD) および OCD スペクトルに対する補完医学、自助、およびライフスタイル介入：体系的なレビュー。 *Journal of Affective Disorders*, 2012年 138 (3) :p. 213-21。
394. Sarris, J. および Kavanagh, D.J.、 Kava および St. John's Wort：気分障害および不安障害での使用に関する現在の証拠。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*, 2009年 15 (8) :p. 827-36。
395. Sarris, J., Kavanagh, D.J.、 および Byrne, G.、 抗うつ薬、気分安定薬、およびベンゾジアゼピンによる栄養およびハーブ薬の補助的使用。 *Journal of Psychiatric Research*, 2010年 44 (1) :p. 32-41。
396. Sarris, J., Kean, J., Schweitzer, I.、 および Lake, J.、 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の治療における補完薬 (ハーブおよび栄養製品)：証拠の系統的レビュー。 *医学における補完的治療法*, 2011年 19 (4) :p. 216-27。
397. Sarris, J., Lake, J.、 および Hoenders, R.、 双極性障害と補完医学：現在の証拠、安全性の問題、および臨床的考察。 *Journal of Alternative & Complementary Medicine*, 2011年 17 (10) :p. 881-90。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

398. Sarris,J.,LaPorte,E.,およびSchweitzer,I., Kava :有効性,安全性,および精神薬理学の包括的なレビュー。オーストラリアとニュージーランドの精神医学ジャーナル,2011年,45 (1) : p。27-35。
399. Sarris,J.,McIntyre,E.,およびCamfield,DA, 不安障害のための植物ベースの医薬品,パート2 : 前臨床の証拠を裏付ける臨床研究のレビュー。CNS ドラッグ,2013年,27 (4) :p。301-19。
400. Sarris,J.,McIntyre,E.,およびCamfield,DA, 不安障害のための植物ベースの医薬品,パート1,CNS医薬品,2013年,27 (3) :p。207-19。
401. Sarris,J.,Mischoulon,D.,およびSchweitzer,I., 双極性障害における標準的な薬物療法を伴う補助栄養補助食品 : 臨床試験の系統的レビュー。双極性障害の注文,2011年,13 (5-6) :p。454-65。
402. Sarris,J.,Mischoulon,D.,およびSchweitzer,I., 双極性障害のオメガ3 : 躁病および双極性うつ病での使用のメタ分析。Journal of Clinical Psychiatry,2012年,73 (1) :p。81-6。
403. Sarris,J.,Moylan,S.,Camfield,DA,Pase,M.,Mischoulon,D.,Berk,M.,Jacka,F.,and Schweitzer,I., 補充医学,運動,瞑想,不安障害のための食事療法,およびライフスタイルの変更 : 現在の証拠のレビュー。エビデンスに基づく補完的および代替的医療,2012年,2012年 : p。1-20。
404. Sarris,J.,Murphy,J.,Mischoulon,D.,Papakostas,GI,Fava,M.,Berk,M.,and Ng,CH, うつ病の補助栄養補助食品 : 系統的レビューとメタアナリシス。American Journal of Psychiatry,2016年,173 (6) :p。575-87。
405. Sarris,J.,Ng,CH,and Schweitzer,I., 'Omic'精神医学における漢方薬の遺伝子技術。植物療法研究,2012年,26 (4) :p。522-7。
406. Sarris,J.,Nishi,D.,Xiang,YT,Su,KP,Bannatyne,A.,Oliver,G.,Kua,EH,and Ng,CH, アジアにおける精神医学に焦点を当てたライフスタイル医学プログラムの実施。アジア太平洋精神医学,2015年,7 (4) :p。345-54。
407. Sarris,J.,O'Neil,A.,Coulson,CE,Schweitzer,I.,およびBerk,M., うつ病のライフスタイル医学。BMC Psychiatry,2014年,14 (1) :p。107。
408. Sarris,J.,Panossian,A.,Schweitzer,I.,Stough,C.,およびScholey,A., うつ病,不安神経症,不眠症の漢方薬 : 精神薬理学と臨床的証拠のレビュー。European Neuropsychopharmacology,2011年,21 (12) :p。841-60。
409. Sarris,J.,Schoendorfer,N.,およびKavanagh,DJ, 大うつ病性障害と栄養医学 : 単剤療法と補助療法のレビュー。栄養レビュー,2009年,67 (3) :p。125-31。
410. Savage,K.,Firth,J.,Stough,C.,およびSarris,J., GABA-不安に対するフィトメディシンの調節 : 前臨床および臨床エビデンスの系統的レビュー。Phytotherapy Research,2018年,32 (1) :p。3-18。
411. Schandelmaier,S.,von Elm,E.,You,JJ,Blümle,A.,Tomonaga,Y.,Lamontagne,F.,Saccilotto,R.,Ams tutz,A.,Bengough,T.,Meerpohl,JJ, ジョンストン,BC,および他, クリティカルケアおよび緊急ケアにおけるランダム化試験の早期中止 : 後ろ向きコホート研究。クリティカルケア医学,2016年,44 (1) :p。130-137。
412. Schloss,J.,Brown,D.,およびSteel,A., 薬用缶のナイビスと癌 : 物語の系統的文献レビュー。Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology,2017年,13 : p。221。
413. Schloss,J.,およびColosimo,M., Bビタミン複合体および化学療法誘発性末梢神経障害。Current Oncology Reports,2017年,19 (12) :p。76。
414. Schloss,J.,Colosimo,M.,およびVitetta,L., 化学療法によって誘発された末梢神経障害の潜在的な予防および管理オプションへの新しい洞察。腫瘍学看護のアジア太平洋ジャーナル,2016年,3 (1) :p。73。
415. Schloss,J., Colosimo,M.,およびVitetta,L., 漢方薬および化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN) : 重要な文献レビュー。食品科学と栄養学における批評的レビュー,2017年,57 (6) :p。1107-18。
416. Schloss,JM,Colosimo,M.,Airey,C.,Masci,PP,Lin nane,AW,and Vitetta,L., 栄養補助食品および化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN) : 系統的レビュー。臨床栄養学,2013年,32 (6) :p。888-93。
417. Schloss,JM, Colosimo,M.,およびVitetta,L.,Chemotherapyによって誘発された末梢神経障害の管理。Journal of Clinical Oncology,2016年,34 (3 Suppl) :p。154。
418. Schoenthaler,SJおよびBier,JD, ビタミン-ミネラル摂取量および機能 : 無作為化対照試験のマクロレベル分析。Journal of Alternative & Complementary Medicine,1998,5 (2) :p。125-34。
419. Schumann,D.,Anheyer,D.,Lauche,R.,Dobos,G.,Langhorst,J.,およびCramer,H., 過敏性腸症候群の治療におけるヨガの効果 : 系統的レビュー。臨床消化器病学および肝臓学,2016年,14 (12) :p。1720-31。
420. Schumann,D.,Klose,P.,Lauche,R.,Dobos,G.,Lang horst,J.,and Cramer,H., 低発酵性 オリゴ糖,二糖,単糖,およびポリオールダイエット過敏性腸症候群の治療 : 系統的レビューとメタアナリシス。栄養学,2018年,45 : p。24-31。
421. Seely,D.,Dugoua,J.-J.,Perri,D.,Mills,E.,and Koren,G., 妊娠中および授乳中のオタネニンジンの安全性と有効性。Canadian Journal of Clinical Pharmacology = Journal Canadien de Pharmacologie Clinique,2008年,15 (1) :p。e87-94。
422. Seely,D.,Mills,EJ,Wu,P.,Verma,S.,and Guyatt,GH, 乳がんの発生率と乳がんの再発に対する緑茶摂取の影響 : 系統的レビューとメタアナリシス。統合的癌治療,2005年,4 (2) :p。144-55。
423. Seely,D.,Stempak,D.,およびBaruchel,S., 自然健康製品と化学療法間の潜在的な相互作用を制御するための戦略 : 小児腫瘍学のレビュー。Journal of Pediatric Hematology / Oncology,2007年,29 (1) :p。32-47。
424. Seely,D.,Weeks,L.,およびYoung,S., 統合腫瘍学プログラムの系統的レビュー。現在の腫瘍学,2012年,19 (6) :p。e436。
425. Seely,D.,Wu,P.,Fritz,H.,Kennedy,DA,Tsui,T.,Seely,AJ,およびMills,E., アジュバント癌としてのメラトニン

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

化学療法の有無にかかわらずケア：ランダム化試験の系統的レビューとメタアナリシス。統合的癌治療, 2012年 11 (4) :p. 293-303。

426. Seely,DM,Wu,P.,and Mills,EJ, EDTAキレート療法による心血管疾患：系統的レビュー。

BMC心血管障害,2005年 5 (1) :p. 32。

427. Selhub,EM,Logan,AC, およびBested,AC, 発酵食品、微生物叢、およびメンタルヘルス：古代の慣習は栄養精神医学と出会う。Journal of Physiological Anthro pology,2014年 33 (1) :p. 2.2。

428. Senders,A.,Wahbeh,H.,Spain,R, およびShinto,L,、多発性硬化症の心身医学：系統的レビュー。自己免疫疾患, 2012年 2012年 : p. 1-12。

429. Shapoval,M.,Fritz,H.,Habib,C.,Knee,C.,Seely,D.,and Cooley,K,、症状、生活の質、薬物相互作用、転倒頻度に対する運動の安全性と有効性パーキンソン病の予後と予後：文献の系統的レビュー。

運動障害,2013年 28 : p. S176。

430. Shergis,JL,Ni,X.,Sarris,J.,Zhang,AL,Guo,X.,Xue,CC,Lu,C.,and Hugel,H,、 Ziziphus spinosa seeds for insomnia：化学のレビューと精神薬理学。

Phytomedicine,2017年 34 : p. 38-43。

431. スミス M,、フェスグリークの治療への応用。代替医学レビュー, 2003年 8 (1) : p. 20-7。

432. Standish,LJ,Kozak,L,、およびCongdon,S,、鍼治療はホスピスおよび緩和医療では十分に活用されていません。American Journal of Hospice & Palliative Care,2008年 25 (4) :p. 298-308。

433. Steckhan,N.,Hohmann,C.-D.,Kessler,C.,Dobos,G.,Michalsen,A,、およびCramer,H,、メタボリック症候群患者の炎症マーカーに対するさまざまな食事療法の影響：系統的レビューとメタ分析。

栄養学, 2016年 32 (3) :p. 338-48。

434. Steel,A.,Adams,J.,Sibbritt,D,、およびBroom,A,、妊娠中および出産中の女性における補完代替医療の使用の結果：現在の傾向と将来の方向性。女性の健康、2015年 11 (3) :p. 309-23。

435. Steel,A.,Frawley,J.,Adams,J,、およびDiezel,H,、妊娠中および出産中の女性のサポートとケアに関する訓練を受けた、または専門的なドクター：重要な統合レビュー。コミュニティにおける健康と社会的ケア, 2015年 23 (3) : p. 225-41。

436. Steel,A.,Lucke,J,、およびAdams,J,、慢性的な健康状態の女性による先入観サービスの使用の普及と性質：統合的レビュー。BMC Women's Health, 2015年 15 (1) :p. 14。

437. Steel,A.,Lucke,J.,Reid,R,、およびAdams,J,、女性および医療専門家の態度と先入観ケアサービス提供の経験の系統的レビュー。家族医療, 2016年 33 (6) :p. 588-95。

438. Steel,A.,Sundberg,T.,Reid,R.,Ward,L.,Bishop,FL,Leach,M.,Cramer,H.,Wardle,J.,and Adams,J,、Osteo pathic manipulative治療：比較効果と健康経済学研究の系統的レビューと批判的評価。筋骨格の科学と実践, 2017年,27 : p. 165-75。

439. Striffler,L.,Cardoso,R.,McGowan,J.,Cogo,E.,Nincic,V.,Khan,PA,Scott,A.,Ghassemi,M.,MacDonald,H,、

およびLai,Y,、Scoping reviewは、使用が制限されたかなりの数の知識翻訳理論、モデル、およびフレームワークを特定します。Journal of Clinical Epidemiology,2018年 100 : p. 92-102。

440. Sun,X.,Briel,M.,Busse,JW,You,JJ,Akl,EA,Mejza,F.,Bala,MM,Bassler,D,、Mertz,D.,Diaz-Granados,N,、Vandvik,PO,Malaga,G.,Srinathan,SK、Dahm,P.,Johnston,BC,Alonso-Coello,P.,Hassouneh,B.,Truong,J,、Dattani,ND,walter,SD,Heels-Ansdell, D.,Bhatnagar,N.,Altman,DG、およびGuyatt,GH, ランダム化比較試験におけるサブグループ分析の報告に対する研究特性の影響：系統的レビュー。

BMJ,2011年 342 : p. d1569。

441. Sun,X.,Briel,M.,Busse,JW,You,JJ,Akl,EA,Mejza,F.,Bala,MM,Bassler,D,、Mertz,D.,Diaz-Granados,N,、Vandvik,PO,Malaga,G.,Srinathan,SK、Dahm,P.,Johnston,BC,Alonso-Coello,P.,Hassouneh,B.,Walter,SD、Heels-Ansdell,D.,Bhatnagar,N,、Altman,DG, およびGuyatt,GH, ランダム化比較試験におけるサブグループ効果の主張の信頼性：系統的レビュー。

BMJ,2012年 344 : p. e1553。

442. Sweet,ES,Standish,LJ,Goff,BA, およびAndersen,MR, 卵巣癌患者における補完代替医療の使用に関連する有害事象。統合がん治療, 2013年 12 (6) : p. 508-16。

443. Szczurko,O,およびBoon,HS, 白斑の自然健康製品治療の系統的レビュー。BMC Derma tology,2008年 8 (1) :p. 1-12。

444. Thomsen,M, およびVitetta,L,、化学療法および放射線療法によって誘発された粘膜炎の予防のための補助療法。統合がん治療, 2018年。印刷中 : p. 1-21。

445. Thorlund,K.,Imberger,G.,Johnston,BC,Walsh,M.,Awad,T.,Thabane,L.,Gluud,C.,Devereaux,P.,and Wetterslev,J,、Evolution ofheterogeneity (I2)大規模なメタアナリシスにおける推定値とその95%信頼区間。PloS One,2012年 7 (7) :p. e39471。

446. Thorlund,K.,Walter,SD,Johnston,BC,Furukawa,TA,and Guyatt,GH,メタアナリシスにおける健康関連の生活の質の結果のプール解釈可能性を高めるための方法のチュートリアルとレビュー。Research Synthesis Methods, 2011,2 (3) :p. 188-203。

447. Torkelson,CJ,Slaton,JW, およびStandish,LJ, Medic inal mushrooms : 現代的な視点。予防および代替医療のセミナー, 2007年 3 (1) :p. 18-24。

448. Tricco,AC,Anthony,J.,Soobiah,C.,Kastner,M.,Cogo,E.,MacDonald,H,、D'Souza,J.,Hui,W.,and Straus,SE, 知識統合理論を生成または改良するための方法：スコopingレビューは、ほとんどガイダンスが利用できないことを明らかにしています。Journal of Clinical Epidemiology,2016年 73 : p. 36-42。

449. Tricco,AC,Anthony,J.,Soobiah,C.,Kastner,M.,Mac Donald,H.,Cogo,E.,Lillie,E.,Tran,J.,and Straus,SE, 知識合成方法定性的データと定量的データを統合するための：スコopingレビューは、方法論的ステップの不十分な運用化を明らかにします。ジャーナル

- 臨床疫学,2016年 73 : p. 29-35。
450. Tricco,AC,Anthony,J.,Vafaei,A.,Khan,PA,Har rington,A.,Cogo,E., Wilson,C.,Perrier,L.,Hui,W.,and Straus,SE、複雑な傷を治療するための効果的な介入を求めて：系統的レビューの概要。BMCメディスン、2015年 13 (1) :p. 89。
451. Tricco,AC,Ashoor,HM,Cardoso,R.,MacDonald,H.,Cogo,E.,Kastner, M.,Perrier,L.,McKibbin,A.,Grimshaw,JM,and Straus,SE、Sustainabilityヘルスケアの意思決定における知識エッジ翻訳介入の評価：スコーピングレビュー。実証科学 2016年 11 (1) :p. 55。
452. Tricco,AC,Cogo,E.,Isaranuwachai,W.,Khan,PA,Sanmugalingham、G.,Anthony,J.,Hoch,JS,and Straus,SE、複雑な創傷の費用効果分析の系統的レビュー介入により、特定の創傷タイプに最適な治療法が明らかになります。BMCメディスン、2015年 13 (1) :p. 90。
453. Tricco,AC,Soobiah,C.,Anthony,J.,Cogo,E.,Mac Donald,H.,Lillie,E., Tran,J.,D'Souza,J.,Hui,W.,and Perrier,L.、スコーピングレビューは、複数の新しい知識統合方法を特定していますが、この方法を運用できる研究はほとんどありません。Journal of Clinical Epidemiology、2016年。73 : p. 19-28。
454. Tricco,AC,Tetzlaff,J.,Sampson,M.,Fergusson,D.,Cogo,E.,Horsley、T.,and Moher,D.、バイアスの程度を文書化した系統的レビューはほとんどありません：系統的レビュー。Journal of Clinical Epidemiology、2008年 61 (5) :p. 422-34。
455. Tricco,AC,Thomas,SM,Veroniki,AA,Hamid,JS,Cogo,E.,Strifler,L., Khan,PA,Robson,R.,Sibley,KM,MacDonald,H.,Riva,JJ、Thavorn、K.,Wilson,C.,Holroyd-Leduc,J.,Kerr,GD,Feldman,F.,Majumdar、SR,Jaglal,SB,Hui,W.,and Straus,SE、転倒防止のための介入の比較高齢者の場合：系統的レビューとメタアナリシス。JAMA,2017年 318 (17) :p. 1687-99。
456. Ung,COL,Harnett,J.、およびHu,H.、伝統医学に関するコミュニティファーマシストの責任/ 補完的な医薬品：系統的文献レビュー。社会的および行政的ファーマシー、2017年 13 (4) :p. 686-716。
457. Vandermeer,B.,Bialy,L.,Hooton,N.,Hartling,L.,Klassen,TP、 Johnston,BC、およびWiebe,N.、安全性データのメタ分析：正確なデータと漸近的なデータの比較メソッド。医学研究における統計的方法,2009年 18 (4) :p. 421-32。
458. Veroniki,AA,Cogo,E.,Rios,P.,Straus,SE,Finkel stein,Y.,Kealey,R., Reynen,E.,Soobiah,C.,Thavorn,K.,and Hutton,B.、妊娠中の抗てんかん薬の安全性の比較：先天性奇形と出生前産産の系統的レビューとネットワークメタアナリシスが出てきます。BMCメディスン、2017年 15 (1) :p. 95。
459. Veroniki,AA,Rios,P.,Cogo,E.,Straus,SE,Finkel stein,Y.,Kealey,R., Reynen,E.,Soobiah,C.,Thavorn,K.,and Hutton,B.、曝露された小児の神経学的発達に対する抗てんかん薬の安全性の比較
- 妊娠中および授乳中：系統的レビューとネットワークメタアナリシス。BMJオープン、2017年 7 (7) :p. e017248。
460. Veziri,Y.,Leach,MJ、およびKumar,S.、補完代替医療における研究の実施と適用に対する障壁：系統的レビュー。BMC補完代替医療,2017年。17 (1) :p. 166。
461. Vijayakumar,V.,Mavathur,R.、およびSharma,M.、南アジア人の間の民族格差と2型糖尿病の有病率の増加：病因と糖尿病の予防と管理に対する将来の影響。現在の糖尿病レビュー,2017年 13。
462. Vitetta,L.,Briskey,D.,Alford,H.,Hall,S.、およびCoulson,S.、プロバイオティクス、プレバイオティクス、および健康と病気における腸腸管。炎症薬理学 2014年 22 (3) :p. 135-54。
463. Vitetta,L.,Hall,S.、およびCoulson,S.、消化管 (GIT)における代謝相互作用：宿主、共生、プロバイオティクス、およびバクテリオファージの影響。微生物 2015年 3 (4) :p. 913-32。
464. Vitetta,L.,Manuel,R.,Zhou,JY,Linnane,AW,Hall,S.,and Coulson、S.、腸内細菌叢の最終臓器機能への包括的な影響：生きているプロバイオティクス文化の役割。Pharmaceuticals,2014年 7 (9) :p. 954-89。
465. Vitetta,L.,Saltzman,ET,Thomsen,M.,Nikov,T.、およびHall,S.、アジアバントプロバイオティクスと腸内微生物叢：ワクチンと免疫療法の結果の向上。Vaccines,2017年 5 (4) :p. 50-67。
466. Vogel,H.,Cramer,H.、およびOstermann,T.、摂食障害に対するヨガの効果-系統的レビューとメタ分析。European Journal of Integrative Medicine、2015 (7) :p. 26。
467. Vohra,S.,Johnston,BC,Cramer,K.、およびHumphreys,K.、小児の脊髄操作に関連する有害事象：系統的レビュー。小児科 2007年 119 (1) : p. e275-83。
468. Wagner,L.,Cramer,H.,Klose,P.,Lauche,R.,Gass,F.,Dobos,G.,and Langhorst,J.、咳の漢方薬：系統的レビューとメタ分析。補完医学研究、2015年 22 (6) :p. 359-68。
469. Walji,R.,Boon,H.,Guns,E.,Oneschuk,D.,and Younus,J.、Black cohosh (*Cimicifuga racemosa* [L.] Nutt.) : 癌患者の安全性と有効性。癌の支持療法 2007年 15 (8) :p. 913-21。
470. Walton,RJ,Whitten,DL、およびHawrelak,JA、本態性高血圧症における *Hibiscus sabdariffa* (ローゼル)の有効性：臨床試験の系統的レビュー。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル,2016年 28 (2) :p. 48。
471. Wang,L.,Johnston,B.,Kaushal,A.,Cheng,D.,Zhu,F.、およびMartin、J.、ケタミンをモルヒネまたはハイδροモルヒネに追加術後の急性疼痛 に対する患者管理鎮痛成人：ランダム化試験の系統的レビューとメタアナリシス。Canadian Journal of Anesthesia / JournalCanadiend'Anesthésie,2016年 63 (3) :p. 311-25。
472. Warber,SLおよびZick,SM、心血管疾患のための生物学に基づいた補完的な薬：助けまたは害？ 家族医療におけるクリニック,2001年 3 (4) :p. 945-75。

付録II：自然療法研究者によって公開された系統的レビューとメタ分析

473. Wardle,J. およびAdams,J.、CAMの専門家は、高レベルの健康および医学研究に従事していますか？オーストラリアにおける公的資金による補完的医学研究助成金の傾向。医学における補完療法、2013年、21（6）：p。746-90。
474. Wardle,J. およびBaranovic,M.、小売食品部門での競争の欠如は公衆衛生上の問題ですか？オーストラリアとニュージーランドの公衆衛生ジャーナル、2009年、33（5）：p。477-81。
475. Wardle,J.、Frawley,J.、Steel,A.、およびSullivan,E.、補完医学と小児免疫：批評的レビュー。ワクチン、2016年、34（38）：p。4484-500。
476. Wardle,J.、Lui,CW.、およびAdams,J.、補完的および農村地域における代替医療：現在の研究と将来の方向性。Journal of Rural Health、2012年、28（1）：p。101-12。
477. Wardle,J. およびWeir,M.、未登録の規制：オーストラリアの未登録の補完的開業医に対する負のライセンス規制の取り決めの分析。統合医学研究、2015年、4（1）：p。19。
478. Wardle,J.、Weir,M.、Marshall,B.、およびArcher,E.、補完医療における消費者のための規制および立法上の保護：オーストラリアの政策および法的発展からの教訓。European Journal of Integrative Medicine、2014年、6（4）：p。423-33。
479. Wardle,J. およびAdams,J.、補完代替医療の使用に関連する間接的および非健康的リスク：統合的レビュー。European Journal of Integrative Medicine、2014年、6（4）：p。409-22。
480. ワイガー、WA、スミス M。、ブーン、H。、リチャードソン、MA、カプチャック、TJ、およびアイゼンバーグ、DM、癌の補完代替医療を求める患者に助言。内科の年報、2002年、137（11）：p。889-903。
481. ウェナー、カリフォルニア、パーカー、K。、サイモン、MA、アダムス、L。、グリーンK。、およびスタンディッシュ、LJ、婦人科抗癌活性を有する植物薬：文献レビュー。Journal of the American Medical Women's Association（1972）、1999、54（4）：p。184-90、195。
482. Whitten,D.、貴重な機会：母乳の供給に懸念を抱く女性を支援する。ハーブ医学のオーストラリアジャーナル、2013年、25（3）：p。112。
483. Whitten,D.、Myers,S.、Hawrelak,J.、およびWohlmuth,H.、CYP3Aに対するセントジョーンズワート抽出物の効果：前向き臨床試験の体系的なレビュー。ブリティッシュジャーナルオブクリニカルファーマコロジー、2006年、62（5）：p。512-26。
484. Wiese,M.、Oster,C.、およびPincombe,J.、補完医療と主流の医療との間の新たな関係の理解：文献のレビュー。健康、2010年、14（3）：p。326-42。
485. Williams,A.-I.、Cotter,A.、Sabina,A.、Girard,C.、Goodman,J.、and Katz,DL.、うつ病の治療としてのビタミンB-6の役割：系統的レビュー。家族の実践、2005年、22（5）：p。532-7。
486. Williams,A.-I.、Girard,C.、Jui,D.、Sabina,A.、およびKatz,DL.、うつ病の治療としてのS-アデノシルメチオニン（SAMe）：系統的レビュー。臨床および調査医学、2005年、28（3）：p。132。
487. Williams,A.-I.、Katz,D.、Ali,A.、Girard,C.、Goodman,J.、and Bell,J.、必須脂肪酸はうつ病の治療に役割を果たしていますか？Journal of Affective Disorders、2006年、93（1）：p。117-23。
488. Witt,CM.、Pérard,M.、Berman,B.、Berman,S.、Birdsall,TC.、Defren,H.、Kümmel,S.、Deng,G.、Dobos,G.、and Drexler,A.、[合併]における企業文化の枠組みを使用して、統合医療の文化的基盤の開発をサポートする—統合医療部門またはサービスを構築するためのガイダンス。患者の好みと遵守、2015年、9：p。113-20。
489. Wojcikowski,K.、Vigar,V.、およびOliver,C.、慢性疼痛の新しい概念と補完療法の潜在的な役割。健康と医学における代替療法、2018年。印刷中：p。AT5525。
490. Wong,AH.、Smith,M.、およびBoon,HS.、精神科診療におけるハーブ療法。一般精神医学のアーカイブ、1998年、55（11）：p。1033-44。
491. Wu,P.、Dugoua,JJ.、Eyawo,O.、and Mills,EJ.、肝細胞癌の治療における漢方薬：系統的レビューとメタアナリシス。Journal of Experimental & Clinical Cancer Research、2009年、28（1）：p。112。
492. Wu,P.、Mills,E.、Moher,D.、およびSeely,D.、脳卒中後のリハビリテーションにおける鍼治療。脳卒中、2010年、41（4）：p。e171-9。
493. Wu,V.、Huff,H.、およびBhandari,M.、救急科に来院する女性の近親者間暴力に関連する身体的損傷のパターン：系統的レビューとメタ分析。トラウマ、暴力虐待、2010年、11（2）：p。71-82。
494. Yarnell,E.、米国で腎臓病に使用される植物薬。Iranian Journal of Kidney Diseases、2012年、6（6）：p。407。
495. Yarnell,E.、月経困難症のための漢方薬。代替療法と補完療法、2015年、21（5）：p。224-8。
496. Yarnell,E.、糖尿病のためのハーブ：更新パート2。代替および補完療法、2015年、21（1）：p。32-8。
497. Yarnell,E.、抗うつ薬のハーブ補助剤。代替療法および補完療法、2015年、21（3）：p。131-7。
498. ヤーネル、E.、痛風のためのハーブ。代替療法と補完療法、2016年、22（5）：p。218-25。
499. Yarnell,E.、新たなウイルス感染症のためのハーブ。代替療法と補完療法、2016年、22（4）：p。164-74。
500. Yarnell,E.、植物による男性の健康の改善。ネイティブおよび補完療法の変更、2016年、22（3）：p。120-4。
501. Yarnell,E.、好酸球性、肥満細胞、および好塩基性疾患のハーブ。代替療法と補完療法、2016年、22（1）：p。24-32。
502. Yarnell,E.、植物エストロゲンおよびエストロゲン感受性癌：証拠のレビュー。代替療法と補完療法、2017年、23（1）：p。25-30。
503. Yarnell,E.、植物相の上部消化器異常増殖のためのハーブ。代替および補完療法、2018年、24（4）：p。173-9。

504. Yarnell,E. およびAbascal,K.、難治性でんかんを治療するためのハーブ処方：文献のレビュー。代替療法と補完療法,2000年 6 (4) : p。 203-6。
505. Yarnell,E. およびAbascal,K.、ハーブ成分とシトクロムP450酵素との相互作用。代替療法および補完療法,2007年 13 (5) :p。 239-47。
506. Yarnell,E. およびAbascal,K.、ハーブを妨害する薬物。代替療法と補完療法 2009年 15 (6) :p。 298-301。
507. Yarnell,E. およびAbascal,K.、ハーブおよび免疫抑制薬：カルシニユールン阻害剤。代替療法および補完療法,2013年 19 (6) :p。 315-22。
508. Yarnell,E. およびAbascal,K.、抗線維化ハーブ：適応症、作用機序、用量、および安全性情報。ネイティブ&コンプリメンタリーセラピーの 変更 2013年 19 (2) :p。 75-82。
509. Yarnell,E. およびAbascal,K.、手術の補助としてのハーブ。代替療法と補完療法,2014年 20 (5) :p。 270-8。
510. Yarnell,E. およびAbascal,K.、植物の肝毒性。代替療法と補完療法,2014年 20 (3) :p。 136-44。
511. Yarnell,E. およびAbascal,K.、ハーブおよび免疫抑制薬：コルチコステロイド、メトトレキサートなど。ネイティブおよび補完療法の変 更 2014年 20 (1) :p。 34-40。
512. Yarnell,E. およびTouwaide,A.、Accuracy of Dioscorides' Demateria medica (First Century CE)、植物の利尿作用に関する。 Journal of Alternative & Complementary Medicine、2018年。印刷中。
513. Yolland,CO,Phillipou,A.,Castle,DJ,Neill,E.,Hughes,ME, Galletly,C.,Smith,ZM,Francis,PS,Dean,OM,and Sarris,J.、認知の改善N-アセチルシステインによる統合失調症の機能：理論的レ ビュー。栄養神経科学,2018年。印刷中：p。 1-10。
514. Zhang,Y.,Zhang,S.,Thabane,L.,Furukawa,TA,Johnston,BC, Guyatt,GH、一貫して優れているわけではありませんが、最小限に重要な違いをフレーミングする絶対的なアプローチには、relよりも利点があります。積極的なアプローチ。 Journal of Clinical Epidemiology,2015年 68 (8) :p。 888-94。
515. Zick,S. およびAl-Rawi,S.、赤いラズベリーの葉：妊娠および分娩におけるその安全性と有効性のレビュー。自然療法医学の国際ジャーナル 2005年。夏。

付録III：略語

2hrPG	血漿グルコース2時間	BFI	簡単な疲労指数
2PD	2点識別しきい値	BFM	体脂肪量
25 (OH)D	25-ヒドロキシコレカルシフェロール	BI	ビリルビン間接
5-HETE	5-ヒドロキシエイコサテトラエン酸	BL	ベースライン
5-MTHF	メチルテトラヒドロ葉酸	BMI	
8OHdG	8-ヒドロキシ-2'-デオキシグアノシン	BNYS	ボディ・マス・インデックス
AA	アラキドン酸	bp	自然療法とヨーヅック研究の学士号
AANMC	認定自然療法協会	BP	背中の痛み
	医科大学	BPI	血圧
AANP	アメリカ自然療法協会医	BPI-SF	簡単な痛みの目録
	師	BPI-WP	簡単な痛みの目録-短い形式簡
交流	交互の湿布	BR	単な痛みの目録-最悪の痛み呼吸
Acu	鍼	BRS	数
ADAS-歯車	アルツハイマー病評価尺度	傷	身体反応性アンケート
	-認知サブスケール	BSI	ブルネルムードスケール
ADCS-ADL	アルツハイマー病共同研究-日常生活動作サブスケール	BSQ	簡単な症状インベントリ
	有害事象	パン	腸の症状に関するアンケート血
AE	注意欠陥/多動性障害	C-IBS	中尿素窒素
ADHD	日常生活の行動	CAGB	便秘-主なIBS
ADL	自閉症診断観察スケジュールア	CAINS	冠状動脈バイパス移植
ADOS	フリカ地域		臨床評価インタビューネガティブ症
アフロ	アリゾナ統合成果スケール	カムカ	状
AIOS	アルカリホスファターゼ	ナラ	補完代替医療
ALP	女性のオーストラリア縦断研究		自然療法のカナダ同盟規
ALSWH	健康	キャップ	制当局
	アラントランスフェラー	車両	冷たい腹部バック
ALT	ゼ抗ミューラー管ホルモン	CBT	コルチゾール覚醒反応
AMH	南北アメリカの地域	CCNM	認知行動療法
AMRO	補助的な自然療法的ケア	CCRYN	カナディアンカレッジオブナチュロパシーメディシ
ANC	喘息の生活の質に関するアンケート生	CD4 CD8	ヨガと研究のための中央評議会自
AQLQ	活の質の評価	CD-RISC	然療法
AQoL-4D	自然療法医のオーストラリア登録と	CDR	CD4+リンパ球白血球
アロナ	ハーバリスト	CFQ	CD8+リンパ球白血球
	適切な救済尺度	CFS	コナーデビッドソンレジリエンススケール
ARS	抗レトロウイルス治療	CFU	臨床認知症評価
美術	自閉症スペクトラム障害	CGI	Chalder疲労感尺度
ASD	関節炎特有の自己効力感の短い形式	CGI-S	慢性疲労症候群
ASES-D	規模	CGI-I	コロニー形成単位
	アリゾナの性的体験アンケート		臨床グローバル印象スケール
ASEX	アスバラギン酸アミノトランスフェラーゼ	CINV	臨床グローバル印象スケール-重大度臨
AST	自閉症治療評価チェックリスト		床グローバル印象スケール
ATEC	アーユルヴェーダ、ヨガと自然療法 ウナニ	CIPN	-改善
AYUSH	医学、シッドゥ、ホメオパシーベ		化学療法誘発性の悪心および嘔吐化
バイ	ック不安指数	CLS	
BAQ	身体意識アンケート	CK	学療法誘発性末梢神経障害
BBS	バーグバランススケール	CNME	
BD	ビリルビン直接	方位磁針	共役リノール酸
BDI	ベックうつ病目録		クレアチンキナーゼ
BDI-II	ベックうつ病目録第2版脳	CNP	自然療法医学教育評議会
BDNF	由来神経栄養因子体脂	コート	コンピューター化されたメンタルパフォーマンス
BF	肪		評価システム
			慢性的な首の痛み
			包括的な関節炎テスト

付録III：略語

COMT	カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ		治療
COPD	慢性閉塞性肺疾患	実際	がん治療の機能評価
COQ10	コエンザイムQ10	事実-B / ES	がん治療の機能評価
Cp	セルロプラスミン		-乳房および内分泌系
CPRS	コナーズ親評価尺度	FACT-C	がん治療の機能評価
CPSS	コーエン知覚ストレススケール		-結腸直腸
CRP	C反応性タンパク質	事実-ES	がん治療の機能評価
CSIRO	コモンウェルス科学および産業 研究機関	FACT-G	がん治療の機能評価
CST	頭蓋仙骨療法		- 全般的
CT	コンピュータ断層撮影	事実-NTX	がん治療の機能評価
CVD	循環器疾患		-神経毒性
CWS	がんの悩みのスケール	事実-税金	がん治療の機能評価
CYRM	子どもと若者のレジリエンス対策		-タキサン
CZSD	銅亜鉛スーパーオキシドジスムターゼ	FACT-TOI	がん治療の機能評価
履歴書	受胎容器		-タキサン試験結果指数
D	日	FAS	食物アレルギー/過敏症の症状
DA-IBS	交互の腸の習慣IBS	FFI	足機能指数
DASS	うつ病不安ストレススケール	FGID	機能性胃腸障害
Db	二重盲検	FIQ	線維筋痛症影響アンケート
DBP	拡張期血圧	FLIC	がんの機能的な生活指数
DBRPCT	二重盲検無作為化プラセボ- 対照試験	FMD	流れを介した拡張
DD	うつ病の検出	FNMRA	自然療法医学連盟
DHA	ドキシサヘキサエン酸	フォドマップ	フルクト、オリゴ糖、単糖 およびポリオール
DHEA	デヒドロエピアンドロステロン		
DMSA	ジメルカプトコハク酸	FPG	空腹時血漿グルコース
DNA	デオキシリボ核酸	FQ	倦怠感アンケート
Do-P	ダブル製品（心拍数X MAP / 100）	FRD	倦怠感ダイエット
DSM-5	精神の診断および統計マニュアル 障害、第5版	FSH	卵巣刺激ホルモン
DUFA	ダブルアップフードバック	g	グラム
EBM	根拠に基づいた医療	GAD	全般性不安障害
EBP	エビデンスに基づく実践	GAD-7	全般性不安障害-7項目スケール
EC	腸溶コーティング	GAF	機能の全体的評価
eCCS	赤血球CCS	Gf	無グルテンの
EDTA	エチレンジアミン四酢酸	GGT	ガンマグルタミルトランスフェラーゼ
EGCG	エピガロカテキン-3-ガレート	GHC	一般的な健康カリキュラム
eGFR	推定糸球体濾過率	GI	胃腸
ELSP	運動ベースのライフスタイルの変更 プログラム	GIQLI	胃腸の生活の質の指標
EMRO	東地中海地域	GIS	グローバル改善スケール
EORTC	欧州研究機構と がんの治療	GSDS-II	フローニンゲン社会障害スケール
EPA	エイコサペンタエン酸	GSH	経口グルタチオン
EPI	エレクトロフォトニックイメージング	HADS	病院不安抑うつ尺度
EQ-5D	EuroQoL アンケート	HAM-A	ハミルトン不安尺度
ERDA	感情的/合理的な病気の受容 アンケート	HAM-D	ハミルトンうつ病評価尺度
ERQ	情動調整アンケート	Hb	ヘモグロビン
eSOD1	赤血球スーパーオキシドジスムターゼ	HbA1C	血中グリコヘモグロビン
ESR	赤血球沈降速度	HBOT	高圧酸素治療
ESS	エプワース眠気尺度	HC	健康な対照
ETCO2	呼気終末二酸化炭素	HCAHPS	の病院消費者評価
EUC	強化された通常のケア		医療提供者とシステム
ユーロ	ヨーロッパ地域	HCT	ヘマトクリット
FACIT	慢性疾患の機能的評価	HCV	慢性C型肝炎
		HCv	ホモシステイン
		HCSE	セイヨウトチノキ（Aesculus hippocastanum）の種子 エキス
		HDL	高密度リポタンパク質

付録III：略語

HETE	ヒドロキシエイコサトランエン酸	MADRS	モンゴメリーアスパーグうつ病評価規模
HF	心不全		悪心および嘔吐の明日評価
HF	高周波（帯域0.15～0.5Hz）頭痛	マネマンサ	マンチェスターの生活の質の尺度
打つ	影響テスト		
HIV	ヒト免疫不全ウイルス	地図	平均動脈圧（DBP + 1/3 PP）
HOMA-IR	ホームスタシスモデル評価インスリン	MARM	呼吸運動の手动評価
	抵抗	MASC	多次元不安尺度
HR	心拍数		子供達
HRV	心拍変動	MBSR	マインドフルネスに基づくストレス低減
hs-CRP	高感度C反応性タンパク質	MCID	臨床的に重要な最小限の違い
HTA	医療技術評価	MCT	中鎖トリグリセリド
HTN	高血圧	MDA	マロンジアルデヒド
HV	健康なボランティア	MDD	大鬱病性障害
IADL	日常生活動作の器械的活動	MDT	機械的検出しきい値
IAYT	ヨガ療法の統合的アプローチ	MENQoL	更年期障害特有の生活の質
IBD	炎症性腸疾患		アンケート
IBDQ	炎症性腸疾患 アンケート	MFI	多次元疲労インベントリ
IBS	炎症性腸症候群	Mg	マグネシウム
IBS-SSS	IBS-症状の重症度スケール	ミニ	ICD-DSMミニインターナショナル
ICU	集中治療室		神経精神医学的インタビュー
ICWP	統合心臓ウェルネスプログラム	MMP-9	マトリックスメタリオプロテイナーゼ-9
IFG	空腹時血糖障害	MMSE	ミニメンタルステート検査
IGT	耐糖能異常	MoH	保健省
IHGT	等尺性ハンドグリップテスト	モーセ	副作用システムの監視
IHME	保健指標評価研究所	MPS	精神的、肉体的、精神的な幸福
IHN	イノシトールヘキサニアシネート		規模
IHT	断続的な低酸素トレーニング	MS	多発性硬化症
IL	インターロイキン	MSAS	記念症状評価尺度
IQ	知能指数	MSK	筋骨格
ISI	不眠症重症度指数	MSM	メチルスルホニルメタン
ISQUA	健康の質のための国際社会	Mth	月
	ケア	MYMOP	自分自身の医療成果プロファイルを測定する
IYN	統合されたヨガと自然療法	MUFA	モノ不飽和脂肪酸
IYNT	統合されたヨガと自然療法	n	番号
JAMA	アメリカンメディカルジャーナル	n3PUFA	オメガ3多価不飽和脂肪酸オメガ
	協会	n6PUFA	オメガ6多価不飽和脂肪酸
K-10	ケスラー-10スケールの心理的苦痛	n9MUFA	オメガ9不飽和脂肪酸
LA	リポ酸	NA	北米
LATR	白血球抗原検査結果	NABH	病院および医療提供者のための国家認定委員会
LBM	除脂肪体重		
LBP	腰痛	NABNE	北アメリカ自然療法委員会
LcS	ラクトバチルスカゼイ株		審査官
LDL	低密度リポタンパク質	NAC	N-アセチルシステイン
LF	低周波数帯域（0.05～0.15 Hz）	NAFLD	非アルコール性脂肪性肝疾患
LF / HF	低周波と高周波の比率	NC	自然療法ケア
LFT	肝機能検査	NCC	自然療法コミュニティケア
LGBTQ2SIA	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、トランスセクシュアル、クィアとクエスチョニング、トランスピリット、インターセックス、アセクシャルプラスの人々	NCD	非感染性疾患
	黄体形成ホルモン	ND	自然療法医
LH		NDI	首の障害指数
LHBT	ラクツロース水素呼吸気検査	適所	のための新しいインタラクティブ携帯電話技術
LMT	ラクツロースマンニトールテスト		健康増進
		NIH（アメリカ国立衛生研究所）	国立衛生研究所
LSEQ	リーズ睡眠評価アンケート	NMD	自然療法医
M-SACRAH	評価のための修正されたスコアと	NN50	の間隔差の数
	慢性リウマチの定量化		50ミリ秒を超える連続するNN間隔
	手の愛情	np	首の痛み
MAAS	マインドフルアテンションアウェアネススケール	NP	自然療法医

付録III：略語

NPI	神経精神医学的目録	PUFA	ポリ不飽和脂肪酸質
NPQ	首の痛みに関するアンケート	QALY	調整生存年
NPS	神経因性疼痛スケール自	QD	1日あたり
NPT	然療法理学療法	QLI	生活の質指数
NQ NS	ナイメーヘンアンケート	QODD	死と死の楽器の品質生
NSAID	統計的に有意ではない非ス	QoL	活の質
NT proBNP	テロイド性抗炎症薬	QSANS	ネガティブの評価のためのクイックスケール
OCd	B型ナトリウム利尿ペプチド	QSAPS	症状
ODI	強迫性障害		ポジティブの評価のためのクイックスケール
OGTT	強迫性障害	RBC	症状
また	Oswestry障害スケール	RBG	赤血球
ORAC	経口ブドウ糖負荷試験後2時間	RCT	ランダム血糖
OQ45	オッズ比	RDA	ランダム化比較試験
有料	酸素ラジカル吸収能結	RFT	推奨される1日あたりの摂取量
バナス	果アンケート45 糖尿	RMDQ	腎機能検査
PASAT	病の問題領域	RMSSD	
PBRN	ポジティブおよびネガティブな影響スケジュールベースのある		ローランドモリス障害者アンケート
PCAQ	聴覚シリアル依存症テスト実践ベースの研究ネット	ROM	隣接する間の差の二乗の合計の平均の平方根
PCORI	ワーク	RPP	NN間隔
PCOS	喘息質問票の知覚された制御	RRI	関節可動域レ
PD	患者中心の研究成果		ート圧力積
PDD-BI	多嚢胞性卵巣症候群	RRMS	瞬間心拍数、隣接するQRS群間の間隔の平均
	パーキンソン病	RTA	
PDQ-39PEFR	広汎性発達障害行	sAA	再発寛解型多発性硬化症
PG2hr	動イベントリ	SAFTEE	改訂されたテスト不安尺度
PGI	パーキンソン病アンケート39項目ピーク	同じ	唾液α-アミラーゼ
PGI-I	呼吸流量	SANS	治療のための体系的な評価創発
PHQ-9	血漿グルコース2時間	SAPS	的効果
pNN50	患者のグローバル印象スケール	SAS	S-アデノシルメチオニン
	患者の世界的な改善の印象	Sb	陰性症状評価尺度陽
PNPIC	患者の健康に関する質問うつ病	SBC	性症状評価尺度
	スクリーナー	SBL	自閉症スケールの重症度
PNQ	NN50をNN間隔の総数で割って得られる比率	SBP	シングルブラインド
POM		SC	身体をつながりのスケールドイツ
POMS	補完的および補完的に関する国家政策統合的	SCB	語からの痛みの知覚尺度痛みに関する
PP	実践	SCCS	アンケート
PPPG	患者の神経毒性アンケート	SCID	収縮期血圧
PPT	体動時痛	SDQ	標準治療
PR	気分状態のプロファイル	SDSCA	実質的な臨床的利益
PR	脈圧	SEAR	社会的認知複合スケール
PRECIS-2	食後血漿グルコース圧	SEBQ	DSMの構造臨床面接
	痛閾値	SF-12	強さと難しさのアンケート
prn	安静時の痛み	SF-36	糖尿病のセルフケア活動の概要東南ア
PROMIS	脈拍数	SFA	ジア地域
	語用論的説明連続体指	SFVAS	呼吸に関する質問票の自己評価簡単な
PRT	標分析	SGOT	健康調査-12項目
PSA	Pro re nata (必要に応じて)	SGPT SI	ショートフォーム健康調査-36項目飽和脂
PSQ	患者報告アウトカム測定情報	SIBO	肪酸
PSQI	システム	sig	性機能視覚アナログ尺度
PSWQ	プロGRESSプレジスタンストレーニング	sigA	血清グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ
PT PTE	Professional Standards Authority	SLE	血清グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ
PTQ	知覚ストレスアンケートピッ	SNOT	対症療法
PUCAI	ツバーク睡眠品質指数		小腸細菌異常増殖重
	ペンシルベニア州立大学の悩みアンケート		要
	心理療法		唾液免疫グロブリンA 全身
	潜在的に有毒な要素固執		性エリテマトーデス
	的思考アンケート		SinuNasalアウトカムテスト
	小児潰瘍性大腸炎活動指数		

付録III：略語

SoP	実践の範囲	UC	通常のお手入れ
SPADI	肩の痛みと障害指数	UC	潰瘍性大腸炎
SPN	感覚性末梢神経障害	UCT	管理されていない試験
SRNI	セロトニン再取り込み阻害薬	UPDRS	ユナイテッドパーキンソン病評価尺度
SSNT	サザンスクールオブナチュラルセラピー	米国	アメリカ合衆国
SSRI	選択的セロトニン再取り込み阻害薬	VAS	視覚的アナログ尺度
SST	症状の重症度スケール	VDT	振動検出しきい値
STAI	状態特性不安目録	VSL	プロバイオティクスサプリメントのブランド
STAI-S	状態特性不安目録-状態	ワズ	ウェイトフォーエイジのZスコア
STBI	重度の外傷性脳損傷	WBS	ワーウィック-エジンバラメンタルウェルビーイング 規模
SUS	ブラジルの統合国民医療制度	WISC-R	ウェクスラーインテリジェンススケール 子供-改訂
T&CM	伝統的で補完的な医学	誰	世界保健機構
TA	トランスアミナーゼ	WHOQoL-BREF	世界保健機関の生活の質 -BREFアンケート
TAS	不安尺度をテストする	週	週
TBI	外傷性脳損傷	WNF	世界自然療法連盟
TC	総コレステロール	WOMAC	西オンタリオ大学とマクマスター大学 変形性関節症指数
TCM	漢方薬	WPR	西太平洋地域
TG	トリグリセリド	WSAS	仕事と社会の調整スケール
TIBC	総鉄結合能	YBOCS	エールブラウン強迫性尺度
TID	一日に三回	YLSP	ヨガベースのライフスタイル修正プログラム
TIDR	介入の説明と レプリケーション	YRMQ	Yi Ren Medical QiGong
TNF	腫瘍壊死因子	亜鉛	亜鉛 症状の増加
TNS	総ニューロバシスコア	↑ ↓	症状の減少
TOI	タキサン試験結果指数		
TOVA	注意変数のテスト		
TS	トランスフェリン飽和		
TSH	甲状腺刺激ホルモン		
Tx	処理		

付録IV：寄稿者

編集チーム

NDのIvaLloyd博士は、世界自然療法連盟の現在の（そして最初の）会長であり、カナダ自然療法医協会の国際的な代表者です。トロントを拠点とするND博士は、2002年以来、積極的な自然療法の実践を維持しており、自然療法財団ヘルスクリニックの臨床ディレクターを務めています。自然療法の歴史、専門家の養成、自然療法の原則への関心に基づいて、彼女は4冊の本、30を超える研究記事を執筆し、自然療法医学と病気の原因 因子に関する国際的な講演者です。彼女はまた、ウェブサイトwww.ndhealthfacts.orgの編集者でもあり、医療専門家や一般向けの教育サイトです。

Dr. Amie Steel、ND,PhDは、オーストラリアのシドニー工科大学保健学部公衆衛生学部の補完統合医療のオーストラリア研究センターの上級研究員です。彼女の自然療法と研究のトレーニングに加えて、スティール博士は公衆衛生と医療経済学の資格も持っています。彼女の研究対象には、妊娠、出産すること、先入観のある健康に特に焦点を当てた女性の健康と補完医学が含まれます。200を超える研究出版物と3つの編集された本で、彼女の方法論的関心は、混合法研究、実証科学知識員、応用医療サービス研究、および実践ベースの（実用的な臨床研究を網羅しています。

Jon Wardle、ND,PhD教授は、オーストラリアのサザンクロス大学の自然療法医学国立センターの所長および公衆衛生の教授です。彼は200以上の研究出版物を出版しており、オーストラリアと米国の公衆衛生組織で指導的立場にあります。自然療法と看護の臨床資格に加えて、彼は公衆衛生、法律、医療経済学の大学院資格を持っています。彼は、多くの政府、非政府組織、および国際機関とともに、伝統的、補完的、統合的および先住民医療、公衆衛生およびプライマリヘルスケア政策に取り組んでいます。

編集アシスタント

ダニエルブラウン、自然療法士、理学士。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

ホープフォーリー博士、自然療法医。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

著者の寄稿者

ジョン・アダムス博士オーストラリア、シドニー工科大学公衆衛生学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

Hayleigh K Ast、ND。オレゴン健康科学大学、米国。

モニクオーコイン、ノースダコタ州、カナディアンカレッジオブナチュロパシーメディシン、カナダ。

ライアンブラッドレイ、ND,MPH。ヘルフゴット研究所、国立自然医学大学、米国。

カラ・プロスナン博士オーストラリア、ニューカッスル大学、人間社会未来学部、人文社会科学部。

ダニエルブラウン、自然療法士、理学士。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

Abed Burgos-Arias、ND。チリのナチュロパスの専門学校、チリ植物療法学会、チリのナチュロパス財団、チリ。

ニーニカラン、ND,MS。ヘルフゴット研究所、国立自然医学大学、米国。

ジュニー・カレ、自然療法医。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

Valentina Cardozo、MSc。カナダのナチュロ病理医学のカナディアン大学。

キーランクーリー、ND、カナディアンカレッジオブナチュロパシーメディシン、カナダ。

ホルガークラマー、自然療法、博士号。エヴァンの内科および統合医学科。Kliniken Essen Mitte、ドイツ、デュイスブルク-エッセン大学医学部。

ジャスミン・ドウザ、自然療法医、MDクリニカルヨガ。オーストラリア在住。

Jill Dunn、自然療法医、MHSc (CompMed)。シドニー工科大学公衆衛生学部、オーストラリア。ニュージーランド在住。

シャロン・アードリック、自然療法医、MHS（優等学位）。シドニー大学医学部および健康学部。ニュージーランド在住。

ホープフォーリー、自然療法 博士号。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

ソフィア・ジェロンタコス、自然療法医。オーストラリア、サザンクロス大学保健学部自然療法医学国立センター。

ジョシュアZゴールデンバーグ、ノースダコタ州、ヘルフゴット研究所、米国オレゴン州ポートランド。

のぞみゴンザレス、BA、ヘルフゴット研究所、国立自然医学大学、米国。

キム・グラハム、自然療法医。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

トムグリーンフィールド、ND,DO。自然療法医、グリーンフィールドクリニック、イギリス

ニコール・ハンナン、自然療法医 OLY。オーストラリアのサザンクロス大学の自然療法医学国立センター。

Joanna E. Harnett、自然療法医、博士号シドニー薬局、医学健康学部、シドニー大学、オーストラリア。

ティナハウザー、ハイルプラクティカー、自然療法医。第1副大統領世界自然障害連盟、WNF。 Organización Colegial Naturopática FENACO、Naturopathy & Western Herbal Medicine、Health and Spain。

Jason Hawrelak、ND,PhD。タスマニア大学保健医学部薬学・薬学部。

Robert Kachko、ND,LAc。アメリカ自然療法医協会会長

デボラケネディ、ND,PhD。カナダのナツロパシー医学のカナディアンカレッジ。

マシューリーチ、ND,PhD。オーストラリア、サザンクロス大学保健学部、国立自然病理医学センター。

Brenda Leung、ND,PhD。レスブリッジ大学健康科学部、補完代替医療のエミー・ドローグチェア。

Manjunath NK、BNYS,Ph.D.,D.Sc。S-VYASA大学、バンガロール、インド

Najwa-Joelle Metri、Western Sydney University、NICM Health Research Institute、オーストラリア

エリカ・マッキンタイア博士シドニー工科大学、オーストラリア、持続可能な未来研究所

アンディ・マクリントック、自然療法医。オーストラリア、シドニー工科大学公衆衛生学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

ターニャモリス、自然療法医、MMedRes。オーストラリアのNatural Health of the Collegeに取り組みます。

ステイブン・P・マイヤーズ、ND,PhD。オーストラリアのサザンクロス大学の国立ナツロパシー医学センター。

レベッカ・レドモンド、自然療法医。オーストラリア、シドニー工科大学保健学部、補完統合医学のオーストラリア研究センター。

ダニエラレミー、修士カナディアンカレッジオプナチュロパシーメディスン、カナダ、オーストラリア。

ジェロームサリス、ND,PhD。NHMRC臨床研究員、NICM健康研究所、ウエスタンシドニー大学、オーストラリア。

ポールリチャードサンダース、ND,HOM,PhD。カナダの自然療法医学のカナダの大学と米国の国立健康科学大学。

ジャネットシュロス、自然療法 博士号。オーストラリアのサザンクロス大学の自然療法医学国立センター。

Dugald Seely、ND,MSc。カナダのナチュロ病理医学のカナディアン大学。

キャサリン・スミス、自然療法医。プログラムディレクター

Education Faculty, Torrens University Australia, Australia。ブライストンブソン、ノースダコタ州、MS。米国ワシントン大学薬剤学部博士研究員。

Madeleine Tuson-Turner、ND,MSiMR,MScGH。ヘルフは、米国国立自然医学大学の研究所を取得しました。

Claudine Van De Venter、ND、オーストラリア工科大学公衆衛生学部補完統合医療研究センター客員研究員、オーストラリア。南アフリカ在住。

Naveen K. Visweswaraiyah、BNYS,PhD,DSc。オーストラリア、シドニー工科大学公衆衛生学部、補完統合医療研究センター客員研究員。インドに住んでいます。

ヴィッキーワード博士スコットランド、セントアンドリュース大学 経営学部、研究利用研究ユニットの管理および共同ディレクターのリーダー エリック・ヤーネル、ND,RH (AHG)。バスタ大学、米国。

付録V：グローバルな自然療法コミュニティからのレビューア

この本の側面をレビューしてくれたWNF組織の以下の代表者に感謝します。

Fride Aasen、自然療法医。Norske Naturterapeuters Hovedorganisasjon、ノルウェー。

Tasnim Adaya、ND。プリティッシュコロンビア自然療法協会、カナダ。

FatihaAitSaïd、自然療法医。InstitutSupérieurdeNaturopathieTraditionnelle、学。AssociaçãoBrasileiradeNaturopatia、ブラジル。

Maria Aparecida das Neves、心理学者。AssociaçãoBrasileiradeNaturopatia、メラニーヘンリクセン、ND。国立自然医学大学、アメリカ合衆国。ブラジル。

クレアバドリック、ND,MRN。英国の自然療法医総評議会および登録簿。

フラビア・バンキエリ、自然療法医。AsociaciónNaturopáticadelウルグアイ、ウルグアイ。

Cristina Betancour、自然療法医。Paracelsianos Asociados en Naturopatia、ウルグアイ。

ダイアナボウマン、自然療法医。MHS (ハーバルメッド)。Naturopathsand Herbalists Association of Australia、オーストラリア。

ジャロッド・カーター、ナチュロパス。補完医学協会、オーストラリア。

David Casteleijn、自然療法医、MHS (Herbal Med)。オーストラリア、オーストラリアの自然療法医および草食動物協会。

ダニエルアランコスタ、自然療法医。AssociaçãoBrasileiradeNaturopatia、ブラジル。

フィリップコッティンガム、自然療法医。ウェレパーク自然療法大学、ニュージーランド。

Robyn Curruthers、自然療法医、MHS。サウスパシフィック自然医学大学、ニュージーランド。

ダニエルマウリシオデオリベイラロドリゲス、ND,MSc。AssociaçãoBrasileiradeNaturopatia、ブラジル。

ローレン・デュズベリー、自然療法医。MRes。オーストラリア、オーストラリアの自然療法医および草食動物協会。

ジル・ダン、自然療法医。ニュージーランド、ニュージーランドの自然療法医と医療ハーブ療法士。

モイラ・フィッツパトリック、ND,PhD。アメリカ自然療法医協会、アメリカ合衆国。

ミリアム・フランコット、自然療法医、博士号。Union des Naturopathes de Belgique、ベルギー。

PazGarcíaSola、自然療法医。FormaciónTNRD、スペイン。

Anne-HélèneGenné、ND。ケベック州ナツロパシー医学協会、カナダ。

Virginie Hamtiaux、自然療法医。Union des Naturopathes de Belgique、ベルギー。

Tina Hausser、Naturopath、Heilpraktiker。OrganizaciónColegialNaturopáticaFENACO、スペイン。

フェルナンドヘルマン、ND,PhD。公衆衛生学科。サンタカタリーナ連邦大

ヴェルナハント、ND,DC。カナダナチュロ病医師協会、カナダ。

ローズマリージェイコブス、自然療法医。補完医学協会、オーストラリア。

Surya Bahdur Karki、自然療法医。ネパールヨガ&ネイチャーキュアアソシエーション、ネパール。

Martina Kllimt Dewinter、自然療法医。南アフリカ自然療法協会、南アフリカ。

ファブリス・ロイ、ND。スイス自然療法医協会と連邦卒業証書、スイス。

ジョンピーターリンデランド、自然療法。Norske NaturterapeutersHovedorganisasjon、ノルウェー。

CayoMartín、Naturopata,MD。FormaciónTNRD、スペイン。

フィオナマコーミック、自然療法医。自然療法医とハーブはオーストラリア、オーストラリアの協会です。

Colleen McQuarrie、ND。カナダナチュロ病理医学大学、カナダ

JoséMeliço、自然療法医。AssociaçãoPortuguesadeNaturopatia、ポルトガル。

ジェシカミッチェル、ND。サウスウェストカレッジオブナチュロパシーメディスン、アメリカ合衆国。

ポールミットマン、ND。サウスウェストカレッジオブナチュロパシーメディスン、アメリカ合衆国。

スティーブン・P・マイヤーズ、ND,PhD。オーストラリアのナツロパスとハーバリストのオーストラリア登録。

ホルヘ・ネイラ・ブラボー、リック。enNaturopatiaUAC。管理者EducaciónUMCE,DoctoradoUPT。

AsociaciónNacionaldeNaturopatasdeChileAG、チリ。

Raphael Nyarkotey Obu、自然療法医。ガーナのホリスティック医学のNyarkoteyCollege。

Rotimi Olotu、ライセンスを受けた代替医療従事者、博士号。
ナイジェリア自然医学医師評議会、ナイジェリア。

ベニータパーチ、自然療法医。IAN香港、香港特別行政区。

マリソルペレス、自然療法医。Paracelsianos Asociados
enNaturopatia、ウルグアイ。

トビー・アン・ピンダー、ND。オーストラリア、オーストラリアの自然療法
医および草食動物協会。

JérômePoiraud,Naturopathe。フランスの自然医学と健康教育の組織。

シルビア・ポレセロ、自然療法医。Istituto NeMI APS、イタリア。

マリアンナポンティエーニ、自然療法医。Istituto NeMI APS、イタリア。

ミシェルリケア、ND。カナディアンカレッジオブナチュロパシーメディシン、
カナダ。

Didia Clara Rivas Sanabria、Naturópata,Psicóloga、
Quiromasajista。OrganizaciónColegialNaturopáticaFENACO、ス
ペイン。

NoémiaRodrigues,自然療法医。AssociaçãoPortuguesadeNaturopatia、
ポルトガル。

スティーブンロイガード、自然療法医。ニュージーランド、ニュージーラン
ドの自然療法医と医療ハーバリスト。

Shavit Sachs、自然療法医。南アフリカ自然療法協会、南アフリカ。

フェルナンドジャーナーサンチェス、ND,MSW。プエルトリコ自然療法医
のプエルトリコ協会。

CaioFábioSchlechtaPortella、自然療法医。Sociedade Brasileira
de Naturologia、ブラジル。

ジムスプリング、ND,DC。カナダナチュロパシー医師協会、カナダ。

Aliyyaa Spring-チャールズ、ND,MRN。英国の自然療法医総評議会お
よび登録簿。

Arianna Staruch、ND。バスタ大学、アメリカ合衆国。

Claudine Van De Venter、ND、オーストラリア工科大学シドニー校公
衆衛生学部補完統合医学研究センター。南アフリカ在住

Suhas Vinchurkar、自然療法医。BNYS,PhD。インド自然療法およびヨガ
卒業生医師会、インド。

マリオン・ヴォルク、自然療法医。MHIthSc、ホメオパシー。オーストラリアの
自然療法医およびハーバリストのオーストラリア登録簿。

パトリシアウェールズ、ノースダコタ州。カナダ、アルバータ州自然療法医協
会。

付録VI：世界自然療法連盟

出版物とポリシーステートメント

発足以来、世界自然療法連盟（WNF）は、世界的な自然療法の専門家を導き、支援するために、いくつかの出版物と政策声明を作成してきました。2021年現在の出版物は、WNF Webサイト（www.worldnaturopathicfederation.org/wnf-publications）からアクセスできる完全なドキュメントとともに以下にリストされています。

出版物のタイトル	2021年発行年	言語/秒
WNFレポート：迅速なレビューの影響		英語 スペイン語
WNF自然療法教育プログラムレポート	2021年	英語
WNFテクノロジー強化教育	2021年	英語
WNFホワイトペーパー：世界的なパンデミック2020における自然療法の役割		英語 フランス語 ドイツ人 イタリア語 ノルウェー語 ポルトガル語 スロベニア語 スペイン語
WNF自然療法ジャーナルレポート	2020	英語
WNF自然療法本レポート：自然療法医/自然療法医によって書かれた本の包括的なリスト	2020 (v.1公開2019)	英語
WNFアップデート：新しいコロナウイルス病2019 - CoV	2020 (v.1公開2020)	英語 スペイン語
グローバル自然療法規制	2019年	英語
WNF用語文書：自然療法用語の定義	2019年	英語 ノルウェー語
自然療法医/自然療法医によって書かれた研究	2019年	英語
アスタナ宣言に対するWNFの対応	2019年	英語
WNFの教育と資格	2018年	英語
哲学、原理、理論に関する自然療法の本	2018年 (v.1公開2016)	英語
WNFホワイトペーパー：自然療法の哲学、原則、理論	2017年	英語 ポルトガル語 スロベニア語 スペイン語
グローバル自然療法専門職の定義	2017年	英語 スペイン語
WNF戦略計画2019 & 2022	2017年	英語
2016年自然療法番号レポート	2016年	英語
WNF自然療法のルーツレポート：自然療法のルーツからの発見 委員会調査	2016年	英語
WNFレポート：2015年の第1回世界自然障害連盟調査の結果		英語

ポリシーステートメントのタイトル	2019年公開年	言語/秒
WNF自然医学方針声明	(v.1公開2016)	英語 スペイン語
専門の自然療法組織のためのWNFガイドライン	2018年	英語 スペイン語
自然療法組織のためのWNF自治ガイドライン	2018年	英語 スペイン語
専門家養成のためのWNF用語	2017年	英語 スペイン語
規制に関するWNFポリシー	2017年	英語 スペイン語
フェデレーションに関するWNFポリシーステートメント	2016年	英語 スペイン語
自然療法/自然療法医師Q&A	2016年	英語